

平成 2 9 年 度

# 事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

# 平成29年度 事業報告(総括)

## 1. 基本目標

本年度の重点目標である「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を合言葉に全職員で取り組み、利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援し、利用者様も職員も笑顔多く過ごすことができました。

福陽会基本理念

- ① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する
- ② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する
- ③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう

を全員で朝礼において唱和することで新人職員にまでも周知ができました。年間を通しての利用者様は以下の通りである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2931	2981	2985	3097	3077	2997	3086	2975	3091	3097	2788	3067	36172

年間延利用者数 36172 人でした。

平成29年度は1年間365日でしたので、1日平均99.10人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

要介護4の方が、40名・要介護5の方が45名と、入所者の85%を要介護状態の重度の方が占めています。

ターミナルケアの希望も多くあり、27名の方を看取らせていただきました。

医療ニーズは今年度も高く、施設顧問医師への依存度が大きくありました。

ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉を多くいただき、職員一同の励みとなりました。

## 2. 基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に、地域社会との交流を深めました。

- ・職員ひとりひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
- ・各行事、地域の方々に参加していただき、地域との交流を深めました。
- ・地域行事への参加も、積極的に行う事が出来ました。
- ・尊厳を保持し、自立を支援ができるように介護職員の内部研修と OJT を強化しました。

## 3. 長期目標

- (1) 法人理念の実現向け、法人内の各事業所同志が連携を強化しました。
- (2) 地域との交流を大切にし、地域の福祉ニーズに応えるべく努力しました。  
緊急の入所等に対応する体制をつくりました。
- (3) 毎月発行する『サンシャインビラたより』により、施設外に情報を発信するとともに、利用者様・ご家族様に施設の様子をお知らせしました。

## 4. 中期目標

福陽会キャリアパスの運用により、人材育成と人材の定着が図れました。

## 5. 本年度の重点目標

職員一同力を合わせ『やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り』を合言葉に、サービスの質の向上に取り組みました

- (1) マイナンバー制度等を正しく理解し、情報の管理を行うために鍵のついたキャビネットの購入をすすめました。
- (2) 人材育成に力を入れ、稼働率が高位に安定するように取り組み、本年度の平均稼働率は99.10%でした。
- (3) チームワーク良く連携をはかり、利用者の生活支援をしました。中でもターミナルケアで看取らせていただいた後のご家族様から、温かい感謝の言葉をいただき、職員の励みになりました。
- (4) 報・連・相の徹底により、職員間で情報の共有ができました。

# 職 員 構 成

平成 30 年 3 月 31 日現在

担 当 職	職 名	職 員	非常勤	
運 営 管 理	施 設 顧 問 医		1	
	産 業 医		1 (外部委託)	
	施 設 長	1		
経 理	事 務 長	1		
	事 務 員	1	1	
保 守 管 理	介 助 員	1	1	
介 護	介 護 主 任	1		
	生 活 相 談 員	1	1 (兼務)	
	ケアマネージャー	2 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リ ー ダ ー	1	5
		サ ブ リ ー ダ ー	1	
		担 当 者	5	
	2 F	リ ー ダ ー	1	3
		担 当 者	7	
	3 F	リ ー ダ ー	1	7
		サ ブ リ ー ダ ー	1	
	担 当 者	7		
医 務	医 師		1 (施設顧問医) 2 (外部委託)	
	看 護 主 任	1		
	看 護 師	3		
	准 看 護 師	1	1	
調 理	管 理 栄 養 士	1		
	リ ー ダ ー	1	2	
	調 理 員	4		
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	柔 道 整 復 師	1		
	理 学 療 法 士		1	

# 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

開催	会議名	月												開催計 (回)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
随時	経営会議		1											1
月1回	運営会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
随時	人事制度会議													0
	入所判定会議	2	3	2	2	1	3	2	3	2	3	1	2	26
	看取介護会議	5	5	3	2	4	4	7	5	8	10	8	10	71
随時	行事計画会議	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1		10
偶数月	利用者懇談会	1		1		1		1		1		1		6
計画日	ケアプラン会議	4	6	5	5	5	4	5	4	4	3	4	6	55
	介護主任 リーダー会議	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
	栄養会議	3	3	3	2	3	5	4	4	3	3	4	3	40
月1回	衛生会議	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	25
月1回	感染症対策会議	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
毎水曜日	事故防止会議	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	48
月1回	防災会議	1	1	2	3	1	2	2	1	1	1	3	1	19
月1回	虐待防止会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	苦情対策会議	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	4	1	16
月1回	研修委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
	口腔衛生管理委員会	3	4	3	4	3	4	4	4	2	2	3	2	38
月1回	褥瘡防止委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	拘束廃止委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	排泄委員会	1	1	1	1	1	1	1	2		1	1	1	12
	看護職員と 介護職員の連携委員会		1	1	1	1	1	1		1		1	1	9
月1回	厨房委員会	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
4月・10月	活動責任者委員会	5	1					4						10
随時	3施設入所者 情報交換委員会			1									1	2
	その他	1		1	3	1	1	1	2	2	1	1	2	16

## 職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理について

### (1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っている。

29年度は、4月に57名、10月に夜勤業務を行う職員等23名が受診した。

### (2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師((以下 産業医と表記)により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施された。

### (3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施している。

### (4) 館内の労働環境整備

- ① 年間を通じて空調整備を行っている。インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っている。感染症が発生したら、蔓延防止の為に指針を踏まえ、各職員が機動的に行動できるように看護主任を中心に、網羅的な研修・指導を行った。
- ② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めている。職員の事故防止の為に、日々、設備・備品の点検を行い、不備や不具合にできる限り迅速に対応している。

### (5) メンタルヘルスについて

11月に外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計した。

今後も、産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を広い視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画作成を継続する。

## 平成29年度 利用者外出・外泊・面会状況

項目 月	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	3	3	0	0	49	204	6.8
5	3	3	0	0	50	218	7.0
6	0	0	0	0	54	229	7.6
7	3	3	0	0	57	164	5.3
8	6	6	1	2	57	289	9.3
9	6	6	0	0	59	278	9.3
10	2	2	1	2	59	247	8.0
11	1	1	1	1	63	245	8.2
12	1	1	0	0	65	303	9.8
1	2	2	2	8	62	284	9.2
2	3	3	0	0	45	208	7.4
3	4	4	0	0	63	329	10.6
合 計	34	34	5	13	683	2998	8.2

## 平成29年度 保険者別入退所状況

H29.4.1～H30.3.31

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	2	5	0	1	7	1
あきる野市	2	1	0	0	3	0
区	1	0	0	0	1	0
北区	0	0	0	1	0	1
国立市	0	0	0	1	0	1
葛飾区	0	1	0	0	1	0
品川区	0	0	0	1	0	1
渋谷区	0	0	0	1	0	1
市	0	0	1	0	0	1
羽村市	0	3	0	2	3	2
調布市	0	1	0	1	1	1
市	1	0	1	0	1	1
福生市	4	9	8	8	13	16
府中市	0	0	1	1	0	2
瑞穂町	0	1	0	0	1	0
市	0	0	0	1	0	1
目黒区	0	0	0	1	0	1
岩手県						
北上市	0	1	0	0	1	0
合 計	10	22	11	19	32	30

## 【看護の報告】

### 1、医務診察

定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- ① 内科            水曜日   青山美穂医師（施設顧問医師）  
                     木曜日   宗岡雅子医師
- ② 精神科        月曜日   高妻雅和医師
- ③ 歯科        火・金曜日   若林偵子歯科医師

### 2、利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。
- ② 年一回の利用者健康診断を平成 29 年 5 月 30 日（火）に 98 名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族等に説明し同意のもとで受けていただきました。健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。  
また、入所時にご家族等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。
- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（98 名）
- ⑥ 肺炎球菌の予防接種も、ご家族等の希望を確認した上で、平成 29 年度に対象者 16 名が接種しました。
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の昼薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬と、夕薬の服薬介助は介護職員に指導・依頼しています。介護職員に夕薬の服薬を依頼している時間は、医務診察の整理、翌日の医務診察の準備や、内服薬の管理、一包化、臨時薬の作成などを行っています。

### 3、口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・介護職員等多職種でのミールラウンドの実施により、経口維持 4 算定に役立ちました。

### 4、職員定期健康診断

- ① 職員は 4 月（全対象職員）と 10 月（夜勤業務に従事する職員）に健康診断を実施しました。健診結果は安全衛生会議で産業医の青山美穂医師により全体指導があり、異常所見に対しあきる台病院高妻雅和医師より個人面談指導がありました。（8 名）
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は、全員接種しました。（63 名）

### 5、感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの改訂、内容の厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症を持ち込まないという意識をもち、職員一人一人が感染対策の基本をしっかりと行ったことで、利用者様のインフルエンザの発症はありませんでした。

## 6、看取り介護の充実により、手厚い看取り介護の実施

- ① 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。平成 29 年度は 27 名の方を施設で看取らせていただきました。
- ② 利用者様及びご家族等の意向を尊重し、多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に説明し記録しました。
- ③ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行いました。  
ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。

## 7、その他

- ① 利用者様の心身の状態変化時等は、必ずご家族等に連絡をしました。連絡時の内容等は記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。  
0点以外の方は、概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。  
鼻腔からの経管栄養 1名 胃瘻からの経管栄養 2名 バルンカテーテル 2名
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

## 平成 29 年度介護主任報告

「やさしさをこめて丁寧な～安全安心な施設作り」を実現できるよう利用者様一人ひとりに、しっかり目を向け小さな変化にも気付くよう取り組みました。フロアー主催のフロアー活動を取り入れ利用者様の生活に楽しみが増えると同時に職員のやる気向上に繋がりました。

### ・人材育成

年度初めからの勤務時間体制が変わり業務の取り組みにリーダー、サブリーダー中心となり試行錯誤しながら、利用者様の生活を豊かになるよう各部署協力も得 何とか形にする事が、出来ました。

実務者研修も始まり資格修得の為受講する職員の介護技術、質の向上に繋がったと思います。新人職員には、エルダーメンター制度により精神的にも支えながら、業務の習得も出来るようにした。

人材が定着安定することにより、フリー日勤 日勤も確保できるようになったが、介護職員としてのあるべき姿勢の認識心構えと倫理観と社会性、組織の中で適切に行動できる人材を、育成していくためには、介護職員がやりがいを持って働けるようにするためには、どうしたら良いか、環境整備 制度に対応しながら、行う難しさはあり、今後の課題でもある。

### ・事故防止

日々の申し送り等で、利用者様の状況や変化を、把握に努めたが骨折事故、褥瘡発生等があり、内出血等の報告は多くどのように、対策すれば良いか困難であった。全スタッフへの周知徹底の困難さも感じました。

今後の課題のとしては、今までのフロアー特徴にあった利用者様の居室変更が困難となっている。利用者様のフロアー移動する上での職員の意識を変え利用者様が、フロアー移動してもサービスの提供に変化なく丁寧に行い 安心して過ごして頂けるように継続する。

### ・身体拘束

その方らしい生活を、支援するため各部署連携し今年度も「0」を継続することができました。

虐待防止では、不適切なケアを行放置することにより、虐待につながり傷つけてしまう自分自身の言動を振り返り、見つめ直す権利擁護の研修を行った。仕事のラインを決め業務にあたる事が必要だと思われた。

- ・感染予防

衛生会議と感染症対策会議にて施設顧問医師の指導いただき対策を、実行しました。医務指導の内部研修強化や 面会者へ感染対策の説明を事務所で行い協力を得 各部署連携しインフルエンザの蔓延を防止できました。

一方職員が風邪等感染源となり利用者様へ辛い思いをさせてしまう事もあり、まだまだ職員の意識改革指導は継続していく。

- ・非常災害時に備えて

非常用袋の中身を見直し各フロア一統一しました。

警察官による防犯研修 さすまたを、使用し実技訓練を、指導うけました。地震発生時に火災が、発生し初期消化を行うという想定での訓練では、消火器の使い方や屋内消火栓の使い方を学びました。

## 平成 29 年度生活相談員事業報告

平成 29 年度は、全体目標「やさしさをこめて丁寧な～安全安心な施設作り」の実現を目指して、施設全体のあり方を見直し、また生活相談員としての日々の業務に携わりました。目標達成のために、二つの課題を掲げ、それに取り組みました。

一つ目としては、「相談援助」において、やさしさと思いやりを持って、利用者様とご家族様等に寄り添うような支援を行うこと、そして、問題が生じた時には丁寧に且つ誠実に対応し、解決を図るというものでした。

近年、入所される利用者様の多様化が進んでいます。世代が替わりつつあり、これまでの世代の方たちにはなかったような生活習慣や価値観を持った方たちも入所されるようになっていきます。そのため、施設に入所した後も、これまで行ってきたことを続けたいとの要望が出されることも増えてきました。そうした要望にどのように応えるか、問題になることがあります。利用者様の思いを受け止め、施設の中でできることを他部署とともに検討し、誠実に対応してきました。

また、ご家族さまへの連絡や相談に関しては、面会時や電話連絡の際、生活の様子や健康に関する情報を伝え、ご家族様のお考えやお気持ちを伺うようにしています。特に、健康面に関して、体調の変化がある時には看護師からご家族への連絡の場に立会い、また、医務からの要請で、家族連絡も行いました。

目標達成のための二つ目の課題は「安全安心な施設作り」のためにリスクマネジメントに取り組むというものでした。これには、事故防止、感染予防、防災、虐待防止が含まれ、また、拘束廃止、苦情対応等、様々な分野が関係しています。これらの、どの分野への取り組みが不十分でも、利用者様が安心して暮らせる施設の実現は難しいこととなります。生活相談員としてそれぞれの分野の会議や委員会に携わり、取り組みを強化できるよう発信を続けました。これまでも施設全体で「虐待の芽」について学び、サービスの質の向上をめざして来ましたが、この年度の後半では「不適切なケア」について考える取り組みを始めています。この施設の中で、そのようなケアが行われていないか気づくことが改善の第一歩であると思います。今後も、介護の質を向上させるために努力を重ねていきたいと思っています。

他に、福祉施設としての役割を果たし、運営基盤の安定化のため稼働率を上げるよう取り組みました。入所申込者の減少は数年前から続いています。昨年、この西多摩地区の特養で始まった「西多摩特養ガイド」に、私どもの施設も参加し、施設の良さを広く知っていただこうと、多部署で取り組んでいます。この「西多摩特養ガイド」をとおしての、様々な問い合わせや入所の申込みも増えてきまし

た。

平成 29 年度、入所された方は 32 名でした。そのうち、市内からは 13 名、多摩地区の市や町からは 16 名、区部からは 2 名、他県からは 1 名の方が入所されました。それぞれの方の入所に当たって、入所相談や見学案内に始まり、入所判定会議の開催、入所前の情報収集や各部署への情報伝達、入所当日の面接や契約等の業務を、誠実に行いました。退所された方は 28 名でした。そのうち、他の施設に移られた方が 1 名、病院に入院された方が 1 名でした。

利用者様が、生活の中で楽しみや生きがいを見出せるよう、行事や慰問、各種クラブ活動等に携わりました。外出の機会を多く持っていただくために、「外出の日」を計画、実施し、散歩やドライブも行いました。様々なイベントに参加された利用者様の笑顔を引き出すことができ、その時交わした会話の中からその方についてより多くを知ることができました。

## 29年度 介護支援専門員事業報告

・本年度目標「やさしさをこめて丁寧に～安心安全な施設作り」をケアプラン作成に反映できるように意識しました。

業務を行う上で、今までと変わりはありませんが、介護支援専門員としての基本姿勢を意識させてくれる共通目標でもありました。

ご利用者様との関係を作っていくことを大切にし、お話を傾聴する姿勢を基本にし、「この人は、私の話をしっかり聞いてくれる人」と思って頂けるよう努めました。

ケアプランの作成をする上では、ご利用者様の出来ない事や援助が必要なことは勿論のこと、「できる事＝その方の強み」と考え、その方らしさを支援していけるような内容で作成できるように努めました。今後も他職種と協力しながら、取り組んでいきたいと思えます。

・定期のケアプラン見直し（三ヶ月、六ヶ月）実施は漏れなく行えました。また、状態変化に伴うケアプランの変更も行えたと考えています。

・会議日程の作成に関しては、ゆとりをもった件数（五件程度まで）になるよう日程調整を行いました。

・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、ミールラウンド、適宜プラン作成が行えました。

ターミナルケアについては、プラン見直しを必要時適宜開催に加え、本年途中より、期間を新たに設定し直しました。短期目標を一か月間、長期目標を三か月とし、より短期間で細かにプランを検討できるように取り組みました。

ターミナルケアの振り返りは、対応職員へのグリーンケア等、ひとつひとつのケースにつき、継続的に検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。

褥瘡ケアについては、作らない事を前提にリスクが高い方については予防策を行う。創部改善には各部署連携し対応をできるように、今後もプランを作成します。

ミールラウンドについては、経口からの安全な食事摂取が継続できるように、各専門職が検討した結果を今後もプランに反映させていきます。

・緊急ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思えます。各関係者の皆さんとも情報交換をし、ショートステイ利用期間中のプラン作成が行えました。

・認定調査への立ち合い、調査協力を都度行いました。今後もスムーズな介護保険更新が行えるよう、実施していきます。

## 平成 29 年度 1階フロア報告

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を目指して介護の質のさらなる向上に努めました。

### 1. 介護力の向上(人材育成)

- ・利用者様の状態把握に力を入れました。個人記録への入力を充実し他部署との連携を強化しました。
- ・決められたことを全職員が周知徹底できるように連絡方法を工夫した結果、確実に伝達できるようになりました。
- ・利用者様の生活の活性化のために毎日行なうレクリエーションについて1週間分の予定を立て、実行しようとしたが、計画どおりに行なうことが出来ませんでした。毎日行なえるように業務を組み立て直す必要があります。  
6月にフロア活動として、テラス喫茶を行ないました。いつもとは違う雰囲気利用者様の笑顔が多くありました。
- ・口腔ケアについてや、移乗介助について等、直接専門職からの指導助言により、理解が深まり知識と技術が向上しました。
- ・外部研修、内部研修には勤務の調整をして多くの職員が参加出来るようにしました。
- ・新入職員にはエルダーメンター制度により、育成にあたり知識と技術を習得してもらいました。
- ・居室担当者は、担当居室の利用者様と基本的な関わりの中から得られた情報を個人記録に入力しアセスメントすることにより、その方にあったケアプランとなったが、プラン内容の把握に不十分さがありました。把握をするための工夫に努めていきます。
- ・利用者様の整容面と居室等の環境整備について、課題が残りました。今後、意識を高め、しっかりと対応できるよう対策を立てて行きます。

### 2. 褥瘡予防

- ・褥瘡のアセスメントと毎日の皮膚観察と各部署の連携により、発生の防止と悪化の防止に取り組みました。

### 3. 事故防止

- ・ヒヤリハット報告が多数出ました。それらを検証し再事故の防止に取り組みましたが、1件の骨折事故がありました。
- ・誤嚥事故の防止には、食前の嚥下体操により嚥下能力の低下防止が有効と理解していたが、継続して行なうことが出来ませんでした。継続する

体制を作って行きます。

- ・ ナース不在時の服薬介助での、誤薬の事故はありませんでした。

#### 4. 感染症の予防

- ・ 標準感染予防策を全職員が実行しました。その結果インフルエンザ等の発症はありませんでした。  
その他の感染症のまん延もありませんでした。
- ・ 職員においても、自分自身の健康管理を行い心配のある時には、看護師に報告し指示を受けて行動したことが、感染症の発生を防ぐことにつながり、今年度の成果となりました。

#### 5. 防災

- ・ 防災グッズを常に使える状態にして置きました。
- ・ 天袋の防災用金具は、日直が居室訪問の際に確認し、いざという時に備えることが出来ました。
- ・ 職員の喫煙所の火の元の確認を1階職員が中心になり行いました。夜勤帯での職員の喫煙についても、火の用心に努め火災の発生はありませんでした。

#### 6. 看取り介護

- ・ 静養室が1階にあるため、看取りをさせていただく機会が多くあることが1階の特徴です。利用者様とご家族様等が望む形の最期であるようにという思いで、ケアさせていただきました。ご遺族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。また、看取りは職員の精神的な負担も大きくあります。振り返りや内部研修などにより、職員の精神面への配慮に力を入れました。

## 平成 29 年度 2階フロア報告

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を目標に、取り組みました。

### 1. 尊厳を保持し自立を支援する

- ・利用者様と関わる時間を多く持ちました。  
他部署とも連携を図り、その方の気持ちに添うことにより、利用者様の思いや希望を知ることが出来ました。
- ・気持ちを上手に伝えられない利用者様への気配りは十分とは言えず、今後の取り組み課題となりました。
- ・職員は常に笑顔で優しい気持ちでケアを進めましたが、時として現れる言葉遣いや職員間の私語等、サービスマナーの徹底が不十分でした。
- ・11月9日に行ったフロア活動「ホットケーキバイキング」は、大盛況で楽しい時間となりました。
- ・毎日のレクリエーションは、定着できずに成果が出せませんでした。
- ・利用者本位のサービス提供をベテラン職員が後輩や新人職員に示したことで、介護力の向上が図れました。

### 2. 居室担当の役割

- ・個人記録への入力意識が高まり、日々の記録が充実しその方の生活状況等が分りやすくなり居室担当者からの発言が多くなり担当者としての責任感が向上し、アセスメントに役立ち、プランに反映できました。
- ・爪きり等の整容面や居室内の環境整備については、今後更に意識を高めていく必要があります。

### 3. 事故防止

- ・日頃から、ヒヤリハット報告により、大きな事故の防止に取り組んでいましたが骨折事故がありました。原因の究明と再事故の防止を強化します。
- ・4月から職員の勤務体制が変更になりました。それに伴い生じる問題等を一つ一つ解決することにより、職員は変化に対応できる力が身につきました。

### 4. 感染予防

- ・内部研修で学び合い、看護師からの指導助言を受け、職員は自分自身が感染源とならないように努めましたが、職員が風邪等を施設内に持ちこんでしまったような事例がありました。これを教訓とし、再度このようなことが起きないように健康管理を徹底します。

- ・利用者様、職員共々、風邪症状等がみられた際は、拡大を予測し、看護師等と連携し、感染予防策を実施するとともに標準感染予防策を徹底しました。その結果、インフルエンザの発症はありませんでした。
- ・室温、湿度、換気等への意識が高まりました。
- ・嘔吐の対応グッズについて内容を見直し、必要時にいつでも使えるように設置しました。

#### 5. 非常災害時の備え

- ・耐震対策具を1日1回、確認することを計画しましたが、実行が出来ませんでした。地震発生時のことを考えると必要なことですので、行なって行こうと思います。
- ・非常持ち出し袋の内容を見直し、緊急時に備えました。
- ・排泄用品を、3日分確保しました。
- ・福生警察の方による不審者対策の内部研修を受けて、職員の防犯意識が高まりました。

## 平成 29 年度 3階フロアー報告

- ・一年間の振り返り

利用者様の生活に深くかかわりを持ち、安心していただけるようにと思い「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を合言葉に職員一丸となって取り組みを行った結果とし、職員の介護動作が今までよりもさらにていねいになりました。

- ・人材育成

新人職員へ指導を行うことにより、指導する側も指導を受ける側も、相互にスキルアップを図ることができたことはお互いにとっての成果でした。各レベルの職員にはそれぞれに合わせて、リーダーが指導助言を行いました。指導後に効果を振り返り確認しながらすすみ、全体的なレベルアップが図れました。

- ・居室担当の役割

記録の入力方法が一部新しくなり、それに慣れるまでに多少の時間を要しました。しかし、新しくなったことにより、意識が高まったり、観察力が高まったという利点がありました。アセスメント時に役立てて居室担当者からの情報発信ができました。

個人記録への入力では、個人により力量の差がありますが、サブリーダーが中心となり指導と確認をし、内容の充実が図れています。

衣類等の整容面と環境整備についても居室担当が中心となり、職員間で声を掛け合い整えました。

- ・レクリエーション等の活動について

各食事前の「嚥下体操」、「ボールゲーム」「歌集を利用した歌」等を、毎日行い活性化に役立てました。

フロアー活動では、クレープを焼いて食べたり日常的には食べにくいポテトチップ等のお菓子を食べ、にぎやかに 過ごしました。

レク活動については、今後も充実を図って行きます。

- ・事故防止

大事には至りませんでした。ご自分で行動される方々の転倒等がいくつかありました。行動パターンや排泄パターンの確認を行いリスクの軽減に努めました。

食事姿勢への配慮や時間にとらわれないようにしようと言う気持ちのゆとりで誤嚥事故の防止が出来ました。歯科医師と歯科衛生士からの指導助言によ

り、一人一人の利用者様の口腔の状態に合わせた対応も誤嚥事故の防止になりました。

職員が介護者本位の仕事にならないように業務を組み立て直すとともに、声掛けを工夫し、利用者様のペースに合わせ「自立の支援」と「尊厳の持」を意識したサービス提供をしました。

- ・感染予防

利用者様の手指消毒は、各食事前の日課として定着しました。職員は携帯用のアルコールを持ち歩き「1介助・1手洗い」を実行しました。

「もしかしたら？と感じたら即対応」他部署との早期の対応により、感染の拡大はありませんでした。

職員自身が感染源にならない為の努力も良い効果になりました。

新人職員にはリーダーが中心になり「標準感染予防策」を指導しました。

今期大流行したインフルエンザの発症がゼロということは大きな成果であったと思います。

今後、風邪等の体調不良時に口腔ケアをさらに充実できるように取り組んでいきます。

夜勤帯のトイレ誘導者において、朝方にリスクが高くなる傾向があることがわかったので、リスクを減らせる工夫を課題とします。

- ・災害対策

防災用品の確認をサブリーダーが行い、災害時にも困らないように排泄用品は3日分を確保しておきました。

防災会議の内容をフロア内で周知し防災意識を高めました。

- ・その他

グレーゾーンともいえる「不適切ケア」を「しない・させない・作らない」ために、職員がスキルアップに努め「強いチームワーク」のフロア作りに来期は取り組みます。

## 平成29年度 リハビリテーション事業報告

利用者様の日々の身体状況の変化と精神面の変化をアセスメントし、心身状態に変化が見られた際には訓練内容の変更等を行い、利用者様個々の状態に合った訓練を安全に行いました。

日常生活に定着した個別機能訓練計画書を作成し、状態の変化に応じて多職種での意見交換を行い、計画書の内容を検討しつつ、理学療法、生活リハビリでの個別機能訓練を行いました。

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を目標に内部研修も実践し、他部署との意見交換も行うことができました。

- ・ 個別機能訓練の実施記録はパソコン入力し、情報を他職員と共有することで連携がスムーズとなり、利用者様の状況把握に役立てることができました。
- ・ ケアプラン会議に出席し、各担当者と意見交換を行い、状況に応じて訓練内容の再検討も行いました。
- ・ 個別機能訓練計画に基づき、理学療法と生活リハビリの訓練を行いました。
- ・ 個別機能訓練計画の内容は、利用者様・ご家族様に説明し同意を得、計画書をお渡ししました。
- ・ 訓練を実施し、計画の長期目標と短期目標の達成を目指し、3ヶ月ごとに評価と達成度を確認し、次の計画作成時に役立てることができました。
- ・ 利用者様の状態変化時には、医務やケアマネージャー等と連携を図り、個別計画の中止や変更を行い、変更時には利用者様、ご家族様へ説明を行い、同意をいただきました。
- ・ 訓練室、ベッドサイド等にて理学療法での訓練を随時行っていきました。
- ・ 訓練内容については利用者様の要望、身体状況を考慮し、棒体操、平行棒、段差昇降器、セラバンドなどを使用して訓練を行いました。
- ・ 季節感のある行事、その他活動を生活リハビリの一環と考え、行事や活動の準備等、利用者様が参加できるよう働きかけを行いました。
- ・ 車椅子使用者のシーティングについても生活相談員、理学療法士、医務等とニーズに合ったものを使用していただけよう検討し、利用者様の座位姿勢の安定、改善に取り組みました。座位姿勢が安定しにくい方もおり、今後は新たなクッションの購入、座り直し介助、シーティングについての内部研修などは継続し、利用者様の様々な状況に対応していきます。
- ・ 半期に一度はベッド、車椅子の点検を行いました。必要に応じて交換、修理、業者への修理依頼を行いました。また利用者様の状態に応じてのサイドレールの調整も行いました。福祉用具の数などは下記に記します。
- ・ 歯科医師からミールラウンドの報告、訓練方法、姿勢保持の指導等を受け車椅子上での座位姿勢の指導、確認を行いました。
- ・ 介護職の方を対象に移乗介助の研修を一定期間にて行いました。

- ・ 感染症・事故防止・虐待防止・拘束の廃止等についての内部研修に参加し、他部署職員と共通の知識や認識を持ち、対応しました。事故防止についてはヒヤリハットの検証へ参加し、事故の発生原因を検討し、再発防止策について多職種にて話し合いを行いました。虐待防止のためにアンケートの実施、集計、それを元に振り返りを行いました。
- ・ 褥瘡を防止するにあたり、利用者様の褥瘡予防、褥瘡が発生してしまった場合には早期の治癒を目指しました。医務との連携を図り、皮膚状態の変化によってできるだけ早くベッドマット、クッションの変更などを行い、皮膚状態の悪化を防ぐように努めました。褥瘡防止用品についても購入の検討、古いものから新しい物への入れ替えを行いました。
- ・ 寝たきりの利用者様において、理学療法では関節可動域拡大訓練を中心に行いました。また拘縮予防を図る為の体位やクッション等の当て方については外部研修へも参加し、介護者に対しても内部研修等を行い指導しました。
- ・ 常に災害については念頭に置き、訓練室内の環境整備、非常口、消火器等の位置の確認、非常時における行動を意識しながら業務にあたりました。

(福祉用具一覧表)

車椅子	95台	
歩行器 (シルバーカー含む)	16台	
杖 (T字杖、多点杖)	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット (ジェルマット含む)	22	
エアマット (自動体交機能付き含む)	11	
施設内のベッド数		
電動ベッド	103台	
手動ベッド	1台	
パイプベッド	1台	総数105台

(福祉用具購入記録)

予算 200,000円

購入額 201,866円

## 平成 29 年度 事業報告[栄養]

福陽会の理念をもとに旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り、衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に平成 29 年度は業務に臨んできました。次年度も引き続き、旬の食材を取り入れた献立、利用者様からの聞き取りで得られた意見や要望に沿える献立の作成、器や盛り付け等、見た目からも「食べたい」と思ってもらえるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(炒飯)の日の実施、季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ安全で見た目が良く栄養価も高いソフト食の提供を次年度も継続してまいります。

### ■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン炒飯の選択も含む）	：月 2 回以上
誕生日食	：月 1 回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月 2 回以上
パン・麺の日	：月 2 回以上

### ■予算管理

給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

### ■利用者様の健康管理

月に 1 度の体重測定結果や年に 1 度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。必要量を召し上がることが困難な利用者様に対し補食の提供を行い、負担を減らすことで経口摂取の維持ができていると考えます。

### ■感染症の予防

手洗い・うがいの徹底、厨房外へ出る際の服装、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

### ■ヒヤリハット件数

前年度のヒヤリハット件数は合計で 6 件でした。内容は、異物混入：2 件 その他：4 件（職員食の配膳ミス・利用者様の食事形態のミス・高専賃への配食忘れ 2 件）今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス：5 件 その他：2 件（発注ミス・検品ミス）の合計 7 件となり、前年度より 1 件多い結果となりました。次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、安全な調理環境を保てるよう努力してまいります。

## 平成29年度 職員外部研修参加状況一覧

- 目的として多くの研修に参加した。それによって、参加者・参加者から伝達された職員に前向きな姿勢が現れ、良い成果となった。
- 提出される研修報告書は、それぞれのコピーを各セクションに配布し、共通の認識が持てるよう図った。

月	日	催者	テーマ	延べ参加人数
4	4	福生市福祉保健部	福生市介護認定審査会 委員任命書交付式	1
	7	東京都社会福祉協議会	東京都認知症介護実践者研修	1
	14	福生市介護保険事業者連絡協議会	平成28年度 総会	1
	21	東京都社会福祉協議会	機能訓練指導員研修委員会	1
5	23	東京都交通安全協会	東京都安全運転講習	1
	30	福生市福祉保健部介護福祉課	福生市日常生活支援総合事業開始後の状況報告	1
	〃	特養経営支援補助金事務説明会	東京都福祉保健局 高齢社会対策部 施設支援課施設運営係	1
6	23	西多摩保健所保健対策課 感染症対策担当	疥癬が発生、その時どうする	1
	30	東京都社会福祉協議会	平成29年度 第1回 秋川ブロック会	1
7	11	福生市役所	福生七夕まつり 民謡パレード説明会	1
	14	一般財団法人 東京都交通安全協会	平成29年度 安全運転管理者講習	1
	〃	東京都介護支援専門員研究協議会	専門研修課程Ⅱ	1
	25	福生消防署	自衛消防訓練審査会説明会	1
8	1	東京都社会福祉施設協議会	認知症ケアに関する研修会(基礎編)	1
	〃	CMAT	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	7	東京都社会福祉施設協議会	高齢者福祉施設におけるトラブル対応について	1
	18	東京都福祉保健財団	ヒヤリハット事例を交えたリスク管理の重要性	1
	23	CMAT	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	24	東京都社会福祉施設協議会	福祉職場サポート研修	1
	24～25	〃	東京都認知症介護実施者研修	2
9	5	介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	7	中央労働災害奉仕協会	職場のコミュニケーション力向上セミナー	1
	21	介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
10	4	介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	6	秋川ブロック研修会	情報意見交換会	5
	11	東京都高齢者福祉協議会	認知症に関する研修会	1
	〃	東京労働局労働基準部監督課	介護労働者の労務管理に関する説明会	1
	17	東京都	感染対策指導者養成研修	1
	26	東京都	認知症介護基礎研修	1
	27	青梅労働基準監督署	社会福祉施設労務管理講習会	1
	〃	都立福生高等学校	東京都立福生高等学校校定時制課程学校連絡協議会	1
11	1	東京都社会福祉施設協議会	食事形態の選択から「お食い締め」まで	1
	11～12	東京都福祉保健財団	地域リハビリテーション専門人材育成研修	2
	16～17	東京都高齢者福祉施設協議会	東京都認知症介護実施者研修	2
	24	東京都社会福祉協議会	フィジカルアセスメントについて	1
12	22	福生市介護事業者連絡協議会	介護保険制度改正について	2
	25	〃	〃	1
1	6	警視庁福生警察署	武道始式	1
	12	東京都交通安全協会	東京都安全運転講習	1
	19	福生市介護事業者連絡協議会	賀詞交歓会	3
2	16	秋川ブロック研修会	情報・意見交換会	1
	17	東京都高齢者福祉施設協議会	座位が変われば暮らしが変わる	3
	19	福生市地域包括支援センター	高齢者虐待対応研修会	1
	21	都立福生高等学校	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編)	1
3	5	東京都社会福祉協議会	生活相談員研修委員会	1
	6	東京都社会福祉協議会 秋川ブロック	秋川ブロック会	1
	16	東京都社会福祉協議会	生活相談員研修委員会全大会	1
	22	東京都国民健康保険団体連合会	介護報酬改定に伴う事業者説明会	2
延べ参加人数 計				61

## 平成 29 年度 内部研修の報告

利用者様・ご家族様・地域の方々に信頼される質の高いサービス提供を目標に、全職員の資質の向上に取り組みました。

特に、介護職員の人材育成を強化するために職場内 O J T を強化しました。合わせて、管理職員の研修を充実し「管理職員から一般職員」に伝達できる仕組みにしました。

重要な事柄については、複数回の研修機会を設け、多くの職員が参加できるように配慮しました。

平成 29 年	4 月 2 6 日	新人職員研修	「オリエンテーション・法人理念・職業倫理・心構え」
		一般員研修	「オリエンテーション・法人理念・職業倫理・心構え」
	5 月 1 0 日	管理職員研修	「人事考課における考課者研修」
	5 月 2 4 日	一般職員研修	「接遇」
	6 月 2 3 日	管理職員研修	「介護職員処遇改善加算に関する基本的な考え方」
	2 8 日	一般職員研修	「コミュニケーション」
7 月	3 日	一般職員研修	「移乗介助」
	4 日	一般職員研修	「移乗介助」
	7 日	一般職員研修	「移乗介助」
	1 9 日	管理職員研修	「人材育成」
	2 1 日	一般職員研修	「移乗介助」
	2 5 日	一般職員研修	「移乗介助」
	2 6 日	一般職員研修	「防犯研修」
	2 8 日	一般職員研修	「感染管理の勉強会」
		管理職員研修	「感染症」
	3 1 日	一般職員研修	「移乗介助」
8 月	3 日	一般職員研修	「移乗介助」
	8 月 1 1 日	管理職員研修	「人材育成」
		管理職員研修	「事例検討（その方に合わせた支援）」
	8 月 2 3 日	一般職員研修	「個人情報保護(介護職員の守秘義務)」
	9 月 6 日	管理職員研修	「事例検討(安全な移乗介助)」
	8 日	一般職員研修	「移乗介助」
	1 4 日	一般職員研修	「移乗介助」
	2 2 日	一般職員研修	「事故対応（ヒヤリハット情報の共有）」
	2 7 日	一般職員研修	「疥癬のおはなし」
1 0 月	6 日	管理職員研修	「主任としての心構え」

	18日	管理職員研修	「褥瘡について」「情報管理」 「リーダーの育成」
		看護職員研修	「福祉施設としての介護老人福祉施設」
	25日	一般職員研修	「排泄介助（高齢者の排泄）」
	27日	管理職員研修	「考課者研修」「看取りケア」
		一般職員研修	「感染症及び食中毒の予防及びまん延の 防止のための研修」
11月	5日	新入職員研修	「オリエンテーション」
	8日	管理職員研修	「看取り介護」
	30日	一般職員研修	「高齢期の口腔ケア」
12月	4日	一般職員研修	「守秘義務」
	5日	一般職員研修	「守秘義務」
	6日	一般職員研修	「守秘義務」
	7日	一般職員研修	「守秘義務」
	8日	一般職員研修	「守秘義務」
	9日	一般職員研修	「守秘義務」
	27日	一般職員研修	「感染症及び食中毒の予防及びまん延の 防止のための研修」
平成30年	1月13日	新人職員研修	「オリエンテーション」
	19日	新人職員研修	「オリエンテーション」
	26日	管理職員研修	「介護保険法の改正について」
	2月23日	管理職員研修	「認知症」「看取り」
	28日	一般職員研修	「看取り・急変時の対応」
	3月28日	一般職員研修	「看取り介護」

- ・平成29年度は内部研修を頻繁に行い、正職員・非常勤職員ともに多くを学びあいました。学んだ知識と技術を仕事に活かせる様に取り組み、質の高いサービス提供が出来ました。
- ・新入職員にはオリエンテーションを行い、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来ました。  
指導にあたる先輩も指導を受ける後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

## 平成 29 年度 苦情対策会議 報告

平成 29 年度も年間を通して、利用者様やご家族様、代理人様、外部の方々から、様々な意見を伺う機会がありました。その中には、苦情・要望・質問・感謝等があり、伺った意見をしっかりと受け止め、迅速に対応するように努めました。

苦情対策会議は、月一回開催し、寄せられた様々な意見を取り上げ、それに対する対応についても話し合いました。改善すべき点を検討し、その内容は会議録として、職員全体が読むことによって周知徹底を図ってきました。

皆様からの意見の内容としては、利用者様からは、職員のもの言い方や態度に対する苦情がありました。ご家族様からは、整容面の不行き届きについての苦情が何件もあり、介護の基本が出来ていなかったことへの指摘として、重く受け止めました。また、第三者委員の方が利用者様から聞き取った内容には、職員の不適切な対応を示す苦情や意見が含まれていました。

これらは、件数としては多くはないものですが、年間の目標とした「やさしさをこめて丁寧な～安心安全な施設作り」が十分には達成できなかったことを示すものでした。会議の中で、今後、私たちのケアの質を向上させていくために何を行っていくべきかを討議し、できることを始めていますが、さらに次年度への課題として継続していく所存です。

ご家族様からの意見の中には、施設に対する感謝の言葉や介護に対する良い評価等も多数ありました。

## 平成 29 年度 事故防止会議 報告

施設では、利用者様の生活の中で起こった、事故につながる可能性のある「ヒヤリハット事例」に「気づく」ことに力を入れています。事例が起こった時には多職種で検証し、原因を究明、対策を考察し、介護の見直しやケアプランの変更等を行ってきました。また、事故防止会議は、毎週水曜日に開催し、施設顧問医師の指導・助言をいただいて、事故、及びヒヤリハット事例を検証し、更なる事故の防止に取り組んできました。

平成 29 年度のヒヤリハット事例は、計 217 件でした（次頁参照）。また、転倒や転落その他の理由で病院を受診し、骨折の診断を受けた重大事故は 4 件ありました。その内 2 件は入院が必要なものでした。いずれも行政に事故報告を行っています。

## 平成 29 年度 排泄委員会の報告

排泄面の向上を目指し、プライバシーの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えと、技術の習得への取り組みを行ないました。利用者様一人ひとりに合わせた使用物品の選択は各フロアの排泄委員とフロアリーダーの意見を参考にしながら行いました。排泄記録の統一性を図るために排便における目安を以下のように決めました。

(小量 いちご 3 個、中量 みかん 2 個、多量 りんご 2 個)

委員会を 12 回開催し、確認しながら進んだので充実した委員会活動でした。

## 平成 29 年度 厨房委員会の報告

毎月 1 回、各部署の代表者で、会議をしたので、検討事項や決定事項の周知徹底が図れました。

利用者様の食事についてと、職員の食事についての検討をしました。

インフルエンザや食中毒、その他感染症の発症もなく、安定した一年でした。

職員一人ひとりが意識を高く持ち、マニュアルや指針どおりに行動することにより大きな心配ごとが起きずに一年間過ごすことが出来たと思います。

## 平成 29 年度 研修委員会の報告

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、指導担当職員が新人介護職員を指導にあたり、OJTを強化しました。

管理職員研修を行い、管理職員から一般職員への伝達研修を行い、施設内の職員が共通の認識を持って行動できるようにしました。

新入介護職員に対しての、入職時のオリエンテーションを介護主任と介護リーダーが行うことにより、充実したオリエンテーションになりました。

一般職員に対しては、毎月の全体会の時間を利用し内部研修を実施しました。内部研修時には、勤務の調整をし、一人でも多くの職員が出席できるようにしたことが、周知徹底と共通の認識を持つという事に効果的でした。

正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で取り組むことが出来ました。

第三者評価の職員アンケートでは、内部研修に対し、職員の高評価の意見が多数ありました。研修報告書をアンケート方式にした事も参加職員の負担軽減になりました。

## 平成 29 年度 各委員会報告

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を実現できるよう、利用者サービスの質の向上を目的とし、各委員会を開催しました。

- ・研修委員会

9 回委員会を開催しました。

委員会で、内部研修の予定を立て、全体会の中で内部研修を実施することにより、多くの職員が内部研修に参加することが出来ました。

- ・口腔衛生管理委員会

委員会の会議録と口腔機能維持管理にかかわる助言内容の会議録により、全介護職員とその他関係職員が共通の認識を持てるようにしました。

- ・褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配のある方に対して早期対応が出来たことは、成果です。

- ・拘束廃止委員会

委員会を 13 回開催しました。拘束は長期にわたり「0」です。

拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解し、介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

- ・排泄委員会

毎月委員会を行い、排泄の向上に取り組みました。コストに対する意識が少し薄かったと感じるところが反省点です。

- ・厨房委員会

委員会を 13 回行ないました。利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。献立に反映しました。

- ・活動責任者委員会

4 月と 10 月に合わせて 8 回開催しました。4 月には新旧の担当者の引き継ぎを行い、10 月には 11 月 3 日の文化祭に向けての打ち合わせ等を行ないました。とそれらにより、スムーズなことの運びとなりました。

- ・3 施設入所情報委員会

サンシャインビラ、第 2 サンシャインビラ、第 3 サンシャインビラ、合同で委員会を 2 回行ないました。入所については、西多摩特養ガイドが始まり申し込み者の獲得に役立っています。

## 平成29年度 忘年会活動報告書

場所 : 昭島フォレストイン昭和館

日時 : 平成29年12月7日(木) 19:00 ~ 21:30

費用合計 : ￥451,305

参加人数 : 45名 1人当たり￥10,029

1. 本年度は、経験者がおらず、開催直前に確認となった。早めの確認必要と感じる。
2. 各自の役割は前年度経験者に聞いて確認するが、全体の流れが分からず、確認すべき事もあり不安もあり、事前に全体のレジュメがあると、当日の動きが全然違っていたと思う。
3. 幹事集合時間に集合出来てない、粗品を各テーブルに配ったが、個々に説明されどこの袋に入っているかの確認も手間がかかり、しっかり一度集めて、説明して、役割決めればもっとスムーズにいったと思う。
4. 粗品配りをしている最中、確認もされないまま、全体役員が、時間を過ぎて開催されており、声を掛けられることもなく、全体の説明も聞く事もなく終了した。後で、個別に全体聴いている人に聞いて確認した。役員では、点呼をとり、全体のレジュメをもってやって欲しいと思った。

## 29年度 職員旅行活動報告書

場所 : 東京都内

(靖国神社・遊就館～ホテルニューオータニ～東京スカイツリー)方面

日程 : 第1班 5月18日(木) 15名

第2班 6月 1日(木) 14名

第3班 6月22日(木) 16名

参加人数 : 45名

費用合計 : ￥1,138,930 1人当たり ￥24,232

幹事の感想

1班

・第一班の旅行は日程を滞りなく進める事が出来ました。

ただ参加人数や旅程表等が決まるのが遅く、準備期間が短くなってしまい、買い出し等に手間取ってしまったため、もう少し早く決定すると良いと思います。

・ランチビュッフェでは楽しみにしていた方が多く、料理だけでなく水まで美味しいと好評でした。

・バスの中ではカラオケ・ビンゴ・DVD 等観るなどし、他部署の方とも親睦が深まり良かったと思います。

・今回は添乗員の気転、気配りで助けられ、申し訳ない気持ちになりましたが、無事に終えて楽しい旅行になりました。

2班

事故もなく楽しく過ごす事が出来ました。

ビンゴゲームは予算が限られていた為、苦劳しました。予算が限られていた為、苦劳しました。予算が少しの時は実施しなくても良いのではと思いました。

ビール・菓子・つまみ等、差し入れて頂き、盛り上がりました。出来ればビール等、個々で購入するよりも一括購入が出来れば良いのではと思いました。

3班

・お菓子を小分け人数分作り好評

・DVD・ビンゴ楽しかったとの意見多かった

・全員時間に集合出来た

・全員に写真を差し上げられよろこんで頂けた

・楽しかったと皆様の感想が聞けた

・2班との日数が近く良いアドバイスが出来た

・もう少し準備の日数があれば更に良かった

## 平成29年度 クラブ活動報告書

### ① クラブ活動について

それぞれの利用者さん一人ひとりの希望と残存機能を発揮する場としての活動を行うことができた。

一人ひとりにとって充実した時間を過ごして頂くことができた。

生活リハビリの一環としての活動への参加は非常に重要であった。

### ② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	先生及びボランティア名	担当職員
茶 道	K先生・I先生	介護職員
華 道	S先生	介護職員
手 芸	S先生	介護職員
書 道	I先生	介護職員
音楽療法	A先生	介護職員
カラオケ	—	介護職員
朗 読	S様・K様	介護職員
紙 芝 居	—	介護職員
スポーツ	K様・N様	介護職員
ラジオ体操	—	介護職員
映画鑑賞		介護職員
外 出	—	生活相談員
園 芸	—	介護職員
工 作	—	介護職員

# 平成29年度茶道活動報告

活動回数	21回	参加延人数	256名	平均参加人数	12.1名
活動報告	毎月第1・第3土曜日、午後2時より1時間程度活動されました。 利用者様はいつもとなく緊張された様子でお茶を点てられ、初めてお茶を点てられた方も楽しく参加されました。また、先生と美味しいお菓子を食べ嬉しそうに参加されていました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	ホールでお抹茶とお菓子を頂きました。落ち着いた静かな様子でお茶を楽しまれていました。		10月	慣れてきた利用者様はどんどんとお茶を点てられる様になった。お饅頭を美味しく召し上がって茶道を楽しんで頂いた。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施2回	24名
5月	先生に指導を受けお茶を点てられる様になった方。また、茶道を楽しみにして頂き声掛けに喜んで参加された。		11月	文化祭にて、多くの方に茶道を楽しんでいただいた。	
参加人数	実施2回	25名	参加人数	実施1回	12名
6月	ホールにて美味しいお菓子とお抹茶を頂きました。皆様落ち着いた静かなひと時を過ごしていました。		12月	今年最後の活動に参加され、一時間静かなひと時を過ごされていました。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施2回	27名
7月	複数回参加された方が活動日を楽しみにされ参加して頂きました。 ホールでお抹茶とお菓子を頂きました。		1月	美味しいお菓子と美味しいお茶を楽しみました。 他者のお点前を真剣に見つめている方もいました。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施2回	24名
8月	多くの方に茶道を楽しみにして頂き声掛けに喜んで参加された。落ち着いた静かなひと時を過ごしていました。		2月	慣れた手つきでお茶を点てられ、点ててもらった抹茶とお饅頭を美味しく召し上がって茶道を楽しんで頂いた。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施1回	12名
9月	久しぶりに参加された利用者様も楽しまれた様子で茶道に参加されました。皆さん、お饅頭を美味しく召し上がって茶道を楽しんで頂いた。		3月	多くの利用者様に茶道を楽しみにして頂き声掛けに喜んで参加された。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施1回	12名

## 平成29年度華道クラブ活動報告

活動回数	24回	参加延人数	291名	平均参加人数	24名
活動報告	<p>華道を楽しみにされている利用者様が多く先生方にアドバイスをもらいながら積極的に お花を活ける様子が多くみられました。</p> <p>和気あいあいと和やかな雰囲気の中で今年度の華道クラブを行う事ができました。</p>				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	今年度より新しい先生になり、初めて参加された利用者様もいらっしゃいましたが、楽しくお話しされながら、活けられていました。	10月		喜んで参加して下さる利用者様も多く、皆様楽しそうにされていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数		活動2回 24名	
5月	先生に声をかけ、アドバイスを求める等、積極的に参加され、楽しそうに活けられていました。	11月		文化祭は皆様、大変楽しそうにお花を活けられ、生き生きされていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数		活動2回 27名	
6月	季節の花を楽しそうに活けられる様子が多く見られました。皆さん、笑顔で参加されていました。	12月		積極的にお花を活ける姿が大変、楽しそうでした。皆、利用者様和気あいあい参加されていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数		活動2回 24名	
7月	真剣に作品を創る姿が見られました。植物に詳しい利用者様がとても楽しそうに活けられていました。	1月		ひと足早く春らしいお花を活けました。また、お正月らしいお花と皆様大変楽しそうに生き生きと活けていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数		活動2回 24名	
8月	暑い季節なので、長持ちさせられる様に工夫して活けられていました。季節に合った作品が多く出来ました。	2月		先生の助言を熱心に聞き、春らしいお花を皆さま、思い通りに活けていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数		活動2回 24名	
9月	秋に向けて大きな作品作りを行いました。どの作品もとても立派でフラワーアレンジメントに詳しい来客の方にも褒められました。	3月		華道へのお誘いに喜ばれる利用者様が多く、楽しみにされているご様子。積極的に活けられ楽しそうでした。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数		活動2回 24名	

## 平成29年度書道クラブ活動報告

活動回数	18回	参加延人数	251名	平均参加人数	14名
活動報告	<p>昨年度同様、各回12名以上の参加を目標としましたが、体調不良の方が多き時などは目標人数を下回る時もありました。しかしながら、毎月活動する事ができ平均人数は目標を上回る14名となりました。参加された方におかれましては安全で楽しい書道の時間を過ごしていただき、文化祭へも多くの出品できました。</p>				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	春をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	10月		来月の文化祭に向けて大きな作品に取り組みられる方が多く見られました。	
参加人数	21名	参加人数		28名	
5月	“つつじ”や“初夏”等、季節を感じられる言葉を選び好きなものを書いていただきました。	11月		今月は文化祭もあり個々の作品を展示し“クリ”や“もみじ”等、秋をテーマにした新たな作品に取り組みられていました。	
参加人数	9名	参加人数		9名	
6月	梅雨から夏にかけての言葉を選び手本を見ながら書いていただきました。	12月		“大晦日”や“元旦”“初雪”等、冬をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	
参加人数	23名	参加人数		28名	
7月	“ほたる”や“青空”等、夏をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	1月		先月に引き続き冬をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	
参加人数	16名	参加人数		15名	
8月	ボランティアさんと一緒に書道を楽しまれていました。	2月		“節分”や“うめ”“立春”等、季節を感じられる言葉を選び書いていただきました。	
参加人数	16名	参加人数		24名	
9月	今月は初めての方より多くの方に参加して書道を楽しんでいただきました。	3月		“桜”や“つくし”等、春を題材に書かれる方が多く見られました。	
参加人数	33名	参加人数		29名	

## 平成 29 年度音楽療法活動報告

活動回数	18回	参加延人数	377名	平均参加人数	21名
活動報告	音楽に合わせて身体を動かす事により ADL 低下防止につながっている。 季節の歌を取り入れる事により季節感を感じる事ができた。また、2F ホールで合同の時は、他のフロアーに移動した方と言葉をかわしている様子が見られ交流の場になっている。				
月別活動報告					
	内 容		内 容		
4月	春を感じる歌をうたったり、ストレッチ、手拍子などで楽しむ	10月	歌に合わせて身体を動かしたり、一緒に歌うなど楽しむ。		
参加人数/	17名	参加人数	18名		
5月	歌やストレッチ・手拍子などをする。	11月	歌に合わせてストレッチを行ったり、皆で歌をうたったり楽しむ。		
参加人数	36名	参加人数	64名		
6月	歌やストレッチ・脳トレを行う。	12月	歌に合わせてストレッチ・手拍子などする。季節の歌を皆でうたったりし、楽しむ。		
参加人数	22名	参加人数	50名		
7月	歌に合わせてリズム体操、ストレッチを行い楽しむ。	1月	参加者は少なかったが、歌をうたったり、身を動かし体操などをする。		
参加人数	14名	参加人数	9名		
8月	懐かしい歌を歌ったり、体操をリズムに合わせて楽しむ。	2月	歌や手遊び、イントロクイズをしたり、季節の歌を皆で一緒にうたったり楽しむ。		
参加人数	31名	参加人数	53名		
9月	先生の伴奏に合わせて体操をし、身体を動かし楽しむ。	3月	歌をうたったり、体操で身体を動かし楽しむ。		
参加人数	39名	参加人数	33名		

## 平成 29 年度紙芝居活動報告

活動回数	1 2 回	参加延人数	6 0 4 名	平均参加人数	5 0 名
活動報告	いままで出来なかった音響効果、視覚効果を出しながら、より変化を加え、利用者の方に喜んで頂けた。紙芝居の舞台となる木箱は予約が困難であることから、製作した。				
月別活動報告					
	内 容		内 容		
4 月	紙芝居 2 作品を実施した。 嚙下機能向上を考えた歌と体操を実施した。	10 月	紙芝居 3 作品を実施した。 2 階を中心に時間を掛けて行い、1 階、3 階は工夫して行った。		
参加人数	計 5 6 名	参加人数	計 4 3 名		
5 月	紙芝居 3 作品を実施した。 1 階に比重を置いて、2 階、3 階は工夫して行った。	11 月	感染の恐れがあったので、人数をおさえて紙芝居 2 作品を実施した。 紙芝居の木箱を作成した。		
参加人数	計 4 3 名	参加人数	計 2 8 名		
6 月	紙芝居 3 作品を実施した。 3 階を中心に（3 作品中 3 作品） 1、2 階は工夫して行った。	12 月	紙芝居 3 作品を実施した。		
参加人数	計 5 4 名	参加人数	計 4 9 名		
7 月	大型紙芝居 2 作品実施。 迫力があり、インパクトがあった。 多くの方に観て頂くためにフロアでも複数個所で行った。	1 月	紙芝居の声出しをスピーカーで通して行ったり『サザエさん』の歌に合わせて体操を行い好評であった。		
参加人数	計 7 7 名	参加人数	計 6 4 名		
8 月	紙芝居 3 作品を実施した。 2 階を中心に（3 作品全部）3 階は工夫して行った。	2 月	紙芝居 3 作品を実施した。 3 階を中心にして（3 作品全て） 1、2 階は工夫して行った。		
参加人数	計 3 3 名	参加人数	計 6 5 名		
9 月	紙芝居 2 作品実施。 2 階で感染の恐れがあったので、2Fのみ、日本昔ばなしの DVD を上映した。	3 月	紙芝居 4 作品を実施した。 1 階を中心にして、2、3 階は工夫して行った。		
参加人数	計 4 2 名	参加人数	計 5 0 名		

## 平成 29 年度スポーツ活動報告

活動回数	12回	参加延人数	606名	平均参加人数	50名
活動報告	昨年度と比べると手指消毒を徹底したり、各職員の危機管理能力が上がりインフルエンザの流行を最小限に抑えられた為により多くの利用者様にレクへ参加して頂けた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	ボーリング、釣りゲーム等を行い、主に上肢の運動を実施		10月	運動会で一番盛り上がったパン喰い競争で取ったパンを美味しく召し上がった。	
参加人数	59名		参加人数	47名	
5月	ボーリング等のゲームを行ったり近所の公園へ散歩に出掛け消防車や花を観たりした。		11月	遊具、ボールを使用して遊んだ。	
参加人数	11名		参加人数	56名	
6月	午前と午後の両方でレクを行いより多くの利用者様に参加して頂くことに努めた。		12月	輪投げ、ボーリング、釣りゲーム等、運動的要素を盛り込んだレクを行った。	
参加人数	103名		参加人数	67名	
7月	大きな声出しながら発語を促しつつ腕や手を動かす体操をした。		1月	車椅子の利用者様を丸テーブルに集めボール遊びを行った。インフルエンザ予防の為、各フロアー毎に行った。	
参加人数	24名		参加人数	59名	
8月	風船やビーチボールで自然に上肢の体操になるような運動を楽しんで行った。		2月	各フロアーの状況を見ながら、ボーリングや釣りゲーム、輪投げ等を行った。	
参加人数	36名		参加人数	62名	
9月	ボーリング・ボール遊び・ボール渡し競争・ラジオ体操・ジャンケンゲーム等、様々なゲームを楽しく行った。		3月	各フロアー毎に、それぞれ運動や体操、歌を唄うなどのレクを行った。	
参加人数	55名		参加人数	27名	

# 平成29年度外出活動報告

活動回数	11回	参加延人数	95名	平均参加人数	9名
活動報告	季節に合わせた企画を楽しんで頂けた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	杉の子第3保育園のミニ運動会に参加しました。玉入れに参加。皆さん童心にかえって一生懸命、玉を投げていました。		10月	第2・第3サンシャインビラ文化祭に参加しました。歌に合わせて手拍子をする等、皆さん楽しまれていました。 杉の子保育園、芋煮会に行きました。小さな子供達を見て皆さん目を細めていらっしゃいました。	
参加人数	7名		参加人数	14名	
5月	5/5 町内会の凧揚げ大会を見に行きました。		11月	あきる野の瀬音の湯に行きました。赤や黄色の紅葉を眺め、お昼ご飯を食べてきました。青梅のかんぽの宿に行き食事をしてきました。	
参加人数	3名		参加人数	6名	
6月	ドライブに行きました。外の景色を見て「たまにはいいね」と楽しまれていました。		12月	不二家にてケーキとコーヒー等飲み物を召し上がりました。 楽しそうにケーキを選んでいらっしゃいました。	
参加人数	15名		参加人数	6名	
7月	杉の子第3保育園の七夕会を見に行きました。歌や劇など、小さなお子さん達の歓迎に涙されている方もいらっしゃいました。		1月	初詣に熊川神社に行きました。 お守りと甘酒を頂き笑顔で喜ばれていました。	
参加人数	5名		参加人数	18名	
8月	不二家レストランにお昼ご飯を食べに行きました。ハンバーグやとんかつ、あんみつ等、美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。		2月	中止	
参加人数	5名		参加人数		
9月	山梨にぶどう狩りに行きました。ぶどうを味わい、お天気も良く、皆さん楽しまれていました。お昼のほうとうも美味しそうに召し上がりました。		3月	不二家レストランに行きました。ケーキやティラミス、あんみつ、チョコレートパフェとコーヒーを召し上がり、楽しい時間を過ごされました。	
参加人数	9名		参加人数	7名	

# 平成29年度工作活動報告

活動回数	16回	参加延人数	136名	平均参加人数	8.5名
活動報告	<p>活動目標である、1. 作る楽しみを感じて、意欲に繋げるは、皆さん作品ごとに色々なアイデアや工夫を下さり、個性のある作品に仕上がりました。</p> <p>2. 制作の準備をする。作品は文化祭に展示するは、準備や仕上げには時間がかかりましたが、皆さんが楽しく出来て、文化祭にもたくさんの作品展示が出来ました。</p> <p>作品だけでなく、工作を作っている間に利用者と職員の何気ない会話を楽しみに来られる方もいらっしゃいました。来年度、引き続き行ってほしいと思いました。</p>				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	こいのぼり 小さな鯉の体に折り紙で柄を付けて、大きな3匹の鯉を作りました。		10月	ぶどう ぶどう棚にぶどうを張り付けていただきました。	
参加人数	4/19 3名	4/25 11名	14名	参加人数	10/23 16名
5月	あじさい 施設の理念でもある、季節感のある行事を行うと言う事で工作クラブでは季節が感じられるような作品を作成しました。		11月	11/3 文化祭には『こいのぼり』『あじさい』『うちわ』『ぶどう』と大きな作品や個人の作品を展示する事が出来ました。  まつぼっくりツリー	
参加人数	5/23 15名		参加人数	11/28 9名	
6月	あじさい 5月・6月にわたり、フロア毎の作品。絵具を使い創り上げました。		12月	まつぼっくりツリー 11月から大きなまつぼっくりにビーズやボタン等の飾りを付け、フロアのクリスマス飾りと一緒にフロアを賑やかにしました。	
参加人数	6/27 18名	参加人数	12/11 7名 12/18 3名 10名		
7月	うちわ 【祭】の字を貼り、色々な折り紙を貼って個性的なうちわを作り上げました。		1月	節分の鬼 2月の節分の赤鬼・青鬼・緑鬼を作成する為に鬼の色を選んで頂き作成しました。	
参加人数	7/25 11名	7/27 3名	14名 参加人数 1/23 9名		
8月	ぶどう 色画用紙を切ったり、輪を作ってもらったりとぶどうの準備を行ってもらいました。		2月	ひな人形カレンダーと塗り絵 来月のカレンダー(雛人形)に色を塗ってもらい、簡単な塗り絵から大人の塗り絵まで入れた中から皆さんに選んでもらって塗って頂きました。	
参加人数	8/28 8名	参加人数	2/27 11名		
9月	ぶどう ぶどうの形の色画用紙に輪を張り付けていただきました。		3月	桜 2名と少ない人数でしたが、観桜会で飾って頂く作品を創り上げました。	
参加人数	9/25 5名	9/28 5名	10名 参加人数 3/27 2名		

## 平成 29 年度活動計画

名 称	園 芸	活 動 回 数	7 回
参加合計	80名	活 動 場 所	中 庭 等
	<p>4月 プランターに花を植える (8名参加)</p> <p>5月 ゴーヤ、きゅうり、トマト、ナス、ピーマンを植える (4名参加)</p> <p>6月 きゅうり、トマト、ナス、ピーマンの観察と収穫 (6名参加)</p> <p>7月 水まき、ゴーヤの収穫、きゅうり、トマト、ピーマンの収穫と試食 (4名参加)</p> <p>8月 ゴーヤ、トマト、ナスの収穫と試食 (6名参加)</p> <p>12月 オレンジ等の収穫と鑑賞。写真を撮る。(52名参加)</p> <p><b>*屋外活動として、外気浴も兼ねて、季節に応じた活動が出来ました。収穫の喜びを味わいながら、楽しく、活性化がはかれ、利用者様の生活の向上に役立ったと思います。</b></p>		

名 称	手 芸	活 動 回 数	5 回
参加合計	32名	活 動 場 所	2階ホール
	<p>4月 ポーチ等に取り組み完成した方もありました (5名参加)</p> <p>6月 2名の見学者もあり熱心に取り組んでいました (10名参加)</p> <p>10月 作りかけの作品を完成に向けて取り組みました (11名参加)</p> <p>11月 目が見えにくいと話す方も熱心に製作しました (3名参加)</p> <p>12月 集中して取り組みました (3名参加)</p> <p><b>*作品の製作とともに、会話がはずみました。作品が完成すると、とても満足そうな笑顔でした。</b></p>		

名 称	朗 読	活 動 回 数	1 3 回
参加合計	2 0 4 名	活 動 場 所	2階ホール等
	<p>4月 西多摩の民話と昔話・懐かしい歌を唄う (11名参加)</p> <p>5月 懐かしい歌を唄う (14名参加)</p> <p>6月 お話の朗読・歌・体操等 2回実施 (45名参加)</p> <p>7月 お話の朗読を 2回実施 (13名参加)</p> <p>8月 お話の朗読 (18名参加)</p> <p>9月 詩・フリートーク・お話の朗読 (14名参加)</p> <p>10月 紙芝居・歌・読み聞かせを 2回実施 (29名参加)</p> <p>2月 歌と朗読を 2回実施 (31名参加)</p> <p>3月 お話の朗読 (14名参加)</p> <p><b>*ボランティアの皆様と利用者様とで、歌を唄ったり、軽い体操をしたり、普段と違う時間を過ごし、日常生活の充実が図れました。</b></p>		

名 称	カラオケ・上映	活 動 回 数	3 回
参加合計	1 0 3 名	活 動 場 所	2階ホール
	<p>5月 カラオケ (24名参加)</p> <p>10月 上映会 2回開催 寅次郎 子守唄 (17名参加) 寅次郎 恋やつれ (25名参加)</p> <p>1月 カラオケ (37名)</p> <p><b>*カラオケも、上映会もどちらも利用者様には、とても好評でした。 来年度は、さらに回数を多く実施し、多くの方に楽しんで いただきたいと思います。</b></p>		

## H29年度ラジオ体操活動報告

- ・ 担当者が毎月1週目は1F、2週目は2F、3週目は3Fにて1週間続けて体操を行う。
- ・ 利用者様と体操を行うことで、利用者様の健康維持、職員との関係を良好に保つことを目的とする。

実施月	参加人数	備考
H29. 4月	79名	
H29. 5月	53名	
H29. 6月	173名	運動会実施 多くの利用者様が参加される
H29. 7月	211名	盆踊りの練習に利用者様も参加される
H29. 8月	116名	
H29. 9月	71名	
H29. 10月	24名	
H29. 11月	131名	
H29. 12月	65名	
H30. 1月	20名	
H30. 2月	25名	
H30. 3月	45名	

# 平成 29 年度 防災の報告

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」等々  
予期せぬ事態を想定し、訓練を行いました。  
どのような場合でも、事業が継続できる組織であるようにと考え、訓練に取り  
組みました。

## 1. 訓練の記録

### ・実施日

- 5月 31日（地震発生・火災発生・初期消火）
  - 7月 25日（平成 29 年度自衛消防訓練審査会に伴う事前説明会）
  - 7月 25日～
  - 8月 15日（地震発生・火災発生・初期消火等自衛消防訓練審査会にむけて  
14回、訓練を行った）
  - 8月 16日～
  - 9月 15日（同上の訓練を 18 回行った）
  - 9月 6日～
  - 9月 12日（消防署の指導を受け事前訓練を 4 回行った）
  - 9月 26日（自衛消防訓練審査会に参加）
  - 12月 13日（夜勤帯に地震発生・火災発生・初期消火、消火器の取扱い方法）
  - 3月 6日（同上）
- ・ 41 回、訓練を行いました。

## 2. 防災会議の記録

### ・実施日

- 4月 28日 ・ 5月 26日 ・ 6月 9日 ・ 6月 23日 ・ 7月 2日 ・ 7月 12日 ・
  - 7月 25日 ・ 7月 28日 ・ 8月 25日 ・ 9月 16日 ・ 9月 22日 ・ 10月 14日 ・
  - 10月 17日 ・ 11月 30日 ・ 12月 22日 ・ 1月 26日 ・ 2月 6日 ・ 2月 9日 ・
  - 2月 23日 ・ 3月 23日 ・
- ・ 20 回、会議を行いました。

## 3. 不審者対策

- ・ 震災、火災に対する訓練を例年同様に行った上で、不審者対策を強化しました。  
福生警察に不審者対応研修を依頼し、内部研修で学び、「備え」の心構えを強め  
防災意識とともに、不審者対策の強化が図れました。

## 平成 29 年度 使用物品等の報告

「在庫が少なくなったことに気付いた職員が、事務所にメモで知らせる」という方法が定着しました。

事務所で発注して納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

各職員一人一人の意識で、チームワーク良くすすめる事が出来ました。物品を持ち出したときに行う記録の残数が合わないことが多くあり、課題が引き続き残っています。

## 平成 29 年度 シーツ等リネン類の発注管理の報告

シーツ等リネン類の発注に関し、シーツ交換の委託業者に依頼しました。シーツ交換を業者に委託する事により、介護職員はリネン交換以外の介護に取り組むことが出来ています。

その時間を利用者様との会話や関わりの時間にできる事は良い効果です。定期的なシーツ交換以外の交換は介護職員が行い、利用者様の心地よい環境を支援しました。

## 平成 29 年度 おむつ管理の報告

- ・リースの清拭布を使用しています。  
清拭布の使用にあたっては、職員はコスト意識を持って使用しています。排泄委員の働きかけにより、それぞれの職員の意識も高まりました。無駄な使い方をしないように注意しています。
- ・紙おむつ類は、パンツ型・テープ型のおむつと尿取りパットを使用しています。それぞれの方の排泄状況をアセスメントし、利用者様の状態に合わせた使用物品を選択し、排泄委員が中心になり、各フロアーリーダーの意見等も参考にしながら、利用者様が快適に過ごしていただくことに重点を置きました。
- ・利用者様の平均要介護度が高くなり、排泄介助の必要な方がほとんどとなったせいか、排泄用品の年間使用量が増加しました。
- ・今年度も排泄面の向上を目指して取り組み、事例に基づいた内部研修を実施し、プライバシーへの配慮や正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えや技術の習得に力を入れて、人材育成を行うことが出来ました。

## 平成29年度 年間行事実施状況報告書

年間行事を予定通り実施し、今年度も季節感を感じていただけた。精神面の充実にもつながり  
活性化が図れた。

今年も運動会を行う事ができました。紅白に分かれて真剣な表情で競い合いました。

月	日	曜日	行事名	参加人数	内容
4	9	日	観桜会	81	六本木ヒロシ歌謡ショー・日舞・カラオケ・職員による演芸 和菓子・ミニケーキ・ソフトクリームもあり、スイーツが充実して喜んでいただきました。
6	9	金	運動会	69	紅白対抗玉入れ・だるま渡し・大声大会・応援合戦・職員による車椅子競争・ パン喰い競争。安全に楽しく行う事ができました。
7	9	日	納涼祭	93	武州唐獅子太鼓・セピア・すいか割り・カラオケ・盆踊り お囃子の演奏で皆様をお出迎えし楽しいひと時を過ごして頂けました。
9	17	月	敬老会	84	一部式典(開会の言葉・理事長式辞・お祝いの電報・長寿、表彰・利用者代表謝辞) 二部、喫茶・歌の会・お楽しみ抽選会
11	3	金	文化祭	88	六本木ヒロシ歌謡ショー・日舞・カラオケ 展示する場所を設け、写真や展示物をゆっくり皆様に見て頂けた。
12	25	月	クリスマス会	100	各フロアーにて行った。駄菓子ボックスを使いサンタからのプレゼント風にしました。 演奏後には喫茶でケーキを食べました。
1	1	金	元旦祭	82	2Fホール新年の一部式典、理事長新年挨拶・職員代表挨拶・乾杯・利用者代表挨拶 お正月の唄。二部甘酒を頂きながら昔懐かしいゲームやお正月遊び。
2	3	土	節分	82	一部、節分の由来・寸劇(豆まき)。二部、喫茶、写真撮影、カラオケ大会 皆さん鬼に向かって豆を思いっきり投げいらっしやいました。
3	3	土	ひな祭り	86	ホールにてひな祭りを行いました。「うれしいひな祭り」を唄いました。 おやつに甘酒と雛あられを食べました。

# 行 事 日 程 と 実 績

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	29年 4月 9日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	6,602 161,736 111,822 10,350	290,510
運動会	29年 6月 9日 (金)	備品購入 その他	11,880	11,880
納涼祭	29年 7月 9日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	2,542 120,353 130,000 17,610	270,505
地域祭礼	29年 7月29日 (土) 玄関前	飲み物 菓子等	12,845 10,908	23,753
敬老会	29年 9月17日 (日) 2階ホール	花 公演等御礼 その他	10,000 0 32,567	42,567
文化祭	29年11月 3日 (祝日) 文化の日 玄関ホールと 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	3,034 119,787 96,822 13,638	233,281
クリスマス	29年12月25日 (月) 2階ホール	会場備品準備 その他	7,514 10,578	18,092
餅つき大会	29年12月28日 (木) 2階ホール	もち米. 他	5,393	5,393
正月	30年1月1.2.3日(金.土.日) 各フロアと 2階ホール	門松.お飾り 花 公演等御礼 その他	58,416 5,000 10,000 6,481	79,897
節分祭	30年 2月 3日 (金) 各フロアと 2階ホール	鬼打ち豆 その他	1,209 4,832	6,041
ひな祭り	30年 3月 3日 (金) 2階ホール	あられ.他 花	3,655 0	3,655

¥ 985,574

## 平成29年度 ボランティア受入状況報告

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
4	1	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	3	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	5	朗読	3	本の朗読
	7	作業補助(個人・女性)	1	トイレ清掃
	8	観桜会準備	1	紅白幕等準備
	9	観桜会	5	模擬店商品受渡し
	11	11	2	会場対応
	11	11	2	踊り
	11	11	18	武州唐獅子太鼓
	11	11	2	お客様対応
	10	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	12	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	11	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	14	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	15	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	18	保育園児	30	慰問
	11	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	19	作業補助(個人・女性)	1	ガーゼ切り
	21	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	23	慰問(個人・男性)	1	踊り・草笛
	24	茶道クラブ	1	茶道講習
	26	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	11	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	27	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	29	慰問	8	踊り・草笛
5	1	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	6	茶道クラブ	1	茶道講習
	8	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	10	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	12	作業補助(個人・女性)	1	手摺り等の消毒・階段清掃
	13	福生高校定時制ボランティア部	6	利用者レクリエーション
	14	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	16	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	17	朗読	4	本の朗読
	19	作業補助(個人・女性)	1	階段清掃
	20	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	21	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
5	24	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	26	作業補助(個人・女性)	1	手摺り等の消毒・階段清掃
	27	茶道クラブ	1	茶道講習
	28	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	29	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
6	2	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	3	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	福生高校定時制ボランティア部	5	利用者レクリエーション
	5	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	7	朗読	4	本の朗読
	10	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	12	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	14	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	16	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	17	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	20	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	21	朗読	3	本の朗読
	23	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	25	利用者レクリエーション	1	草笛他
	11	慰問	7	演芸
	28	華道クラブ	1	華道講習
	30	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
7	1	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	3	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	5	朗読	3	本の朗読
	7	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	12	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	14	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	15	茶道クラブ	1	茶道講習
	19	朗読	3	本の朗読
	20	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	21	介護作業等補助(個人・女性)	1	床清掃
	22	夏・体験ボランティア	2	介護作業補助他
	24	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	26	華道クラブ	1	華道講習
	28	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
8	4	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	8	慰問	25	児童合唱団 披露
	11	華道クラブ	1	華道講習
	11	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	9	華道クラブ	1	華道講習

8	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	12	茶道クラブ	1	茶道講習
	15	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	16	朗読	3	本の朗読
	18	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	19	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	22	利用者レクリエーション	1	草笛他
	11	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	23	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	24	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	25	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	26	慰問	8	演芸披露
	31	福生高校定時制ボランティア部	3	利用者レクリエーション
9	1	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	2	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	4	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	11	朗読	2	本の朗読
	6	介護作業等補助(個人・女性)	1	ガーゼたたみ・トイレ清掃
	8	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	13	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	16	書道クラブ	1	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	23	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	27	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	29	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	30	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
10	2	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	4	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	11	朗読	2	本の朗読
	6	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	7	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	16	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	17	慰問・介護補助	5	清拭たたみ
	18	朗読	2	本の朗読
	21	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	22	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	24	利用者レクリエーション	1	草笛他
	25	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	27	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	29	慰問	20	保育園児他
	30	慰問	1	ウクレレ・フラダンス 披露

11	1	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	2	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	3	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	10	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	13	介護作業等補助(個人・男性)	1	トイレ・床清掃
	17	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	18	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	22	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	24	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	25	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	29	//	2	//
12	1	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	2	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	8	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	10	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	11	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	13	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	14	作業補助(個人・男性)	1	床清掃
	16	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	26	利用者レクリエーション	1	草笛他
	//	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	27	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	29	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	//	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
1	6	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	10	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	12	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	15	慰問	1	フラダンス
	16	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	17	介護作業等補助(個人・女性)	1	ドアノブ・手すりの消毒
	19	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	20	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
2	3	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	7	朗読	3	2Fホール
	8	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	10	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	14	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	17	書道クラブ	1	クラブ活動の準備・片付け等
	//	書道クラブ	1	補佐
	21	朗読	3	2Fホール
	22	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	27	利用者レクリエーション	1	草笛他
	28	華道クラブ	2	華道講習

3	1	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	3	書道クラブ	1	クラブ活動の準備・片付け等
	7	朗読	3	2Fホール
	10	慰問	20	合唱
	12	介護作業等補助(個人・男性)	1	トイレ・床清掃
	11	介護作業等補助(個人・男性)	1	トイレ・床清掃
	14	華道クラブ	1	華道講習
	17	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	24	茶道クラブ	1	茶道講習
	25	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助

年間 延べ 437名のボランティアさんに 活動して頂きました。

## 実習生・研修生受入記録

No.	期 間 (年 ) ~			実 習 依 頼 先	実 習 内 容	人数	日数
1	29	6/13	6/15	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	9	1
2	〃	7/31	8/13	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士実習	1	10
3	〃	8/7	9/1	東京都社会福祉協議会	社会福祉施設介護体験	4	5
4	〃	8/18	8/31	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士実習	2	10
5	〃	9/11	9/11	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	1	1
6	30	3/19	3/31	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士実習	2	10
計						19	名

※ 中学生の職場体験として、福生市立福生1中・あきる野市立秋多中の生徒及びインターシップとして秋留台高等学校の生徒を受け入れた。

## 平成29年度 地域行事参加状況一覧表

地域の行事への参加は良い外出の機会となった。

月	日	曜日	行事名	参加人数	内容
4	2	日	第2観桜会	5	楽しい催し物に美味しいご馳走を頂きました。
	22	土	第3観桜会	5	楽しい催し物に美味しいご馳走を頂きました。
5	5	金	凧揚げ(町内会)	8	大きな凧が空に上がる所を見ました。
6	29	木	福老連演芸大会	5	歌や踊りを見に行きました。
7	22	土	第3納涼祭	4	ベリーダンス・よさこいソーラン、盆踊りを見てきました。
	29	土	夏祭り(志茂一町会)	28	山車・神輿の休憩所
8	4~6	金	福生七夕ドライブ	5	福生市の七夕飾りを車の中から見物しました。
9	10	日	福生市敬老会	7	福生市民会館にて表彰後、歌謡ショー
	16	金	消防審査会	5	施設の職員が参加され、応援に行きました。 皆さんの緊張が伝わってきました。
10	1	日	福祉まつり	4	催し物を見たり、好きな物を購入しました。
	15	日	第2文化祭	5	沢山の作品を見て美味しいご馳走も頂きました。
	28	土	第3文化祭	4	作品を見たり購入したり美味しいご馳走も頂きました。
12	4	月	福生第7小学校	29	『お年寄りと交流をしよう～サンシャインビラ訪問』
			合 計	114	

# 設備改善及び備品購入状況

項目	月	日	件名	数量	金額	使用場所	納入業者	
設 備 ・ 備 品	6	1	ノートパソコン	1	151,800	医務室	株)コジマ	
	6	19	コピー機	1	1,560,600	事務室	株)ツクモ商事	
	7	31	医務室天井エアコン	1	280,800	医務室	有)岡野電機	
	8	31	職員トイレ便器交換	3	669,276	職員トイレ1-3階	有)金子設備工業	
	〃	〃	心電計	1	540,000	医務室	日本光電工業(株)	
	〃	〃	製氷機	1	216,000	介護室1階	株)マルゼン	
	〃	〃	流し交換	1	155,196	医務室	有)金子設備工業	
	〃	〃	居室便器交換	25	1,755,000	各居室	〃	
	〃	〃	施設内給水管交換工事	一式	13,173,048	屋上	〃	
	〃	〃	居室トイレ改修工事	一式	5,288,976	各居室	〃	
	9	30	清拭車	1	194,400	3階	株)キュアサポート	
	〃	〃	パソコン(ノート・一体型)	4	505,116	事務室	株)マイルストーン	
	10	〃	電動ベッド	10	1,976,400	居室	デーエヌ企画	
	11	〃	パソコン(ノート・一体型)	2	275,184	事務室・医務室	株)マイルストーン	
	〃	〃	膨張水槽(給湯用)	一式	1,510,272	屋上	有)金子設備工業	
	〃	〃	厨房屋根部分駐車フェンス	一式	986,523	厨房屋根部分駐車スペース	〃	
	〃	〃	厨房一体型トイレ	1	222,372	厨房	〃	
	〃	〃	洗濯室土間雑排水管新設配管工事	一式	264,600	洗濯室	〃	
	〃	〃	厨房屋根部分防水工事	一式	2,197,309	厨房屋根部分駐車スペース	〃	
	〃	〃	厨房屋根部分駐車スペース補強工事	一式	2,020,688	厨房屋根部分駐車スペース	〃	
30年	1	31	玄関先水栓手洗器	1	145,800	玄関	〃	
小 計					34,089,360			
修 繕 費	8	31	床下水漏れ工事	一式	309,636	床下	有)金子設備工業	
	12	31	介護室看護室等ドア交換・3階天井換気ダクト、 エアコン、ベントキャップ清掃他	〃	248,400	介護室看護室・3階天井 他	〃	
	30年	1	31	受水槽塗装工事	〃	388,800	機械浴室隣り	〃
	3	31	ボイラー機械室上部水漏れ修理	〃	242,000	ボイラー機械室	〃	
小 計					1,188,836			
合 計					35,278,196			

# 平成29年度 短期入所生活介護事業報告

## 1. 基本方針

### 1) 月別利用者延人数調査

4月	27名	・	5月	29名	・	6月	41名
7月	15名	・	8月	28名	・	9月	31名
10月	12名	・	11月	53名	・	12月	36名
1月	27名	・	2月	12名	・	3月	49名

1年間に、延べ人数で合計360名の方に利用していただきました。  
制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えることを実践しました。

- 2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

## 2. 重点目標

「いつでもそばに～心に届く介護～」を合言葉に職員一同力を合わせてサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な受け入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 2床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受けにくい場面もありました。
- (4) 内部研修とOJTを強化しました。
- (5) 各部署のチームワークが強化できました。
- (6) 生活の場として安全であるよう環境を整え安心して過ごし、安心して居宅へ戻れるよう支援しました。

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビル  
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事業報告目次

項 目	ページ
事業報告	
1. 事業報告(総括) 中長期経営計画達成状況	1
2. 職員構成	2
3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書	3
4. 市区町村別入退所状況	3
5. 利用者外出・外泊・面会状況	4
6. 処遇報告	4-7
1) 2F 事業報告・活動報告	
2) 3F 事業報告・活動報告	
3) 4F 事業報告・活動報告	
4) 月間定例行事実施状況	
5) 地域行事参加状況一覧表	
6) 施設見学者一覧表	
7) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告	
7. 厨房事業報告	8-9
1) 実施項目	
2) 代替食実施状況	
3) 行事食内容報告	
4) 給食懇談会実施状況	
8. 医務室利用者健康管理報告	10-11
9. リハビリテーション報告	11-12
1) リハビリ実施報告表	
10. 生活相談員・介護支援専門員	12
11. クラブ活動実績報告	12-14
12. 年間行事実施報告	15
13. <u>事務費・固定資産物品報告</u>	15
14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告	15-16
15. 職員研修報告	16-20
16. ボランティア受入の状況	20-23
17. 慰問受入状況	23
18. 実習生受入状況	24
19. 消防訓練実施結果	25
20. ショートステイ事業報告	26

## 1. 事業報告 (総括)

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を更に深め、利用者個々の可能性への着目とより細やかな様子観察やコミュニケーションの更なる増加が実践する事が出来た。前年度と同様、日帰りドライブを中心に利用者ニーズを勘案したフロアやユニット活動が更に充実し、食事メニューの増加や厨房職員による手作りおやつ継続等、利用者個々の豊かな表情や笑い声の絶えない日常生活を支援する事が出来た。

地域交流については、地元加美町会との合同防災訓練の実施や行事への招待参加を継続、地元中学生等の職場体験受入れ以外にも前年度同様小学生の職場訪問の受入れを実施。認知症オレンジカフェの開催や福生市から委託を受けている家族介護者教室への講師派遣の継続等、これまで以上に交流を深める事ができ、地域に開かれた施設運営を更に高める事が出来た。特に認知症オレンジカフェについては参加者から好評の声が多くあり、継続的な事業として取り組んで行く事が重要であると感じた。

研修関係についても、内部・外部研修の更なる充実を推進し、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。内部研修に関しては、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修や地域の方にも参加して頂ける「公開研修会」の継続開催等により、充実した内容の研修会を行う事で、研修全体の精度が更に高まった。今年度の公開研修会は80名を超える参加者があり大変活気のある研修会となり、継続開催の意味や意義を改めて感じ取る事ができる研修会となった。

利用者の健康管理については、平均介護度4.1と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックときめ細やかな日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。特に今年度は面会者に対する感染症対策を再検討及び実施する事により蔓延防止に努める事ができた。

一方では、開設から22年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、利用者ベッドの入替えや施設内壁面の塗装やトイレの入替え等を中心に細かな部分も含め修理・改善に要する費用が大幅に増加となった。修繕等については今後もベッドの入替えや各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を感じてもらえるような施設作りを継続して進めて行きたい。

介護報酬等収入実績：658,832,505円

### 【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
統括施設長		1	
施 設 長		1	
顧問医師			1
産業医			1
副施設長			
事 務 長		1	
事 務 員		2	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	4(3)	
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		40	26
医 務	医 師		3
	看護主任	1	
	看護職員	5	2
	事務		1
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	8	2
保守管理・宿直	介助員	1	10

\*兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

\*清掃・洗濯・夜勤パートの一部はシルバー人材より派遣

人件費実績

: 459,535,648 円

福利厚生費実績

: 4,257,482 円

### 3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	13	11	8	13	10	14	5	9	14	11	15	8	12
栄養会議	27		22	27	24	28	26	23	28	11		8	10
行事計画委員会	13	11	8	13	10	14	5	9	14	11	15	8	12
苦情処理会議			22				26				22		3
事故対策会議		25				28				25			3
虐待防止・拘束会議				27				9 ・ 23				22	3
個人情報保護推進会議	27				24				31				3
実習研修推進委員会	17	16	19	17	31	18	23	20	18	15	19	21	12
厨房会議		10	14		9	13		8	13	10		14	8
ケース会議	13	11	8	13	10	14	5	9	14	11	15	8	24
	27	25	22	27	24	28	26	23	28	25	22	22	
リーダー会議	13	11	8	13	10	14	5	9	14	25	22	22	12
広報委員会	28	26	23	28		22	27	24	22	25	23		10
施設内レクリエーション委員会	17	20	19	17	21	18	23	20	18	15	19	19	12
褥瘡予防会議	27	25	22	27	24	28	26	23	28	25	22	22	12
衛生委員会	28	26	23	21	25	22	27	24	22	26	23		11
感染症対策委員会			8・23			22			16 ・ 28		5	22	7
全体会議	28	26	23	21	25	22	27	24	22	26	23	23	12
利用者懇談会	16			28									2
給食懇談会	3	1		3	7	4	2	6	4		5	5	10
3施設情報交換会			12									13	2
ボランティア懇談会													
防火管理委員会													

会議費実績：60,934円

### 4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	2	2	3	3	5	2
国 立	0	2	0	1	0	2
江 東	0	4	0	2	0	0
杉 並	0	3	0	4	4	3
世田谷	4	6	2	4	8	3
立 川	2	1	0	4	0	3
福 生	8	13	4	16	9	8
文 京	1	0	2	1	1	1
目 黒	0	2	3	3	1	1
その他	2	2	0	1	1	3
合計	19	35	14	39	54	53

## 5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	2	2			175	277	9.2
5			1	1	175	293	9.5
6					175	243	8.1
7			1	2	175	315	10.2
8					175	281	9.1
9	2	2			175	277	9.2
10	2	2			205	257	8.3
11					205	289	9.6
12	2	2			205	274	8.8
1					205	259	8.4
2					205	231	8.3
3					205	306	9.9
合計	8	8	2	3	2280	3302	9.0

## 6. 処 遇 報 告

### 1) 2F 事業報告・活動報告

#### (1) 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に職員一同及び医務との連携にて体調の変化の早期発見が出来、季節ごとの感染予防に配慮し、利用者様に穏やかで楽しい生活を送って頂くことが出来た。

#### (2) フロア活動報告

【利用者ショッピング】 4/11. 4名 25. 4名 5/9. 3名 6/13. 5名 27. 3名 7/11. 1名  
7/25. 1名 8/8. 3名 22. 5名 9/12. 1名 10/10. 4名 24. 2名 3/27. 4名

#### 【年間行事】

サンシャインビラ観桜会 3名 福生市福祉祭り 2名 第3サンシャインビラ文化祭 1名  
福生市敬老大会 5名 みかん狩り 12名

### 2) 3F 事業報告・活動報告

① ケアプランに基づいた個別ケアを実践する為、各居室担当者が連絡ノートやミーティングを通して情報を発信、他職員も理解を深めることで、一人一人の利用者に対してフロアとして統一したケアを行う事ができた。

新人職員に対しても「なぜそうするのか」といった根拠をしっかり指導することで、利用者個々の特性や個性を理解してケアに当たる事が、徐々にではあるができるようになっていく。

利用者の様子を観察する事で今後起り得るリスクを予想、食種変更やエアマットの準備も速やかに行う事ができた。更に、快適で安全な生活が送れるよう、状況に合わせて居室の移動や食席の変更を行うよう配慮し、利用者が笑顔で過ごせるよう努めた。

② 立ち上がりや歩行が不安定でありながら、認知症の進行により起き出しや独歩のある方が増えている状況もあり、転倒が増加、ベッドからの転倒やずり落ちは倍増という結果となってしまった。見守りやセンサー対応にも限界があり、夜間、排泄介助を交代で行い見守りを強化するなど工夫するも防げなかった。一方、移乗介助方法の統一徹底により、内出血や剥離は減少している。服薬ミスについては、手元での読み上げ、利用者への声かけ、服薬後の読み上げの3回の確認を徹底している。

また、感染症に関しては1名の感染（インフルエンザB型）が認められたが、迅速で適切な対応により以後の感染を完璧に防ぐ事ができた。ご家族の面会時にも、うがい・手洗い・マスク着用にご協力いただき、全体での感染症予防が効果を上げた。

③ レク委員会を中心に、生きがいや季節感を少しでも感じて頂けるようなフロアレクや装飾を行った。ただ、3階においては、利用者の更なる重度化もあり、それぞれの方に合わせた楽しみを見つける

事が今後の課題である。

※フロアレク…カラオケ、歌詞カードによる合唱

※外出支援…ショッピング、外気浴、相撲観戦（個別活動）

※外食…近隣のファミリーレストランでの外食会

ご家族が利用者と一緒に外食に出かけることもあり、家族団らんで楽しまれ、笑顔で戻られる様子も。

- ④ 3階で実際に経験した「身体拘束」について、そこに至るまでの道のりや各職員の思い。そしてそれを行う事がどれだけ大変か。更にその利用者の方の気持ちを考えたとき、常に代替案を探る事の大切さなど、多くの事を学んだ。
- 委員会については、排泄、入浴などは常に利用者の様子観察や職員の意見を元に排泄材料や回数の見直し、また入浴日の変更や順番の見直しなどが適切に行われ、清潔保持と快適な生活を支援している。

### 3) 4F 事業報告・活動報告

#### \*目的

利用者様のその人らしさを尊重し、安心してより良い生活を送って頂ける様に、各職種との連携を図り、自立支援、個別ケアを目指していく。

#### \*実施結果

##### ☆生活の質

フロアの全職員が、ケース会議の要点にしっかり目を通してケアプランを意識するようになり、居室担当からの発信も、以前よりも多くなり、継続した統一の処遇へとつなげる事が出来た。

そのひとつとして、居室担当が不在の時でも、決められた適切な援助、生活リハビリがしっかりと行われ、その方の「出来る力」を何とか引き出そうと、諦めず声掛けし続ける姿が多くみられるようになり、フロアが同じ方向を向いてその方に取り込む姿勢が見られている。

##### ☆健康、医療面 環境整備

ただれや剥離、内出血の発見時は報告書の提出、迅速なミーティングを心掛け、改善、再発防止に努め、医務との連携、こまめな体位交換や清潔保持により、褥瘡者を一人も出す事も無かった。

また、マニュアルに添った対応により、インフルエンザ等感染者が一人も出る事無く防止することが出来た。

和室や低床ベッドの活用、足元マットの見直しや、センサーの有効利用により、ベッドからのずり落ちは大きく減少している。杖や歩行器、車椅子自操の方が多く、出来るだけ自由に生活して頂けるよう配慮した。

しかし、尻もち、転倒、車椅子からのずり落ちは前年度より減少したものの、同じ方の繰り返しが見られており、今後の課題としていく。

また、転倒により、骨折へ至る重大な事案が1件発生する結果となってしまった。

配薬に関しては引き続き、重大な事故に繋がる危険がある事を各職員が再認識し、声に出して相互で確認するなど職員一丸となって誤薬ゼロに向け取り組むことが出来ている。

##### ☆楽しみ

フロア内に、四季折々の写真や装飾、様々なレクリエーションの写真や、エレベーター前のテーブルにアルバムを置く事により、目で見ても楽しめる事が出来るよう配慮を行うことにより、利用者様はもちろん、御家族面会時にも、各利用者の施設での姿や生活を見ることができ、喜ばれている。

また、各種行事参加の他、フロア活動では、生け花観賞、カラオケ、夏には花火、天気の良い日には、気分転換に外気浴も行い、個別活動では、ショッピングや、居酒屋等、行きたい場所で目的を果たすことで、利用者の満足度を高めることが出来た。

また、利用者様からの要望を集め、アイスクリーム、寿司の出前、お好み焼き。回転寿司にて昼食（外食）。釜飯紅葉ドライブ等を実行する事により、「また行きたい、また食べたい、」等、生活の中の楽しみとなることが出来た。

利用者、職員間のコミュニケーションも良好で、良い雰囲気がつくられていた。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイン グ	ラーメン の日 冷し中 華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	理髪の 日	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	18	4	5	19	12	26	5 9	2 2	6
5	16	2	3	17	10	31	5 1	2 0	9
6	20	6	7	15	14	28	6 1	2 6	1 1
7	18	4	5	20	12	26	6 6	2 1	1 5
8	15	1	2	16	9	30	6 4	3 1	8
9	19	5	6	20	13	27	5 6	2 4	4
10	17	3	4	18	10	25	6 2	2 0	7
11	21		1	15	8	29	5 4	2 8	7
12	19	5	6	21	13	27	6 9	2 7	8
1	9	16	24	17	10	31	6 8	1 0	9
2	20	6	7	21	14	28	7 3	2 8	1 1
3	20	6	7	21	14	28	6 0	1 7	1 0

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
4月9日	サンシャインビラ観桜会	3名
4月22日	羽村市チューリップ祭り	6名
5月28日	日帰りドライブ(東大和プラネタリウム)	16名
7月9日	サンシャインビラ納涼祭	3名
9月10日	福生市敬老会	9名
10月1日	福祉まつり2017	6名
10月26日	福生市消防訓練審査会	5名
10月28日	第3サンシャインビラ文化祭	3名
11月14日	みかん狩り(2F・3F利用者)	11名
11月28日	みかん狩り(2F・4F利用者)	11名

## 6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月10日	福生市職員ドラマ制作会社	5	13:30~14:30	施設見学、打ち合わせ
5月8日	日本医療大学教員	1	14:00~16:00	〃
5月24日	福生市職員	1	11:00~12:00	〃
6月2日	羽村支援学校教員生徒	4	10:30~11:30	〃
6月13日	福生市職員ドラマ制作会社	5	9:30~10:30	〃
6月14日	地域包括職員	2	13:30~14:30 ~14:30	〃
6月21日	地域包括職員	4	15:30~16:30	〃
6月22日	民生委員懇談会	15	14:00~16:00	施設見学、質疑応答
7月8日	介護学院受講生	2	16:00~17:00	〃
7月24日	シルバー人材職員 会員	2	15:00~16:00	〃
7月30日	福生市職員ドラマ制作会社	5	13:30~14:30	施設見学、打ち合わせ
8月8日	八王子盲学校教員生徒	2	15:30~16:30	施設見学、質疑応答
8月16日	入職希望者	1	10:00~11:00	〃
8月20日	福生市職員ドラマ制作会社	5	14:00~15:00	施設見学、打ち合わせ
8月22日	福生市職員	1	10:00~10:30	〃
9月8日	西の森歯科衛生士学校	3	11:00~12:00	〃
9月25日	介護保険関係相談者	1	10:00~11:00	施設見学、質疑応答
10月6日	福生市職員ドラマ制作会社	5	11:30~12:30	施設見学、打ち合わせ
10月9日	福生市職員ドラマ制作会社	5	9:30~10:30	〃
10月24日	目黒区職員	3	10:30~11:30	定期訪問
10月24日	介護学院受講生	2	13:30~14:30	施設見学、質疑応答
11月14日	福生四小教員	3	15:30~16:30	施設見学、打ち合わせ
12月14日	福生市職員	1	15:00~16:00	〃
2月7日	日の出ヶ丘病院職員	1	14:00~15:00	〃
2月26日	福生四小教員	2	16:00~17:00	〃
3月2日	事業者連絡会関係者	2	10:30~11:30	〃

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

## 7) 日用品費・介護用品費・被服費購入等事業費報告

○給食費 40,533,562円      ○介護用品費 15,987,931円      ○医薬品費 3,679,714円  
○保健衛生費 2,634,148円      ○被服費 6,195,543円      ○日用品費 1,870,021円  
○水道光熱費 19,846,850円      ○燃料費 10,685,397円      ○消耗器具備品費 2,480,352円  
○車両費 614,949円

## 7. 厨房事業報告

- (1)実施内容「モンブラン」 実施日 H29.09.24 (日)  
 (2)実施内容「ティラミス」 実施日 H30.02.11 (日)

### 目的

普段あまり提供することのない手作りおやつを提供を目的とし季節感も味わっていただけるように、食形態の違う方々も同じものを召しがっていただけるメニューを計画しました。

### 結果

モンブラン、ティラミス共に各フロアで感想を聞き違う食種の方々に同じように喜んでいただくことができました。「もっと食べたい」という声も多数あり満足していただくことが出来たと思います

### ◎代替食実施状況

#### ○青魚禁→白身魚で対応

2F 0名            3F 3名            4F 0名

#### ○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F 1名            3F 3名            4F 5名

#### ○うなぎ禁→丼物等中心で対応 (牛丼等)

2F 3名            3F 1名            4F 1名

#### ○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F 2名            3F 5名            4F 5名

#### ○その他禁

納豆、長芋、里芋、えび、かに、ブロッコリー、あんこ、わさび、オクラ、揚げ物、カレー等→他の食材もしくは調理法で対応

### ◎行事食等について

月	日		月	日		月	日	
4	5	ラーメンの日	9	6	冷やし中華		28	誕生会
	26	誕生会		10	敬老の日		31	年越し
5	3	ラーメンの日		27	誕生会	1	1	元旦祝膳
	31	誕生会	10	4	ラーメンの日		7	七草粥
6	7	冷やし中華		15	文化祭		11	鏡開き
	28	誕生会		25	誕生会		24	ラーメンの日
7	5	冷やし中華	11	1	ラーメンの日		31	誕生会
	15	盆踊り		29	誕生会	2	7	ラーメンの日
	26	誕生会	12	6	ラーメンの日		28	誕生会
8	2	冷やし中華		16	クリスマス会	3	4	ひな祭り
	30	誕生会		26	もちつき大会		7	ラーメンの日
							28	誕生会

うどん、そばの日            月 1回

希望食の日            月 1回    10月～6月は刺身    7月～9月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	3	4F	5	ラーメンの日 について等	二日後にラーメンの日であるため そのことを伝え、お好きか伺った
5	1	4F	5	食事について 感想、希望等	特に苦手なものは挙げらず 皆さん概ね残さず召し上がっている様子
7	3	4F	5	〃	食べたい料理や食材について具体的な 名称を挙げていただいた
8	7	4F	5	希望食の 日について等	二日後に希望食の日であるため 刺身が出ることを伝え、お好きか伺った
9	4	3F	5	食事について 感想、希望等	嗜好について其々伺うことができた 次週敬老会の祝膳出ることお伝えした
10	2	3F	4	〃	食事内容以外のことでの要望出た方あり 今後対応していくことお伝えした
11	6	3F	5	〃	あまり好きでない食材ある方もいたが 残さず食べていますとのこと
12	4	3F	4	〃	具体的な嗜好について伺うことは難しい 方もいたが概ねよく召し上がっている様子
2	5	2F	4	〃	あまり得意でないものを挙げる方もいたが 食事は残さず召し上がっているとのこと
3	5	2F	5	ひなまつりの日 について等	前日にひなまつりだった為 昼食のちらし寿司の感想を伺った

※毎月1回第1月曜日 PM2:30～3:00 までの短い時間ではありますが各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

## 8. 医務室利用者健康管理報告

### 1 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進

#### 実施内容と方法

- ①年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
- ②新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部 CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
- ④週に3回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2 など）
- ⑥医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職種との情報共有に努める。
- ⑪夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対して29年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。

今年度は46名の死亡退所者がおり、入院先での死亡者4名、急変等により死亡された方14名、ターミナル対応の末に亡くなった方32名であった。

亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。

今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努めることと前年比より多くの死亡退所者が出たことの考察も必要である。

感染症時期以外の夏場や季節の変わり目での感冒症状から状態が悪化することがあり、感染症に対して委員会の開催や他施設の見学などを行い、対策を強化した。

### 2 感染症の発生及び蔓延防止

#### 実施内容と方法

- ①年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアでの職員研修を実施。
- ②全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③11月頃より3月末頃までは感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④職員の手洗いうがい、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア1台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥感冒症状の呈した利用者の居室には次亜塩素酸消毒液入りの加湿器を設置。
- ⑦利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑧面会者への感染症発生及び蔓延防止に関する注意喚起を行うために、張り紙や面会カードの作成、嗽の実施など感染症を持ち込まないようより徹底した取り組みを行った。
- ⑨体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑩職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
- ⑪各部署連携し月に一度の感染症委員会を実施。
- ⑫他施設の感染症について施設見学を実施。
- ⑬⑫に伴い感染症対策の見直し。

今年度、感染症の発生予防に努めたことによりインフルエンザ7名・ノロウイルス0名であった。突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

次年度も感染症における対応方法についての研修会を多く開催し、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図る。

### 3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

#### 実施と内容

- ① 入所時より定期的に利用者の ADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は 0.21%、褥瘡新規発生者 2 名、発生率は 1.3% となった。次年度以降も褥瘡発生率 0% を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

#### ○平成 30 年 3 月 31 日現在の医療処置対応者

- 胃瘻による経管栄養施行者 7 名
- 在宅酸素使用者 1 名
- 褥瘡処置者 1 名
- 血糖測定者 0 名
- 経口摂取困難による点滴施行者 1 名（ターミナル者 3 名）

## 9. リハビリテーション報告

### (1) 総括

平成 29 年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力を予測し、日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為の一つひとつを注意深く観察し、精神的な高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

### (2) 実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 関節可動域訓練・マッサージ
- ③ 温熱療法
- ④ 筋力増強、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

### (3) 結果

- ・関節可動域の維持拡大 28 名
- ・起居・移乗・移動動作能力の維持向上 26 名
- ・疼痛の軽減 6 名

以上の結果が得られた。

今年度においても利用者の身体状況重度化に伴い関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。体調不良により訓練中止となった利用者においても、他部署との連携により早期再開を進め廃用性の機能低下防止にも努めた。

廃用性の機能低下から寝返り・起き上がり・座位保持などすべての動作に介助が必要であった利用者において、週に 2～3 回の訓練の中で四肢・体幹の関節可動域訓練から筋力強化訓練、また、起立・立位バランス訓練の結果、自己にての起立動作、足踏み等の立位動作が可能となり、軽介助での移乗・トイレ動作に繋がり生活の質の向上に至った利用者。アルツハイマー型認知症進行により四肢の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり、車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、スムーズな介助が可能となるなど、同様のケースも 11 件ほどみられるなど、様々な結果が得られた。

その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。

### (4) 反省点

- ①利用者個々に合ったポジショニング・体位変換などにおいて、介護職への連絡が不十分な面から、フロア一全体に浸透しないケースに対し、各フロアの相談員、リーダー、居室担当等への連絡を周知徹底し再発防止に努める。
- ②車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防委員会等にも周知徹底し再発防止に努める。

#### 1) リハビリ実施報告表

月	R. O. Mマッサージ			温熱療法			起立バランス歩行			理学療法士による評価			
	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施評価人数	
4	25	32	365	25	3	13	4	25	22	227	3	35	18
5	27	31	314	27	3	16	5	27	22	198	2	34	14
6	26	29	258	26	3	6	6	26	22	150	3	32	24
7	27	30	309	27	3	20	7	27	23	204	3	33	19
8	27	30	305	27	3	16	8	27	25	224	3	34	17
9	26	28	275	26	3	14	9	26	22	199	3	32	17
10	26	29	331	26	3	8	10	26	25	222	3	34	18
11	26	28	311	26	3	3	11	26	24	241	3	32	18
12	25	30	251	25	3	14	12	25	24	176	3	34	19
1	24	29	301	24	3	0	1	24	24	198	3	33	15
2	24	29	338	24	3	13	2	24	23	231	3	33	16
3	27	30	385	27	2	20	3	27	23	235	3	34	21
計	310	355	3743	310	35	143	計	310	279	2505	35	400	216

### 10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

#### I. 利用者の生活支援

- ・新規入所に当たっては、申込資料を基に入所判定を行い、事務所相談員・フロア相談員・医務が連携して事前面接による詳細な情報収集を行い、並行してご家族や病院・入所施設・保険者等との調整を進め、入所受入れにつなげている。それにより、ご本人及びご家族が不安なく入所準備を進められるよう支援している。
- ・利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを基本的なサイクルとし、状態の変化に応じて、各部署連携した迅速な対応を心がけている。
- ・ご家族と綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者の支援を一緒に行っている。またご家族の意見要望に対して真摯に向き合い、利用者ケアの質の向上につなげて行けるよう努力している。
- ・終末期ケア（看取り介護）においては、利用者本人及びご家族の意向を尊重し、また不安や悲しみに寄り添い、最期まで安心して過ごしていただけるよう支援することができている。

#### II. ベッド稼働率

- ・新規入所の方がより重度化していることもあり、施設利用期間が徐々に短期間になっている。
- ・毎月開催する運営会議（相談員会議）で、フロアごとの入所者の状態変化と、入所申込の動向を参加者相互に共有することで、利用者の状態変化に対し精一杯のケアを提供する一方で、退所者が出た後の入所準備の動きを出来るだけ切れ目なく行えるよう努めた。

### 11. クラブ活動実績報告

#### ① クラブ活動について

施設生活は個人の個性や趣味、嗜好が思うように保てないのが現状であるため、出来る限り個々の希望を満足させる事が出来るよう心がけた。

クラブ活動を通じ、集団生活化しがちな施設生活に利用者1人1人の趣味、嗜好をこらし、様々な要求に出来る限り対応し、満足な生活空間の提供が出来るよう工夫した。自己の創作意欲と、クラブ員同志のコミュニケーションの中で、生活感のある自由な時間を作るよう工夫した。

一年毎に、利用者のADLの低下が感じられ、クラブ活動への参加意欲が衰退している。しかしながら、参加されている利用者については毎回楽しみにされている様子で、生き生きと活動を進め、QOLの向上につながっている。

今後もそれぞれの利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考えます。

② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	片岡明美先生	書 道	石井亮子先生
華 道	佐野千鶴子先生	陶 芸	川口由美子先生
水彩画	職員 室賀こずえ		
手 芸	小川光子先生 野口美恵子		

茶道クラブ活動報告						
活動回数	22回	参加延人数	124名	平均参加人員	6名	担当：鹿島京子
【活動報告】						
1) 第1・第3月曜日で活動						
2) 先生の御指導のもと、参加者がお手前をしたり、お茶を味わえた。						
3) お茶と和菓子で心穏やかに利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	先生の御指導のもと、お手前をする			10月	文化祭、お客様にお手前を楽しんで頂く	
5月	〃			11月	先生の御指導のもと、お手前をする	
6月	〃			12月	〃	
7月	〃			1月	〃	
8月	〃			2月	〃	
9月	〃			3月	〃	

手芸クラブ活動報告						
活動回数	21回	参加延人数	88名	平均参加人員	4-5名	担当：原島 久美子
【活動報告】						
1. 他の利用者様と親睦を深め賑やかに楽しく活動ができました。						
2. 残存機能を使い意欲的に取り組み気分転換を図ることが出来ました。						
3. ご自分で出来ることの楽しみ、達成感を味わっていただく事が出来ました。						
4. 11月から2月にかけては各フロアとも風邪症状の方が多くいらっしゃり、活動に参加できませんでした。w						

書道クラブ活動報告						
活動回数	22回	参加延人数	234名	平均参加人員	11名	担当：田中佳代
【活動報告】						
1. 先生のご指導のもと熱心に取り組み、充実感のある時間を持っていただくことが出来た。						
2. 文化祭では各自、真心を込めて書き上げた作品を見ていただき、今後の活動の励みとなった。						
3. 合評会では、先生からのお言葉を頂き、クラブ員同士励ましあいも見られ、とても良い交流を図ることが出来た。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	お手本を基に練習、清書			10月	文化祭の作品練習、清書	
5月	お手本を基に練習、清書			11月	般若心経の練習 清書	
6月	お手本を基に練習、清書			12月	般若心経の練習 清書	
7月	お手本を基に練習、清書			1月	般若心経の練習 清書	
8月	お手本を基に練習、清書			2月	お手本を基に練習、清書	
9月	文化祭の作品練習			3月	お手本を基に練習、清書	

華道クラブ活動報告						
活動回数	27回	参加延人数	288名	平均参加人員	10-11名	担当：大柄さとみ
【活動報告】						
1) 第2・4木曜日に活動						
2) 利用者のレベルに合わせて先生にご指導していただいた						
3) 生け花を通して利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。						
4) 参加人数増加に伴い、スムーズな活動を図るためボランティアを導入し、にぎやかな活動になった。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	季節の花を生ける			10月	文化祭の出展作品	
5月	季節の花を生ける			11月	季節の花を生ける	
6月	季節の花を生ける			12月	クリスマスの作品	
7月	季節の花を生ける			1月	正月の作品	
8月	季節の花を生ける			2月	季節の花を生ける	
9月	季節の花を生ける			3月	季節の花を生ける	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	12回	参加延人数	131名	平均参加人員	11名	担当：室賀 こそえ
【活動報告】						
1) 季節を感じながら楽しく活動した						
2) 文化祭展示を目標に精力的に描いた						
3) 和気あいあいと活動をしながら取り組み活性化が図られた						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	お日さまダリア、ユリゴールド、ナゲシ 下絵を描き、色付けをする。			10月	文化祭展示	
5月	カーネーション、ダリア、バラ 下絵を描き、色付けをする			11月	バラ、シクラメン、ガーベラ、カーネーション 下絵を描き、色付けをする	
6月	バラ、ジャコウ、スターチ 下絵を描き、色付けをする			12月		
7月	スプレーバラ、カーネーション 下絵を描き、色付けをする			1月	ガーベラ、ランキユラス、スプレーバラ 下絵を描き、色付けをする	
8月	ヒナギク、ユリ、ケイトウ 下絵を描き、色付けをする			2月	キク、カーネーション、スターチ 耕心館へひな飾り見学 下絵を描き、色付けをする	
9月	りんどう、ユリ、カーネーション、ヒマワリ、ガーベラ 下絵を描き、色付けをする			3月	チューリップ、カーネーション、バラ 下絵を描き、色付けをする	

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	71回	参加延人数	390名	平均参加人員	4-7名	講師：川口 由美子
【活動報告】						
日常使う食器だけでなく、インテリア品（花びん、卓上花器）や季節の行事の置物（こいのぼり、干支の犬、おそなえもち）なども作りました。						
利用者の皆様からは大変好評で、十分に満足感を味わって頂けたと思います。また家族や友人からの注文もあり、ますます作ることの楽しさと意欲がわいてくるようでした。						
出来上がった作品を誉めてもらうことにより、生き生きと活動を進めていけました。						

クラブ活動費実績：3,008,277円

## 12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月2日	観桜会	利用者、ご家族のカラオケ。ベリーダンス、バンド演奏の慰問を楽しまれた。
7月15日	納涼盆踊り大会	利用者、ご家族、職員等によるカラオケ。花火大会、地元婦人会等の参加にて盆踊りを楽しむ。
9月10日	敬老会	式典、祝膳 午後福生市敬老会参加及び5階ホールにてフラダンス慰問を楽しむ。
10月14・15日	文化祭	利用者クラブ活動作品展示、5階ホールにてカラオケ、お囃子及び六本木ヒロシ歌謡ショーを楽しむ。喫茶コーナーにて認知症カフェを開催。
11月7日	焼き芋大会	5階ホールにてカラオケを楽しみながら焼き芋を食す。
12月16日	クリスマス会	昼食行事食。午後5階にてバンド演奏の慰問を楽しむ
12月26日	餅つき大会	特養、在宅合同にて餅つきを行う。あんこ、きな粉、大根おろしでつきたての餅を食す。
1月1日	元旦祝膳	5階ホールにて式典、理事長、統括施設長より新年の挨拶。その後祝膳を楽しむ。午後の初詣は寒さの為職員のみで対応。
2月1日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月4日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

行事等実績：2,645,821円

## 13. 事務費・固定資産物品報告

### 事務費報告

○事務消耗品費 4,553,215円      ○印刷製本費 951,705円      ○修繕費 35,416,738円  
 ○通信運搬費 1,671,979円      ○広報費 533,080円      ○業務委託費 15,376,763円  
 ○手数料 5,030,131円      ○保険料 1,115,779円      ○賃借料 13,169,571円  
 ○土地・建物賃借料 471,588円      ○租税公課 129,463円      ○保守料 5,944,537円  
 ○渉外費 342,388円      ○諸会費 348,840円      ○雑費 2,205,865円

### 固定資産

電動ベッド入替 14,515,200円      バックアップサーバー 443,880円  
 ロボクープ入替 178,200円      テーブル型冷蔵庫 529,200円  
 空調機入替 2,305,152円      駐車場補修工事 999,000円      給与計算ソフト 108,000円

## 14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折			1					1		2			4
転倒	1	1	1	3	1	1	4	1	2	2	3	1	21
転落(ベッド)			1		1	2	1			2		1	8
転落(車椅子・椅子)	1	1	1			1		1	2	1			8
ずり落ち(移乗失敗)													0
剥離・裂傷		1	1	2		1		1	2		1		9
内出血	3	6	10	8	4		5	1	1		4	5	47
誤嚥													0
異食(誤食)				1									1
尻もち		1			1	3	1		4	1		3	14
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)													0
服薬ミス	1		1	1			1	1		1			6
その他	1		3	4	3	1	1	2	2		1	2	20
合計	7	10	19	19	10	9	13	8	13	9	9	12	138

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折		1		1	1		1						4
転倒	1	4	2	1	2	2	4	1	1	2	2	4	26
転落(ベッド)		1	1		1	2	1	4	2	2		1	15
転落(車椅子・椅子)	1		2			1	1		1	1	1		8
ずり落ち(移乗失敗)		1		2	3		4	3	4	1	1	3	22
剥離・裂傷	2	2	1		1	1		1					8
内出血	5	4	2	1	1	3	1				2		19
誤嚥													0
異食(誤食)						1	1		1	1			4
尻もち	2	3	2		1	2	2	2	3	1		4	22
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)													0
服薬ミス			2	2		1		1			1		7
その他	2	1	2		2	2	1	1	2	1	1	1	16
合計	13	17	14	7	12	15	16	13	14	9	8	13	151

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折		1											1
転倒		1			2	3			1	3			10
転落(ベッド)									2	1		2	5
転落(車椅子・椅子)					1				1	2			4
ずり落ち(移乗失敗)		1				2		1	1	1		1	7
剥離・裂傷					3	2	1	4		2	1		13
内出血	1						2		2		2	1	8
誤嚥													0
異食(誤食)						1							1
尻もち	4		1									1	6
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)													0
服薬ミス		1					2		1	1	1	2	8
その他		3	2		1		1	1		1	3		12
合計	5	7	3	0	7	8	6	6	8	11	7	7	75

## 15. 職員研修報告

### 【外部研修】

月	日	研修・出張内容	場所	主催者	参加者
4	28	介護支援専門員 更新研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	大谷真澄
5	16	福生地区特定給食研究会総会	大聖病院 講堂	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	19	改正社会福祉法説明会	ルネ小平	東京都福祉保健局指導監査部	清水健一郎
	22	介護支援専門員 更新研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	大谷真澄
	23	安全運転管理者定期総会及び講習会	福生市民会館	福生安全管理者部会	古谷康司
	25	福生市介護保険事業者連絡協議会総会	福祉センター	福生市介護保険事業者連絡協議会	新橋和枝 得能千春 鈴木俊哉 中川祥子
	26	事前面接	杉並・世田谷		森田靖仁
	31	認知症介護基礎研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都社会福祉協議会	岩崎大悟

6	1	動作介助(HNA)研修会	羽村三慶病院	特定非営利活動法人 動作介助研究会	中川祥子
	1	動作介助(HNA)研修会	羽村三慶病院	特定非営利活動法人 動作介助研究会	椎名邦夫 細谷 誠
	7	介護支援専門員 更新研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	大谷真澄
	10	薬局と薬剤師	福生市役所	福生地域包括支援センター	新橋和枝 勝田幸恵
	12	介護支援専門員 更新研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	大谷真澄
	28	介護支援専門員 更新研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	大谷真澄
	28	介護保険制度 改正セミナー	富士ゼロックス多摩 ユアシティ立川	NDソフトウェア(株)	新橋和枝 鈴木俊哉
	29	認知症サポーターステップアップ講座	第2サンシャインビル	第2サンシャインビル	新橋和枝 得能千春 鈴木俊哉 中川祥子 山下晶子
7	14	失語症 理解入門講座	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩高次脳機能障害支援センター	得能千春 中川祥子 山下晶子
	14	アセスメントの研修	福生市福祉センター	福生市介護保険事業者連絡協議会	鈴木俊哉
	14	安全運転管理者定期総会及び講習会	昭島市民会館	福生安全管理者部会	古谷康司
	18	非食食を中心とした食品展示会	大聖病院	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	20	地域医療連携担当者合同会議	福生病院	福生病院	得能千春 中川祥子 鈴木俊哉 山下晶子
8	16	介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	調布市グリーンホール	東京都福祉保健財団	新橋和枝 山下晶子
	29	主任ケアマネ課題説明会	国立オリンピック記念 青少年総合センター		中川祥子
9	11	H29 ケアマネジメントの質の向上研修会	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	新橋和枝
	22	年金制度について	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	羽村市福祉健康部	新橋和枝 得能千春 中川祥子 山下晶子
10	3	特定給食施設栄養管理講習会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩保健所	水口恵子
	7	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	12	リフレ 排泄セミナー	立川 アレアホール	(株)リブドゥーコーポレーション	佐々木和仁
	14	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	22	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	17	感染症対策指導者養成研修	東京都庁第一本庁舎5階	東京都福祉保健局	小椋 潤
	20	看取りについて 死の演習	福生市民会館	福生市介護保険事業者連絡協議会	新橋和枝 得能千春 中川祥子
	22	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子

	26	東京都認知症介護基礎研修	立川グランドホテル	東京都福祉保健局	野口哲朗
	30	改正社会福祉法に対応した法人運営に関する講習会	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	清水健一郎
11	4	主任介護支援専門員研修	エムワイ貸会議高田馬場	東京都福祉保健局	中川祥子
	15	栄養展準備	特別養護老人ホーム 良友園	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	16	東京都認知症介護実践者研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	川久保果穂 大野美和
	17	東京都認知症介護実践者研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	川久保果穂 大野美和
	18	主任介護支援専門員研修	研究社英語センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	24	神経難病患者の在宅生活を支える	公立福生病院	西多摩保健所	得能千春 鈴木俊哉 中川祥子 山下晶子
	24	神経難病患者の在宅生活を支える	公立福生病院	西多摩保健所	鈴木敦子 勝田幸恵
	29	相談援助職の記録の書き方	なかのZERO小ホール	東京都介護支援専門員研究協議会	中川祥子
12	2	主任介護支援専門員研修	研究社英語センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	4	患者様の命に寄り添う	日の出ヶ丘病院	日の出ヶ丘病院	新橋和枝 鈴木敦子 勝田幸恵
	16	主任介護支援専門員研修	認知症介護研究・研修東京センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	22	平成30年度介護保険制度改正説明会	福生市役所	福生市介護保険事業者連絡協議会	得能千春 中川祥子 鈴木俊哉 大谷真澄
	23	主任介護支援専門員研修	エムワイ貸会議高田馬場	東京都福祉保健局	中川祥子
1	9	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	9	介護支援専門員実務研修	東京都健康プラザハイジア	東京都福祉保健局	下田政勝
	11	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	15	介護支援専門員実務研修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健局	下田政勝
	17	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	17	高齢者福祉施設における中堅職員のための能力開発研修会	飯田橋レインボービル	東京都社会福祉協議会	加藤幸子
	19	介護支援専門員実務研修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健局	下田政勝
	20	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	23	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	28	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	29	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	30	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
2	3	主任介護支援専門員研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子

	6	若年性認知症の方への支援	福生市福祉センター	福生市地域包括支援センター	新橋和枝 大谷真澄 山下晶子 鈴木敦子
	8	西多摩保健所栄養管理講習会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩保健所	水口恵子
	15	認知症への理解	羽村市コミュニティーセンター3階	羽村市福祉健康部高齢福祉介護課	大谷真澄 得能千春 鈴木俊哉
	19	高齢者虐待かも？と思ったら	福生市福祉センター	福生市地域包括支援センター	鈴木敦子 勝田幸恵
	20	落語を交えて楽しく学ぶ笑ndeイングノート	福生市福祉センター	福生市介護福祉課	勝田幸恵
	24	感染症の医学と対策 感染症における介護の留意点	北とびあ	東京都介護福祉士会	野口毅浩 池田広宣
	27	事前面接	葛飾・杉並		下田政勝
	28	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
3	2	介護支援専門員実務研修	東京都健康プラザハイジア	東京都福祉保健局	下田政勝
	5	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	8	介護支援専門員実務研修	東京都健康プラザハイジア	東京都福祉保健局	下田政勝
	9	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	10	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	12	介護支援専門員実務研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健局	下田政勝
	14	事前面接	杉並区		下田政勝
	13	居宅介護支援の改正ポイント と介護支援専門員の実務のポイント	福生市福祉センター	愛夢アシストケアプランセンター	新橋和枝 鈴木俊哉 大谷真澄 中川祥子
	22	介護報酬改定等に伴う事業所説明会	ルネ小平	東京都国民健康保険団体連合会	新橋和枝
	22	羽村市介護認定調査員研修会	羽村市役所	羽村市福祉健康部高齢福祉課	新橋和枝 鈴木俊哉 大谷真澄 中川祥子 山下晶子

### 【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4月17日	食事介助の見直し（事故防止Ⅰ）	17	4F 研修委員	研修委員会
2	4月28日	咽頭炎・腰痛	25	青山医師	衛生委員会
3	5月16日	肝炎、梅毒等（感染症Ⅰ）	20	医務	研修委員会
4	5月26日	メンタルヘルスについて	27	青山医師	衛生委員会
5	6月23日	夏注目の感染症	21	青山医師	衛生委員会
6	6月29日	認知症ステップUP講座（公開研修会）	71	地域包括職員	研修委員会
7	7月11日	褥瘡研修（3Fフロア研修）	7	3F 担当職員	排泄委員、研修委員
8	7月16日	褥瘡研修（3Fフロア研修）	4	3F 担当職員	排泄委員、研修委員
9	7月6日	褥瘡研修（4Fフロア研修）	7	4F 担当職員	排泄委員、研修委員
10	7月17日	褥瘡研修（4Fフロア研修）	4	4F 担当職員	排泄委員、研修委員
11	7月17日	指導スキルを磨こう	15	中川CM	研修委員会
12	7月28日	熱中症に気をつけよう	17	青山医師	衛生委員会
13	7月30日	褥瘡研修（2Fフロア研修）	5	2F 担当職員	排泄委員、研修委員

14	7月31日	褥瘡研修 (2Fフロア研修)	6	2F 担当職員	排泄委員、研修委員
15	8月25日	〇157・熱中症・腰痛、肩こり	27	青山医師	衛生委員会
16	8月31日	看取りケアに於ける接遇	22	リブドウ(外部)	研修委員会
17	9月18日	ヒヤリハット事例 (事故防止Ⅱ)	15	研修委員	研修委員会
18	9月22日	結核	20	青山医師	衛生委員会
19	10月23日	清拭	15	4F 研修委員	研修委員会
20	10月27日	インフルエンザ	26	青山医師	衛生委員会
21	11月24日	感染性胃腸炎(ノロウイルス)・インフルエンザ	22	青山医師	衛生委員会
22	12月18日	虐待(不適切ケアについて)	12	3F 研修委員	研修委員会
23	12月22日	ノロウイルス食中毒	19	青山医師	衛生委員会
24	1月15日	ワイズマンをもっと活用しよう	10	ワイズマン(外部)	研修委員会
25	1月26日	健康寿命を延ばすには...・インフルエンザ	22	青山医師	衛生委員会
26	2月19日	介護保険を学ぼう～制度改正について～	22	下田相談員	研修委員会
27	2月23日	突然死について	22	青山医師	衛生委員会
28	3月21日	応急救護	20	福生消防署(外部)	研修委員会
29	3月23日	花粉症	26	青山医師	衛生委員会
30	3月26日	介護現場の接遇	35	リブドウ(外部)	研修委員会

今期は、グループワーク、参加型の研修を中心に実施した。「感じる」「考える」「話し合う」機会から自分たちの使命感を改めて再確認し、施設の理念に沿った心を養う良い研修ができたと考えられる。特に時間外研修であった当施設初の「接遇」研修に於いては興味を示し、他部署を含め多くの参加者を募り大変好評であった。公開研修会は第7回を迎え、講師、施設長と打ち合わせを重ねて実施した成果も「面白く、大変わかりやすい」と良い評価を得られている。その他、排泄委員によるフロア毎の研修(褥瘡)では、フロア毎にPDCAが必然に行われ、一般職員の理想を目指したリーダーシップ力を発揮できる良い機会となった。応急救護では地域の参加者も増え、積極的に取り組まれていた。以前にも増して研修委員の働きかけが良好となっており、参加者の増加にも繋がっている

旅費・研修費実績：121,736円

#### 16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先
4	2	日	観桜会	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	4	火	おやつバイキング	4	喫茶準備	そよ風、シルバーサポーター
	4	火	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	6	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	10	月	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	11	火	利用者ショッピング	3	あきる野東急付添い	シルバーサポーター
	18	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	18	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	26	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	シルバーサポーター
	26	水	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	27	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
	30	日	フロアレク	2	サックス演奏	山口夫妻
	5	2	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄等
4		木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
5		金	フロアレク	2	サックス演奏	山口夫妻
9		火	利用者ショッピング	3	あきる野東急付添い	シルバーサポーター
16		火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
16		火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
18		木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
21		日	フロアレク	1	草笛 踊り	シルバーサポーター

	23	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング	シルバーサポーター
	25	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園
6	6	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	13	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	シルバーサポーター
	15	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	16	金	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	20	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	20	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	22	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園
	27	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング	シルバーサポーター
	29	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
7	3	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	3	火	デイサービスレク	6	折り紙	シルバーサポーター
	6	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風、シルバーサポーター
	11	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	シルバーサポーター
	15	土	納涼祭	15	会場準備、片付け	福生社協、関係業者、福生高校等
	16	日	フロアレク	1	草笛 踊り	シルバーサポーター
	18	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	18	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風、シルバーサポーター
	25	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング	シルバーサポーター
8	1	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	3	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
	4	金	福生七夕流し踊り	2	着付け	関係業者
	8	火	利用者ショッピング	4	あきる野東急付添い	シルバーサポーター
	8	火	介護体験ボランティア	2	介護補助	一般
	15	火	喫茶の日	5	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	15	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	17	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
	22	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	シルバーサポーター
	26	土	デイサービスレク	7	合唱コーラス	利用者家族
	29	火	介護体験ボランティア	2	介護補助	一般
	31	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
9	4	月	デイサービスレク	7	折り紙	シルバーサポーター
	5	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	12	火	利用者ショッピング	4	あきる野東急付添い	シルバーサポーター
	14	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	17	日	フロアレク	1	草笛 踊り	シルバーサポーター
	19	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	19	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	21	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	25	月	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	26	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	シルバーサポーター
	27	水	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	28	木	華道クラブ	5	華道補助	シルバーサポーター
10	3	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	5	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
	10	火	利用者ショッピング	4	東急ショッピング付き添い	シルバーサポーター

	15	日	文化祭	15	会場係、模擬店、片付け	関係業者、福生高校等
	15	日	家族介護者教室	2	お茶出し等	認知症サポーター
	11	火	利用者ショッピング	4	東急ショッピング付き添い	シルバーサポーター
	12	木	華道クラブ	5	華道補助	シルバーサポーター
	17	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	17	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風 シルバーサポーター
	19	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	24	火	利用者ショッピング	3	イオンショッピング付き添い	シルバーサポーター
	25	火	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
	26	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
	26	木	華道クラブ	2	華道補助	シルバーサポーター
	29	日	フロアレク	2	サックス演奏	山口夫妻
	30	月	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般
11	2	木	手芸クラブ	2	手芸手伝い	シルバーサポーター
	6	月	デイサービスレク	6	折り紙	シルバーサポーター
	7	火	焼き芋大会	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	3	木	手芸クラブ	7	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	9	木	華道クラブ	2	華道補助	シルバーサポーター
	11	火	ミカン狩り	5	ミカン狩り付き添い	シルバーサポーター
	11	金	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	16	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	19	日	草笛	1	草笛 踊り	シルバーサポーター
	20	月	デイサービスレク	6	歌	シルバーサポーター
	21	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	21	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風 シルバーサポーター
	25	土	フロアレク	2	サックス演奏	山口夫妻
	23	木	華道クラブ	2	華道補助	シルバーサポーター
	28	火	ミカン狩り	6	ミカン狩り付き添い	シルバーサポーター
	30	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
	30	木	手芸クラブ	3	手芸手伝い	シルバーサポーター
12	5	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	7	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	14	木	華道クラブ	3	華道補助	シルバーサポーター
	15	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
	19	土	クリスマス会	13	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、福生高校
	19	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	26	火	餅つき大会	10	餅つき手伝い	福生高校、シルバーサポーター
	26	火	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	27	水	介助員ボラ	1	ドライバー	一般
	29	木	華道クラブ	3	華道補助	シルバーサポーター
	29	木	フロアボランティア	2	介護補助	一般
1	9	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	11	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	シルバーサポーター
	11	木	華道クラブ	2	華道補助	シルバーサポーター
	15	月	デイサービスレク	7	歌	シルバーサポーター
	16	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	16	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	18	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	シルバーサポーター
	25	木	華道クラブ	3	華道補助	シルバーサポーター

2	1	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、シルバーサポーター
	2	金	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	5	月	デイサービスレク	6	折り紙	シルバーサポーター
	6	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	8	木	華道クラブ	3	華道補助	シルバーサポーター
	15	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、シルバーサポーター
	19	月	デイサービスレク	7	歌	シルバーサポーター
	20	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	火	喫茶の日	2	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	22	木	華道クラブ	31	華道補助	シルバーサポーター
3	1	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	シルバーサポーター
	5	月	デイサービスレク	6	折り紙	シルバーサポーター
	6	火	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	6	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	8	木	華道クラブ	3	華道補助	シルバーサポーター
	15	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風、シルバーサポーター
	19	月	デイサービスレク	7	歌	シルバーサポーター
	20	火	喫茶の日	5	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	20	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	22	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園
27	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	シルバーサポーター	

#### 17. 慰問受入状況

月 日	慰問者名	人数	行事名等	内 容
4月2日	ベリーダンス	3	観桜会	ダンス
	どこでもドアーズ	8	観桜会	演奏・歌
5月16日	永福カラオケ会	9	おやつバイキング	歌・舞踊
8月20日	ひよっこ連	9	アイスクリームの会	ひよっこ踊り・お囃子
9月10日	フラダンス	8	敬老会	ダンス
9月19日	葉月舞踊団	6	おやつバイキング	舞踊
10月15日	六本木ひろし	1	文化祭	演歌
	お囃子会	10	文化祭	お囃子
12月16日	どこでもドアーズ	6	クリスマス会	演奏・歌
1月1日	獅子舞	8	元旦	獅子舞・お囃子

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的
5月	05/15・05/16	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	05/22・05/23	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	05/29・05/30	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
6月	06/05・06/06	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/08・06/09	都立羽村特別支援学級	1	インターシップ
	06/12・06/13	都立羽村特別支援学級	1	インターシップ
	06/05～06/16	東京福祉大学	1	社会福祉士
	6月13日	サンシャインピラ介護学院	6	初任者研修
	06/19・06/20	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	6月27日	都立羽村特別支援学級	1	インターシップ
7月	07/11～07/13	福生市立 第二中学校	3	職場体験学習
	07/27～07/28	福生高等学校	4	人間と社会の体験
9月	09/13～09/15	福生第三中学校	3	職場体験
	9月12日	サンシャインピラ介護学院	5	初任者研修
12月	12月5日	サンシャインピラ介護学院	3	初任者研修
	12月6日	サンシャインピラ介護学院	1	初任者研修
2月	2月26日	サンシャインピラ介護学院	4	初任者研修
	2月28日	サンシャインピラ介護学院	4	初任者研修
3月	3月2日	サンシャインピラ介護学院	2	初任者研修
	3月3日	サンシャインピラ介護学院	1	初任者研修
	3月13日	サンシャインピラ介護学院	5	初任者研修
	3月14日	サンシャインピラ介護学院	3	初任者研修
	3月17日	サンシャインピラ介護学院	1	初任者研修

受入研修費収入額：60,000円

### 19. 消防訓練実施結果

平成 29 年度は、引き続き震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。また寝たきりの利用者の対応についても取り組む意識が出てきている。そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

#### 29 年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月 30 日	避難訓練	震災を想定した避難訓練。 特養及びデイサービスを対象とした全館の訓練
5 月 18 日	防火管理 委員会	消防計画の再確認。前年度修正した消防計画についての再確認 を行い、改めて各所の担当者の確認を行う。 震災を想定した被害についても話し合う。
6 月 14 日	中止	
7 月 25 日	自衛消防審 査会説明会	自衛消防審査会の参加により、詳細の説明を受ける。  参加職員：中野利男・岩崎大悟
8 月	消 防 審 査 会 参加訓練	審査会に向けた総合訓練 日程は適宜
9 月 26 日	自 衛 消 防 審 査 会	福生市中央公園にて。
10 月 20 日	中止	
11 月 16 日	防 火 管 理 委 員 会	冬場に備え、火器の使用及び、誤報についての対応の確認。
12 月 22 日	中止	
1 月	中止	
2 月 25 日	避難訓練	水害を想定した避難訓練 デイサービス利用者を、階段を使用して 2 階に安全に避難させ る訓練。 参加者 30 名
3 月	震災体験	地域住民との合同訓練 起震車を要請し、地域住民ともどもの体験。 消防署に参加依頼をし、説明を受ける。

## 20. ショートステイ事業報告

平成 29 年度も稼働率 85% (13.6 名/日) という目標を立てて運営努力した。

この目標に対し、実績は 29 年度実績前年を下回り 72.3% (12 名/日) という結果であった。29 年度も、措置依頼や緊急避難的な長期のショートステイ利用者を 13 名に設定して稼働したが、近年まれにみる多くの特養退所者数がショートに影響し実績を大きく落とした。

また、特養で短期入院とされた利用者の入院期間が延びる等もあり、入所の分の空床を埋めるために特養に切り替える等も行った。

加えて、事前面接のタイミングも取りづらい時期が多々あったことや、利用者の自宅の他施設に行きたいという事から受け入れを取り下げられることもあり、受け入れに難攻する場面が多かったことも一因と思われる。

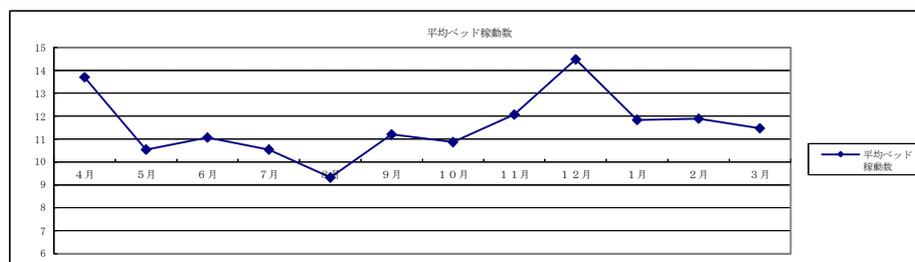
30 年度は、28 年度同様に稼働率 85.0%、13.6 名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。介護報酬収入等年間実績 47,774,762 円

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

### 平成29年度ショートステイ事業活動実績報告

#### 月別利用者延人数調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用者数	19	21	23	19	16	23	22	21	21	25	18	22	250
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	2	3	1	1	3	1	0	0	1	1	1	14
要介護2	4	3	2	2	2	2	1	1	1	2	3	2	25
要介護3	5	6	9	9	7	5	6	7	9	10	6	9	88
要介護4	7	7	4	3	4	7	9	11	9	10	6	7	84
要介護5	3	3	5	4	2	6	5	2	2	2	2	3	39
延利用日数	411	327	332	327	289	336	337	362	449	367	327	353	4,217
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	6	8	3	6	11	2	0	0	2	2	3	43
要介護2	66	50	30	51	36	28	4	4	12	21	38	8	348
要介護3	79	70	142	188	161	67	36	128	176	136	130	115	1428
要介護4	191	121	79	42	68	155	203	207	244	189	115	154	1768
要介護5	75	80	73	43	18	75	92	23	17	19	42	73	630
平均ベッド稼働数	13.7	10.55	11.07	10.55	9.32	11.2	10.87	12.07	14.48	11.84	11.89	11.48	年平均 11.59



#### ショートステイ利用日数状況調査 (年間)

\*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	1	14	2	1	2	10	30
5月	4	12	5	2	2	6	31
6月	6	13	2	2	4	6	33
7月	0	14	3	2	1	7	27
8月	0	13	2	0	1	7	23
9月	1	12	2	4	5	5	29
10月	4	11	3	0	1	9	28
11月	2	12	1	1	4	8	28
12月	4	7	2	2	2	11	28
1月	4	9	4	3	2	7	29
2月	5	8	1	0	0	10	24
3月	2	12	3	1	0	10	28
合計	33	137	30	18	24	96	338
	9.8%	40.5%	8.9%	5.3%	7.1%	28.4%	100.0%

#### 特養空床利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成29年度

# 通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(併設型介護予防通所介護事業・総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

# 事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

# 高齢者在宅サービスセンター加美 事業報告書 目次

## ・通所事業

(併設型通所介護事業・併設型介護予防通所介護事業・総合事業通所介護事業  
・高齢者生きがい活動支援デイサービス)

事業報告・中長期経営計画達成状況.....	1
職員配置.....	2
併設型通所介護他事業利用実績.....	3-6
入浴サービス利用実績.....	7
生きがいデイサービス実績.....	8-9
通所事業行事活動報告.....	10-13
生きがいデイサービス行事活動報告.....	14-17
クラブ活動報告.....	18
研修参加状況.....	18

## ・通所事業（併設型通所介護事業・併設型介護予防通所介護事業・総合事業）

### 事業報告

在宅サービスセンターは、年度当初事業計画の基本目的・基本方針に則り、独自の特色を打ち出し、利用者のさまざまなニーズに対応すべくサービスの充実及び運営面の効率化を図り、地域の利用者に喜んで選ばれる『魅力あるセンターづくり』に重点を置き、利用者数の獲得を目指し事業を行った。

事業計画の重点施策で掲げた内容を踏まえ、サービス内容については毎月多様な行事を企画し（誕生会、手作りおやつ、ドライブ、外食会、季節行事など）、また趣味の会も書道・陶芸・手芸・水彩画、紙芝居、専門スタッフによる音楽リハビリの開催など、利用者がセンターでの一日を楽しく過ごしていただけるよう心掛けた。

介護職員は、経費削減を目指し、備品管理・在庫管理を徹底し、必要なものを必要なだけ発注するように心がけた。また安全第一を考えた介護・看護に努め、毎日のミーティングでは、成功事例、失敗事例を出し合い、又、利用者や家族のニーズを深く掘り下げていくことにより、より良いサービスの提供に努めた。送迎時の安全対策目標に関しては、ドライバーミーティングを毎月開催し徹底した安全運行により無事故無違反を達成した。

利用者数定員目標については、一年間の延べ利用者数を前年度と比較すると、併設型通所介護事業では前年度延べ利用者数9,707人に対し、今年度延べ利用者数9,627人と80人減となった。安定した利用者確保には、併設居宅支援事業所からの新規利用者紹介、既存利用者の週利用回数の増加を図ることが効果的であり、また、地域の居宅支援事業所からの新規利用者獲得が重要である。そのためにもセンターからの各種情報発信や多様なサービスメニューを取り揃え魅力あるセンターにしていく必要がある。

通所デイはショートステイを活用され、最終的にサンシャインビラ、第2サンシャインビラ・第3サンシャインビラに入所されるケースが多くみられ、法人全体としては利用者並びにその家族に、幅広いサービスを提供出来たと思われる。

通所介護・介護予防通所介護・総合事業実績：87,692,979円

#### 【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 介護予防通所介護 総合事業

職 種	常 勤		非 常 勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管 理 者	1人	他事業を兼務		
生 活 相 談 員	2人	専任・機能訓練指導員を兼務	1人	
介 護 職 員			13人	
看 護 職 員			3人	
機 能 訓 練 指 導 員			必要数	生活相談員・看護職員を兼務
調 理 員	必要数	他事業を兼務		
運 転 手				全利用日送迎時間帯に勤務
事 務 職 員	1人	他事業を兼務	1人	他事業を兼務

人件費実績：63,809,703円

福利厚生費実績：779,120円

### 併設型通所介護事業利用実績

平成29年度における併設型通所事業の実績を振り返ると、延べ利用者数では、前年度に比べ80名減となった（データ1）。

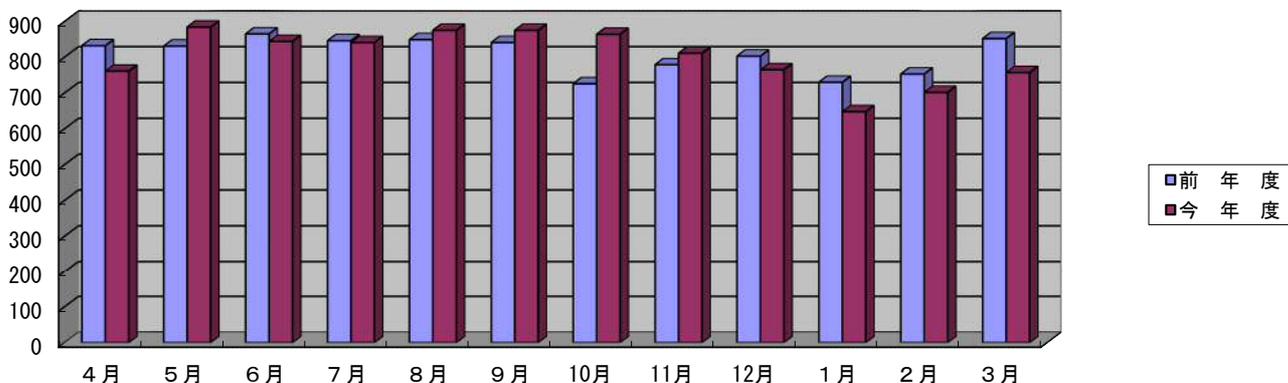
一日当たりの平均は昨年度平均32.87名のところ、本年度は31.05名となった（データ2）。

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数（データ1）

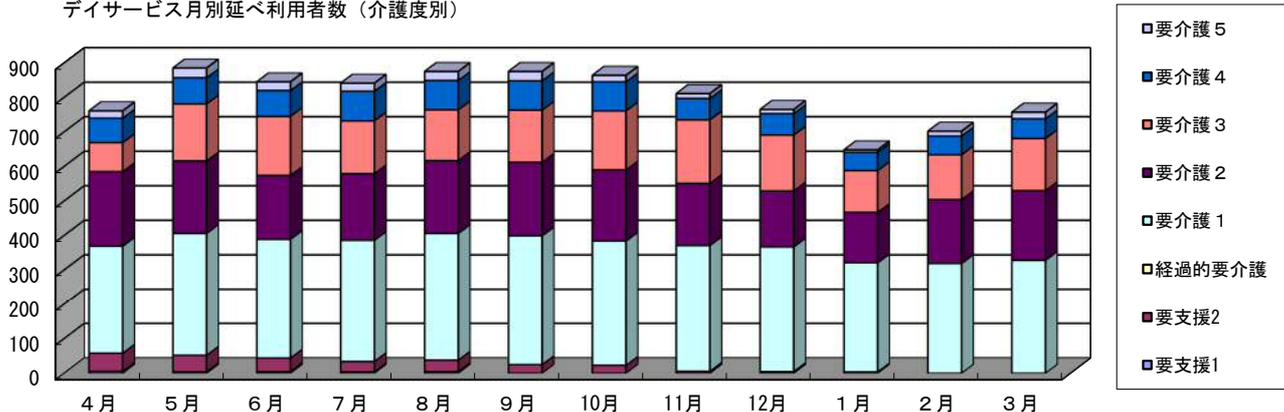
単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	832	831	865	846	849	841	726	779	803	730	753	852	9,707
今年度	761	884	844	841	875	875	864	811	765	648	702	757	9,627
要支援1	6	4	5	4	5	0	0	0	0	0	0	0	24
要支援2	52	48	39	30	33	25	23	6	5	4	0	0	265
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	311	354	345	352	368	374	361	365	362	317	319	328	4,156
要介護2	216	210	185	193	211	213	206	180	162	146	185	202	2,309
要介護3	84	165	171	153	147	151	171	184	162	121	130	151	1,790
要介護4	71	76	75	86	85	85	84	62	62	53	54	57	850
要介護5	21	28	25	23	26	27	19	14	12	7	14	19	235
	761	885	845	841	875	875	864	811	765	648	702	757	9,629
今年度-前年度	△ 71	53	△ 21	△ 5	26	34	138	32	△ 38	△ 82	△ 51	△ 95	△ 80

デイサービス月別利用者延べ人員



デイサービス月別延べ利用者数（介護度別）



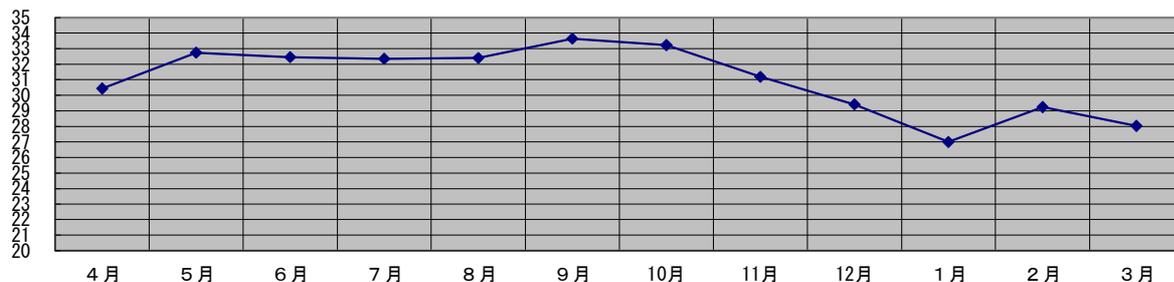
併設型通所介護一日平均利用者数

(データ2)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ①÷②	30.44	32.74	32.46	32.35	32.41	33.65	33.23	31.19	29.42	27.00	29.25	28.04	31.05
延べ利用者数 ①	761	884	844	841	875	875	864	811	765	648	702	757	9,627
開所日数 ②	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310

デイサービス一日平均利用者数

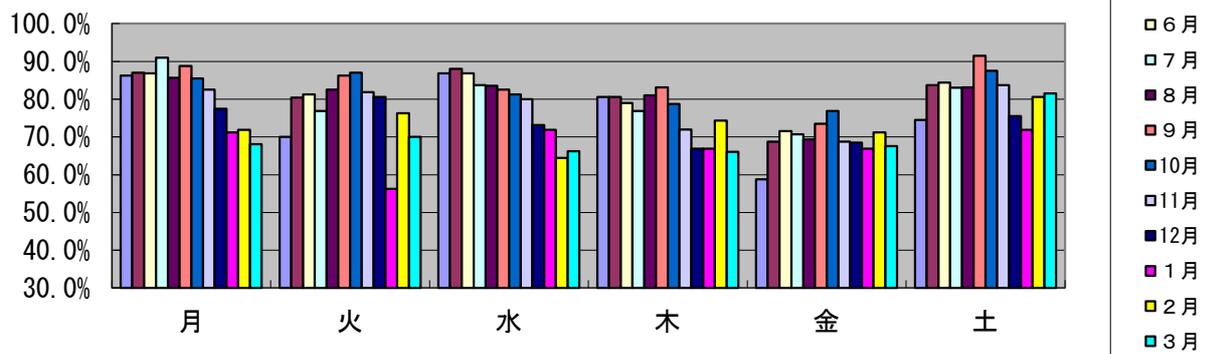


曜日別平均稼働率年間集計表

併設型通所介護 (定員35名)

	月	火	水	木	金	土
4月	86.3%	70.0%	86.9%	80.6%	58.8%	74.5%
5月	87.0%	80.5%	88.0%	80.6%	68.8%	83.8%
6月	86.9%	81.3%	86.9%	79.0%	71.5%	84.4%
7月	91.0%	76.9%	83.8%	76.9%	70.6%	83.0%
8月	85.6%	82.5%	83.5%	81.0%	69.4%	83.1%
9月	88.8%	86.3%	82.5%	83.1%	73.5%	91.5%
10月	85.5%	87.0%	81.3%	78.8%	76.9%	87.5%
11月	82.5%	81.9%	80.0%	72.0%	68.8%	83.8%
12月	77.5%	80.6%	73.1%	66.9%	68.5%	75.5%
1月	71.3%	56.3%	71.9%	66.9%	66.9%	71.9%
2月	71.9%	76.3%	64.4%	74.4%	71.3%	80.6%
3月	68.1%	70.0%	66.3%	66.0%	67.5%	81.5%
年間平均	81.9%	77.4%	79.0%	75.5%	69.4%	81.8%

併設型通所介護



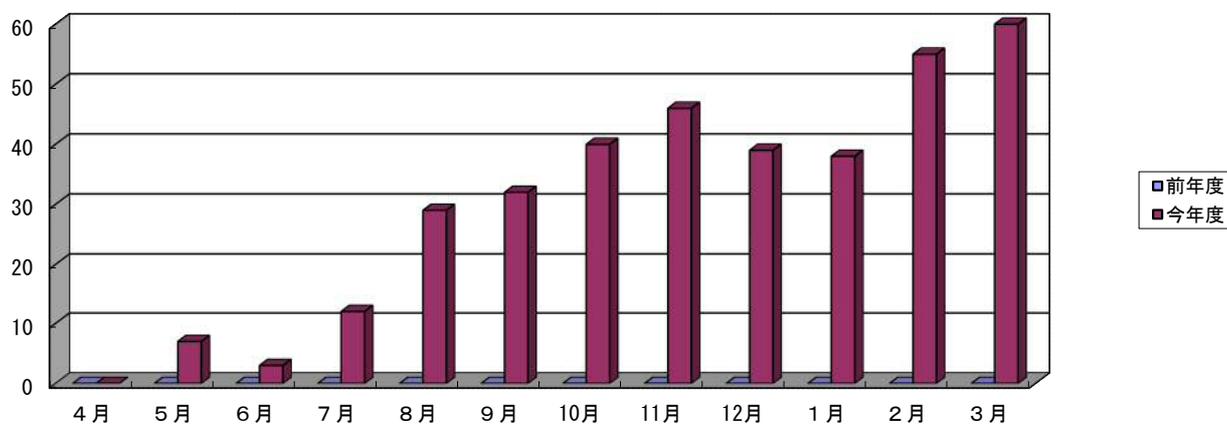
介護予防・日常生活支援総合事業利用実績  
 平成29年度における介護予防・日常生活支援総合事業の実績は以下の通りとなった。

介護予防・日常生活支援総合事業介護月別延べ利用者数 (データ3)

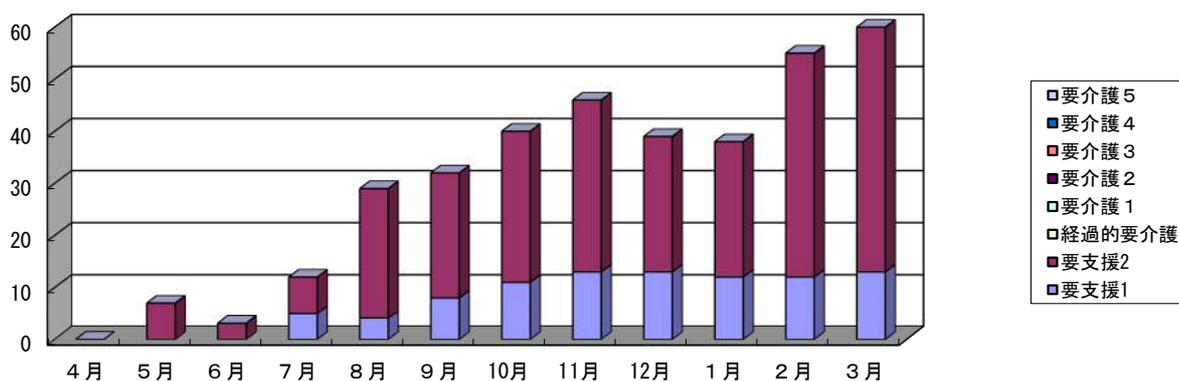
単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今年度	0	7	3	12	29	32	40	46	39	38	55	60	361
要支援1	0	0	0	5	4	8	11	13	13	12	12	13	91
要支援2	0	7	3	7	25	24	29	33	26	26	43	47	270
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	7	3	12	29	32	40	46	39	38	55	60	361
今年度-前年度	0	7	3	12	29	32	40	46	39	38	55	60	361

総合事業デイ月別利用者延べ人員

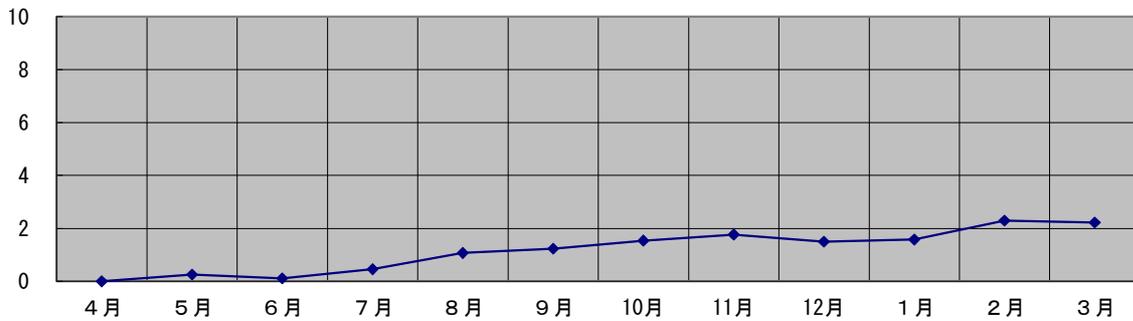


総合事業デイ月別延べ利用者数 (介護度別)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数	0.00	0.26	0.12	0.46	1.07	1.23	1.54	1.77	1.50	1.58	2.29	2.22	1.16
延べ利用者数	0	7	3	12	29	32	40	46	39	38	55	60	361
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310

介護予防・日常生活支援総合事業一日平均利用者数

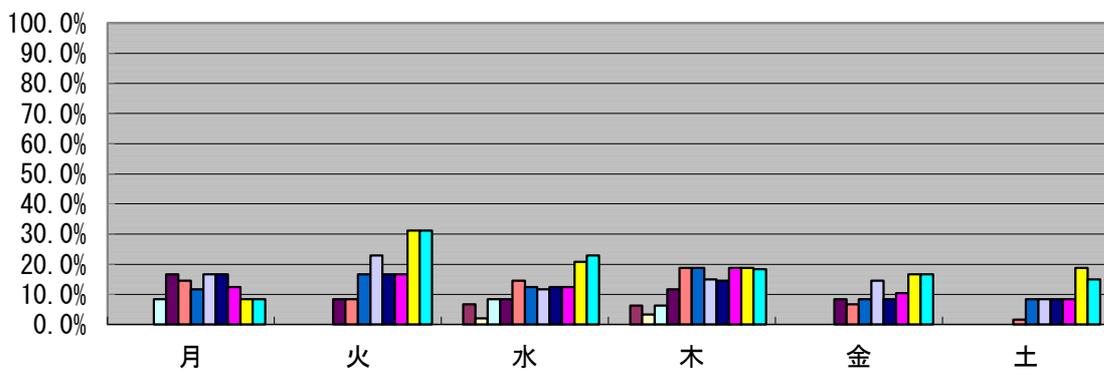


曜日別平均稼働率年間集計表

介護予防・日常生活支援総合事業（定員12名）

	月	火	水	木	金	土
4月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5月	0.0%	0.0%	6.7%	6.3%	0.0%	0.0%
6月	0.0%	0.0%	2.1%	3.3%	0.0%	0.0%
7月	8.3%	0.0%	8.3%	6.3%	0.0%	0.0%
8月	16.7%	8.3%	8.3%	11.7%	8.3%	0.0%
9月	14.6%	8.3%	14.6%	18.8%	6.7%	1.7%
10月	11.7%	16.7%	12.5%	18.8%	8.3%	8.3%
11月	16.7%	22.9%	11.7%	15.0%	14.6%	8.3%
12月	16.7%	16.7%	12.5%	14.6%	8.3%	8.3%
1月	12.5%	16.7%	12.5%	18.8%	10.4%	8.3%
2月	8.3%	31.3%	20.8%	18.8%	16.7%	18.8%
3月	8.3%	31.3%	22.9%	18.3%	16.7%	15.0%
年間平均	9.5%	12.7%	11.1%	12.5%	7.5%	5.7%

介護予防・日常生活支援総合事業



入浴サービス利用実績

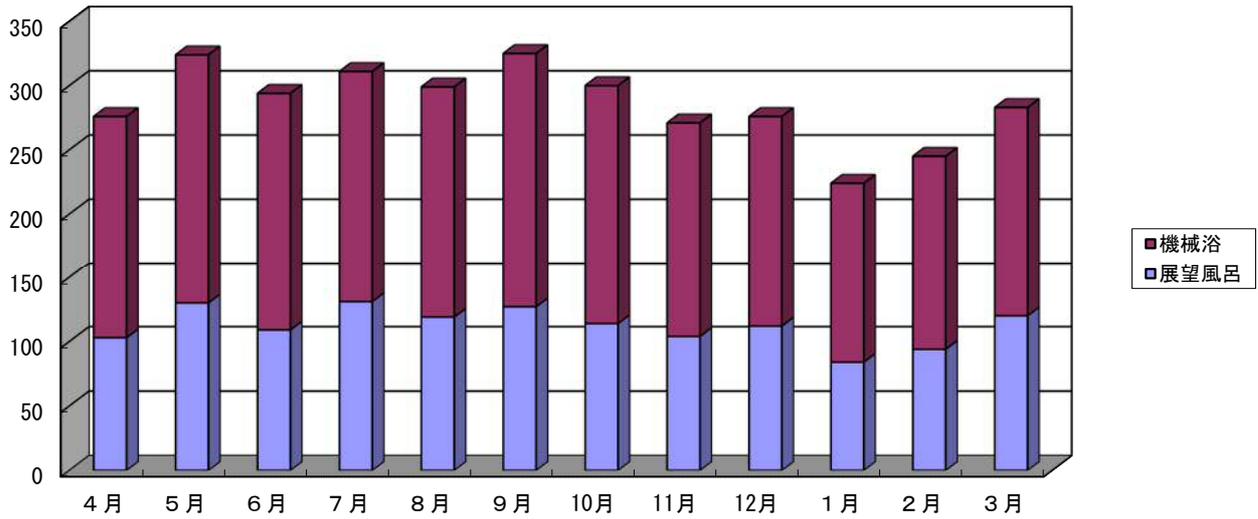
平成29年度における入浴サービスの実績は下記の通りである。

デイサービス入浴サービス

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
展望風呂	103	130	109	131	119	127	114	104	112	84	94	120	1,347
機械浴	173	194	185	180	180	198	186	167	164	140	151	163	2,081

デイサービス月別入浴利用者延べ人員



## 高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告

福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。

### 高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビラ)

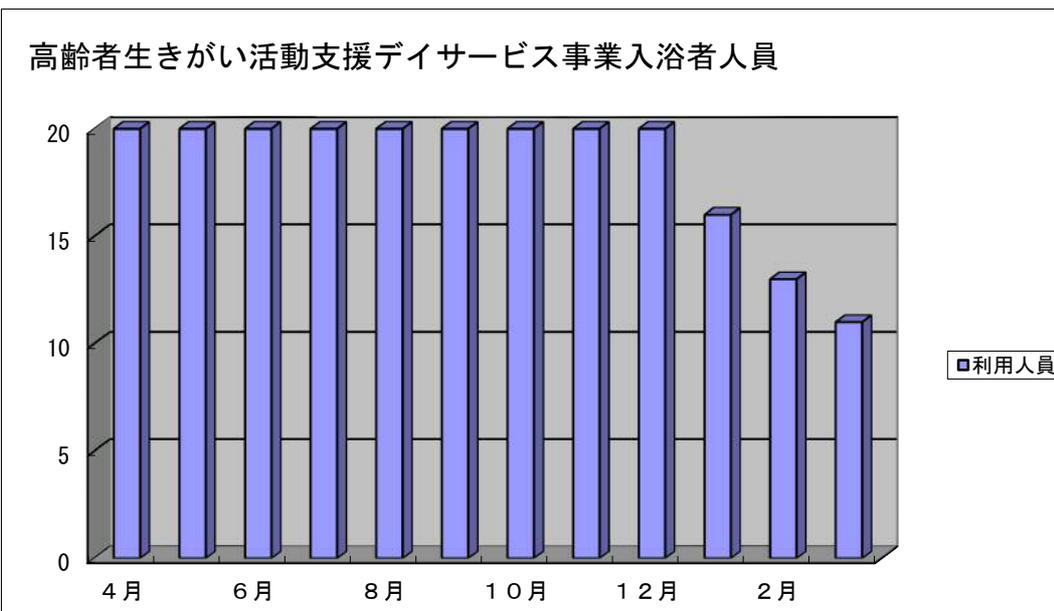
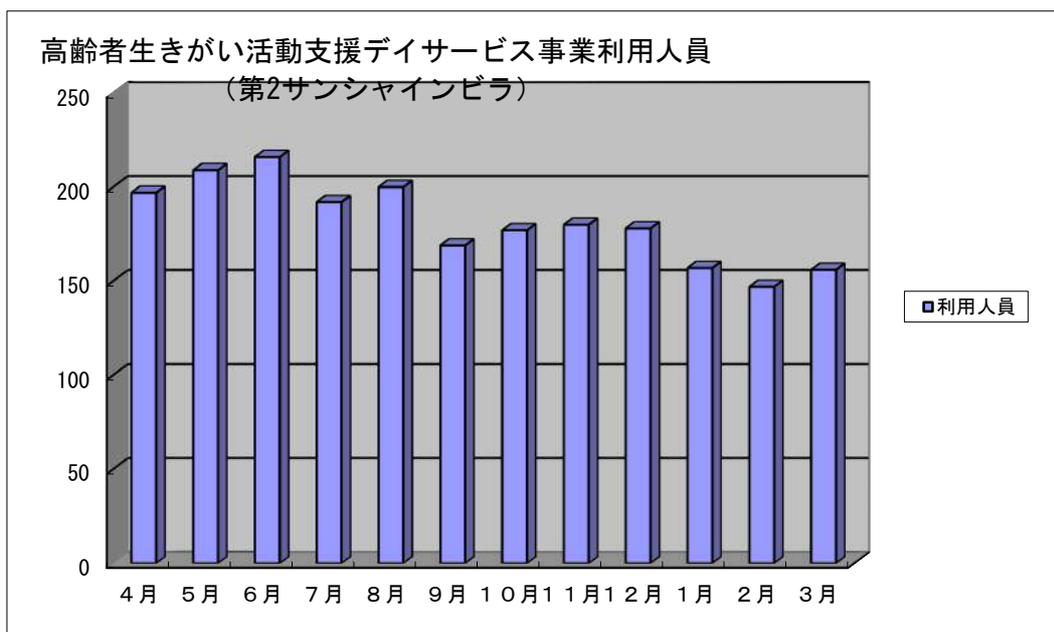
単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	197	209	216	192	200	169	177	180	178	157	147	156	2,178

### 高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス(一般浴)延べ利用人員実績簿

単位：名

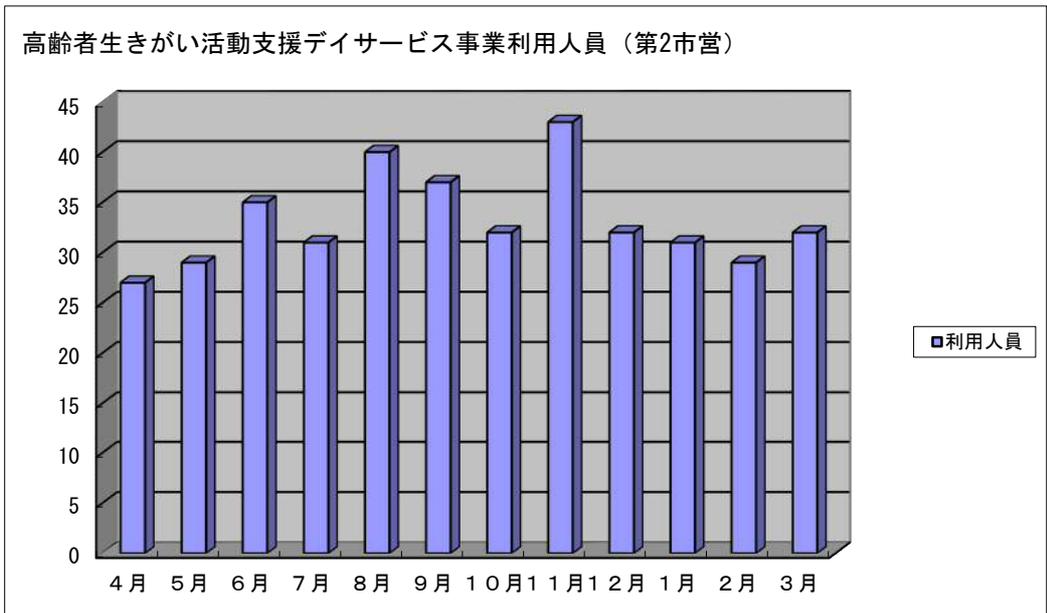
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	24	28	26	28	24	25	22	22	24	16	13	11	263



高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2市営)

単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	27	29	35	31	40	37	32	43	32	31	29	32	398



委託料実績：15,000,000円

4/1	土	5F 浴
4/2	日	
4/3	月	5F 浴・茶道
4/4	火	喫茶の日
4/5	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/6	木	手芸・陶芸
4/7	金	5F 浴
4/8	土	5F 浴
4/9	日	
4/10	月	5F 浴・書道
4/11	火	陶芸
4/12	水	5F 浴・陶芸
4/13	木	
4/14	金	5F 浴・紙芝居作り
4/15	土	5F 浴

4/16	日	
4/17	月	5F 浴・茶道
4/18	火	喫茶の日・理髪の日
4/19	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/20	木	手芸・陶芸・外食会(かんぼの宿)
4/21	金	5F 浴・シニアガ・水彩画・外食会(かんぼの宿)
4/22	土	5F 浴・外食会(かんぼの宿)
4/23	日	
4/24	月	5F 浴・書道・誕生食(どら焼き)
4/25	火	陶芸・誕生食(どら焼き)
4/26	水	5F 浴・陶芸・誕生食(どら焼き)
4/27	木	
4/28	金	5F 浴・紙芝居作り
4/29	土	展望風呂
4/30	日	

5/1	月	5F 浴・茶道
5/2	火	喫茶の日
5/3	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/4	木	手芸・陶芸
5/5	金	5F 浴・慰問(サクソ演奏)
5/6	土	5F 浴
5/7	日	
5/8	月	5F 浴・書道
5/9	火	陶芸
5/10	水	5F 浴・陶芸
5/11	木	
5/12	金	5F 浴・紙芝居作り
5/13	土	5F 浴
5/14	日	
5/15	月	5F 浴・茶道

5/16	火	喫茶の日
5/17	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/18	木	手芸・陶芸
5/19	金	5F 浴・水彩画
5/20	土	5F 浴
5/21	日	
5/22	月	5F 浴・書道
5/23	火	陶芸
5/24	水	5F 浴・陶芸
5/25	木	誕生食(紅白まんじゅう)
5/26	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り・誕生食(紅白まんじゅう)
5/27	土	5F 浴・誕生食(紅白まんじゅう)
5/28	日	
5/29	月	5F 浴・外食会(よへい)
5/30	火	外食会(よへい)
5/31	水	5F 浴・外食会(よへい)

6/1	木	手芸・陶芸
6/2	金	5F 浴
6/3	土	5F 浴
6/4	日	
6/5	月	5F 浴・茶道
6/6	火	喫茶の日
6/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
6/8	木	
6/9	金	5F 浴・紙芝居作り
6/10	土	5F 浴
6/11	日	
6/12	月	5F 浴・書道
6/13	火	陶芸
6/14	水	5F 浴・陶芸
6/15	木	手芸・陶芸

6/16	金	5F 浴・水彩画
6/17	土	5F 浴
6/18	日	
6/19	月	5F 浴・茶道
6/20	火	喫茶の日・理髪の日
6/21	水	5F 浴・音楽療法・書道
6/22	木	外食会(パーミヤン)
6/23	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り・外食会(パーミヤン)
6/24	土	5F 浴・外食会(パーミヤン)
6/25	日	
6/26	月	5F 浴・書道・誕生食(亀焼き)
6/27	火	陶芸・誕生食(亀焼き)
6/28	水	5F 浴・手芸・陶芸・誕生食(亀焼き)
6/29	木	手芸
6/30	金	5F 浴・手芸

7/1	土	5F 浴
7/2	日	
7/3	月	5F 浴・茶道
7/4	火	喫茶の日
7/5	水	5F 浴・書道
7/6	木	手芸・陶芸
7/7	金	5F 浴
7/8	土	5F 浴
7/9	日	
7/10	月	5F 浴・書道
7/11	火	陶芸
7/12	水	5F 浴・陶芸
7/13	木	ひまわり美容室

7/16	日	
7/17	月	5F 浴・茶道
7/18	火	喫茶の日
7/19	水	5F 浴・音楽療法・書道
7/20	木	手芸・陶芸
7/21	金	5F 浴・シニアガ・水彩画
7/22	土	5F 浴
7/23	日	
7/24	月	5F 浴・書道・外食会(久衛屋)
7/25	火	陶芸・外食会(久衛屋)
7/26	水	5F 浴・音楽療法・陶芸・外食会(久衛屋)
7/27	木	誕生食(亀焼き)
7/28	金	5F 浴・紙芝居作り・移動美容室・誕生食(亀焼き)

7/14	金	5F 浴・紙芝居作り
7/15	土	5F 浴

7/29	土	5F 浴・誕生食(亀焼き)
7/30	日	
7/31	月	5F 浴

8/1	火	喫茶の日
8/2	水	5F 浴・音楽療法・書道
8/3	木	手芸・陶芸
8/4	金	5F 浴
8/5	土	5F 浴
8/6	日	
8/7	月	5F 浴・茶道
8/8	火	陶芸
8/9	水	5F 浴・陶芸
8/10	木	
8/11	金	5F 浴・紙芝居作り
8/12	土	5F 浴
8/13	日	
8/14	月	5F 浴・書道
8/15	火	喫茶の日

8/16	水	5F 浴・音楽療法・書道
8/17	木	手芸・陶芸
8/18	金	5F 浴・水彩画
8/19	土	5F 浴
8/20	日	
8/21	月	5F 浴・茶道
8/22	火	陶芸
8/23	水	5F 浴・陶芸
8/24	木	外食会(蕎麦屋一作)
8/25	金	5F 浴・シニアヨガ・紙芝居作り・外食会(蕎麦屋一作)
8/26	土	5F 浴・外食会(蕎麦屋一作)・合唱団慰問
8/27	日	
8/28	月	5F 浴・書道・誕生食(フローズンゼリー)
8/29	火	誕生食(フローズンゼリー)
8/30	水	5F 浴・誕生食(フローズンゼリー)
8/31	木	手芸

9/1	金	5F 浴・水彩画
9/2	土	5F 浴
9/3	日	
9/4	月	5F 浴・茶道
9/5	火	喫茶の日
9/6	水	5F 浴・音楽療法・書道
9/7	木	陶芸
9/8	金	5F 浴・紙芝居作り
9/9	土	5F 浴
9/10	日	
9/11	月	5F 浴・書道
9/12	火	陶芸
9/13	水	5F 浴・陶芸
9/14	木	手芸
9/15	金	5F 浴・シニアヨガ・水彩画

9/16	土	5F 浴
9/17	日	
9/18	月	5F 浴・茶道
9/19	火	理髪の日・喫茶の日(葉月劇団慰問)
9/20	水	5F 浴・音楽療法・書道
9/21	木	手芸・陶芸
9/22	金	5F 浴・紙芝居作り
9/23	土	5F 浴
9/24	日	
9/25	月	5F 浴・書道・外食会(とんでん)
9/26	火	陶芸・外食会(とんでん)
9/27	水	5F 浴・陶芸・外食会(とんでん)
9/28	木	誕生食(酒まんじゅう)
9/29	金	5F 浴・水彩画・誕生食(酒まんじゅう)
9/30	土	5F 浴・誕生食(酒まんじゅう)

10/1	日	
10/2	月	展望風呂・茶道
10/3	火	喫茶の日
10/4	水	5F 浴・音楽療法・書道
10/5	木	手芸・陶芸
10/6	金	5F 浴
10/7	土	5F 浴
10/8	日	
10/9	月	5F 浴・書道
10/10	火	陶芸
10/11	水	5F 浴・陶芸
10/12	木	
10/13	金	5F 浴・紙芝居作り
10/14	土	5F 浴・文化祭見学
10/15	日	

10/16	月	5F 浴
10/17	火	喫茶の日
10/18	水	5F 浴・音楽療法・書道
10/19	木	手芸・陶芸
10/20	金	5F 浴
10/21	土	5F 浴
10/22	日	
10/23	月	5F 浴・誕生食(田舎パティ)
10/24	火	陶芸・誕生食(田舎パティ)
10/25	水	5F 浴・陶芸・誕生食(田舎パティ)
10/26	木	外食会(かんぼの宿)
10/27	金	5F 浴・シニアヨガ・紙芝居作り
10/28	土	5F 浴・外食会(かんぼの宿)
10/29	日	
10/30	月	5F 浴
10/31	火	

11/1	水	5F 浴・音楽療法・書道
11/2	木	手芸・陶芸
11/3	金	5F 浴
11/4	土	5F 浴
11/5	日	
11/6	月	5F 浴
11/7	火	焼き芋大会
11/8	水	5F 浴・陶芸
11/9	木	ひまわり美容室

11/16	木	手芸
11/17	金	5F 浴・水彩画
11/18	土	5F 浴・水彩画
11/19	日	
11/20	月	展望風呂 茶道
11/21	火	喫茶の日 理髪の日
11/22	水	展望風呂 陶芸
11/23	木	誕生食
11/24	金	展望風呂 シニアヨガ 紙芝居作り 誕生食

11/10	金	5F 浴・紙芝居作り
11/11	土	5F 浴
11/12	日	
11/13	月	5F 浴・書道
11/14	火	陶芸
11/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

11/25	土	展望風呂 誕生食
11/26	日	
11/27	月	展望風呂 書道 外食会(かんぼの宿)
11/28	火	陶芸 外食会(かんぼの宿)
11/29	水	展望風呂 外食会(かんぼの宿)
11/30	木	手芸

12/1	金	5F 浴
12/2	土	5F 浴
12/3	日	
12/4	月	5F 浴・茶道
12/5	火	喫茶の日
12/6	水	5F 浴・音楽療法
12/7	木	手芸・陶芸
12/8	金	5F 浴・紙芝居作り
12/9	土	5F 浴
12/10	日	
12/11	月	5F 浴・書道
12/12	火	陶芸
12/13	水	5F 浴・書道
12/14	木	手芸
12/15	金	5F 浴

12/16	土	5F 浴・特養クリスマス会見学
12/17	日	
12/18	月	5F 浴・茶道・外食会(とんでん)
12/19	火	理髪の日・喫茶の日・外食会(とんでん)
12/20	水	5F 浴・音楽療法・書道・外食会(とんでん)
12/21	木	クリスマス会
12/22	金	5F 浴・シニアガ・クリスマス会
12/23	土	5F 浴・クリスマス会
12/24	日	
12/25	月	5F 浴・書道
12/26	火	餅つき大会・陶芸
12/27	水	5F 浴・陶芸
12/28	木	
12/29	金	5F 浴
12/30	土	5F 浴
12/31	日	

1/1	月	<b>休み</b>	
1/2	火		
1/3	水		
1/4	木		陶芸・初詣ドライブ
1/5	金		5F 浴・初詣ドライブ
1/6	土		5F 浴・初詣ドライブ
1/7	日		
1/8	月	5F 浴・書道	
1/9	火	陶芸・喫茶の日	
1/10	水	5F 浴・書道・陶芸	
1/11	木		
1/12	金	5F 浴・紙芝居作り	
1/13	土	5F 浴	
1/14	日		
1/15	月	5F 浴・茶道	

1/16	火	喫茶の日
1/17	水	5F 浴・音楽療法
1/18	木	手芸・陶芸
1/19	金	5F 浴・水彩画
1/20	土	5F 浴・ダンス慰問
1/21	日	
1/22	月	5F 浴
1/23	火	
1/24	水	5F 浴・陶芸
1/25	木	外食会(とんでん)
1/26	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り・外食会(とんでん)
1/27	土	5F 浴・外食会(とんでん)
1/28	日	
1/29	月	5F 浴・誕生食(亀焼き)
1/30	火	陶芸・誕生食(亀焼き)
1/31	水	5F 浴・音楽療法・書道・誕生食(亀焼き)

2/1	木	早登・陶芸
2/2	金	5F 浴
2/3	土	5F 浴
2/4	日	
2/5	月	5F 浴・茶道
2/6	火	おやつパ 休ム
2/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
2/8	木	
2/9	金	5F 浴・紙芝居作り
2/10	土	5F 浴
2/11	日	
2/12	月	5F 浴・書道
2/13	火	陶芸
2/14	水	5F 浴・陶芸
2/15	木	手芸・陶芸

2/16	金	5F 浴・シニアガ・水彩画
2/17	土	5F 浴
2/18	日	
2/19	月	5F 浴・茶道
2/20	火	喫茶の日・理髪の日
2/21	水	5F 浴
2/22	木	誕生食(子犬サブレ)
2/23	金	5F 浴・紙芝居作り・誕生食(子犬のサブレ)
2/24	土	5F 浴・誕生食(子犬のサブレ)
2/25	日	
2/26	月	5F 浴・書道・外食会(バーミヤン)
2/27	火	陶芸・外食会(バーミヤン)
2/28	水	5F 浴・外食会(バーミヤン)

3/1	木	早登・陶芸
3/2	金	5F 浴
3/3	土	5F 浴
3/4	日	
3/5	月	5F 浴・茶道

3/16	金	5F 浴・水彩画
3/17	土	5F 浴
3/18	日	
3/19	月	5F 浴・茶道
3/20	火	喫茶の日

3/6	火	おやつパキグ
3/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
3/8	木	
3/9	金	5F 浴・紙芝居作り
3/10	土	5F 浴
3/11	日	
3/12	月	5F 浴・書道
3/13	火	陶芸
3/14	水	5F 浴・陶芸
3/15	木	手芸

3/21	水	5F 浴・音楽療法
3/22	木	
3/23	金	5F 浴・シニアカ*・紙芝居作り
3/24	土	5F 浴
3/25	日	
3/26	月	5F 浴・書道・誕生食(桜餅)
3/27	火	陶芸・誕生食(桜餅)
3/28	水	5F 浴・書道・誕生食(桜餅)
3/29	木	手芸・陶芸・外食会(かんぼの宿)
3/30	金	5F 浴・外食会(かんぼの宿)
3/31	土	5F 浴・外食会(かんぼの宿)

上記のほか、日々楽しめるゲームを企画し、ミニゲートボール・ペットボトルのボウリング、スカットボールなど介護職員が工夫を凝らし利用者に楽しんでいただいた。テーブルゲーム、食事前の口腔体操、折り紙教室なども継続的に行い、好評な様子であった。

また、ドライブや多摩川の散歩・日光浴など自然とのふれあいの場を多く設け、手芸では、靴下のリサイクルによる指編みを行なったところ、大好評にて利用者の増員につながった。

さらに、特養のおやつバイキング、喫茶室、その他カラオケ慰問等の慰問へも参加させていただき、利用者楽しんでいただいた。特に毎月の加美平保育園の園児さんの慰問はとても喜ばれている。

給食費実績：4,795,056円

車両費実績：1,836,292円

教養娯楽費実績：865,435円

介護用品費実績：12,960円

医薬品費実績：221,803円

保健衛生費実績：91,124円

被服費実績：9,504円

日用品費実績：148,629円

消耗器具備品費実績：134,286円

水道光熱費等実績：3,445,407円

【福生市生きがいデイサービス（第2サンシャインビラ・第2市営）】

第2市営ではご近所の高齢者も多数参加し、活気ある生きがいデイサービス活動を行っている。  
開催内容は、利用者とともに決定し、ドライブ、ショッピング、カラオケなど魅力あるサービスが出来た。

4/1	土	5F 浴
4/2	日	
4/3	月	5F 浴・茶道
4/4	火	喫茶の日
4/5	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/6	木	手芸・陶芸 D2:ドライブ・外食会(かんぽの宿)
4/7	金	5F 浴
4/8	土	5F 浴
4/9	日	
4/10	月	5F 浴・書道
4/11	火	陶芸
4/12	水	5F 浴
4/13	木	D2:第2サンシャインビラ来園
4/14	金	5F 浴・紙芝居作り
4/15	土	5F 浴

4/16	日	
4/17	月	5F 浴・茶道
4/18	火	喫茶の日
4/19	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/20	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ-青梅・羽村フェリス 畑)
4/21	金	5F 浴・シニアヨガ・水彩画
4/22	土	
4/23	日	
4/24	月	5F 浴・書道
4/25	火	陶芸
4/26	水	5F 浴
4/27	木	D2:のんびりデイ
4/28	金	5F 浴・紙芝居作り
4/29	土	
4/30	日	

5/1	月	5F 浴・茶道
5/2	火	喫茶の日
5/3	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/4	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ-青梅・西多摩霊園つつじ)
5/5	金	5F 浴・慰問(サクソ演奏)
5/6	土	
5/7	日	
5/8	月	書道
5/9	火	陶芸
5/10	水	5F 浴
5/11	木	D2:第2サンシャインビラ来園
5/12	金	紙芝居作り
5/13	土	
5/14	日	
5/15	月	5F 浴・茶道

5/16	火	喫茶の日
5/17	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/18	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(あきる台公園・あきる野ファーマーズセンター)
5/19	金	5F 浴・水彩画
5/20	土	
5/21	日	
5/22	月	5F 浴・書道
5/23	火	陶芸
5/24	水	
5/25	木	D2:のんびりデイ
5/26	金	5F 浴・シニアヨガ・紙芝居作り
5/27	土	5F 浴
5/28	日	
5/29	月	5F 浴
5/30	火	
5/31	水	

6/1	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(あきる野東急・サマランド 方面)
6/2	金	5F 浴
6/3	土	5F 浴
6/4	日	
6/5	月	5F 浴・茶道
6/6	火	喫茶の日
6/7	水	5F 浴・書道
6/8	木	D2:第2サンシャインビラ来園
6/9	金	5F 浴・紙芝居作り
6/10	土	5F 浴
6/11	日	
6/12	月	書道
6/13	火	陶芸
6/14	水	5F 浴・陶芸
6/15	木	手芸・陶芸 D2:ドライブ(青梅吹上菖蒲園)

6/16	金	水彩画
6/17	土	5F 浴
6/18	日	
6/19	月	5F 浴・茶道
6/20	火	喫茶の日
6/21	水	5F 浴・音楽療法・書道
6/22	木	D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ-青梅・瑞穂エコー方面)
6/23	金	シニアヨガ・紙芝居作り
6/24	土	5F 浴
6/25	日	
6/26	月	書道・手芸
6/27	火	
6/28	水	
6/29	木	手芸 D2:のんびりデイ
6/30	金	

7/1	土	5F 浴
7/2	日	
7/3	月	茶道
7/4	火	喫茶の日
7/5	水	5F 浴・書道
7/6	木	手芸・陶芸 D2:瑞穂耕心館(人形作品展)・瑞穂モール
7/7	金	5F 浴
7/8	土	5F 浴
7/9	日	
7/10	月	書道
7/11	火	陶芸
7/12	水	5F 浴・陶芸
7/13	木	D2:第2サンプライヴ来園
7/14	金	紙芝居作り
7/15	土	

7/16	日	
7/17	月	茶道
7/18	火	喫茶の日
7/19	水	5F 浴・音楽療法・書道
7/20	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコフ・昭島・瑞穂方面)
7/21	金	5F 浴・シアター・水彩画
7/22	土	5F 浴
7/23	日	
7/24	月	5F 浴・書道
7/25	火	陶芸
7/26	水	5F 浴・音楽療法
7/27	木	D2:のんびりデー
7/28	金	紙芝居作り
7/29	土	5F 浴
7/30	日	
7/31	月	

8/1	火	喫茶の日
8/2	水	5F 浴・音楽療法・書道
8/3	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(日の出イオン・五日市さるすべり)
8/4	金	5F 浴
8/5	土	5F 浴
8/6	日	
8/7	月	茶道
8/8	火	陶芸
8/9	水	5F 浴
8/10	木	D2:第2サンプライヴ来園
8/11	金	5F 浴
8/12	土	
8/13	日	
8/14	月	5F 浴・書道
8/15	火	喫茶の日

8/16	水	5F 浴・音楽療法・書道
8/17	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(青梅ベルク・かんぼの宿方面)
8/18	金	水彩画
8/19	土	5F 浴
8/20	日	
8/21	月	茶道
8/22	火	陶芸
8/23	水	5F 浴・陶芸
8/24	木	D2:ショッピング・ドライブ(ヤコフ・西武立川・立川方面)
8/25	金	シアター・紙芝居作り
8/26	土	合唱団慰問
8/27	日	
8/28	月	5F 浴・書道
8/29	火	
8/30	水	5F 浴
8/31	木	手芸 D2:のんびりデー

9/1	金	5F 浴・水彩画
9/2	土	
9/3	日	
9/4	月	5F 浴・茶道
9/5	火	喫茶の日
9/6	水	5F 浴・書道
9/7	木	陶芸 D2:ショッピング(あきる野東急)
9/8	金	紙芝居作り
9/9	土	5F 浴
9/10	日	
9/11	月	書道
9/12	火	陶芸 第2市営:ドライブ
9/13	水	5F 浴
9/14	木	手芸 D2:ドライブ(エコパーク瑞穂、彼岸花観賞)
9/15	金	5F 浴・シアター・水彩画

9/16	土	
9/17	日	
9/18	月	5F 浴・茶道
9/19	火	喫茶の日(葉月劇団慰問)
9/20	水	5F 浴・音楽療法・書道
9/21	木	手芸・陶芸 D2:のんびりデー
9/22	金	紙芝居作り
9/23	土	
9/24	日	
9/25	月	5F 浴・書道
9/26	火	陶芸
9/27	水	5F 浴・陶芸
9/28	木	加美平保育園園児来園 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコフ・青梅〜あきる野方面)
9/29	金	5F 浴・水彩画
9/30	土	5F 浴

10/1	日	
10/2	月	茶道

10/16	月	5F 浴
10/17	火	喫茶の日

10/3	火	喫茶の日
10/4	水	5F 浴・音楽療法・書道
10/5	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング(日の出付)
10/6	金	
10/7	土	5F 浴
10/8	日	
10/9	月	書道
10/10	火	陶芸
10/11	水	5F 浴・陶芸
10/12	木	手芸
10/13	金	5F 浴・紙芝居作り D2: ドライブ・ショッピング(秋留台公園・いなげや)
10/14	土	5F 浴・文化祭見学
10/15	日	

10/18	水	音楽療法・書道
10/19	木	手芸・陶芸 D2: のんびりデー
10/20	金	5F 浴
10/21	土	5F 浴
10/22	日	
10/23	月	
10/24	火	桜芸
10/25	水	5F 浴・陶芸
10/26	木	D2: 第2サンシャインピラ来園
10/27	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り
10/28	土	5F 浴
10/29	日	
10/30	月	書道
10/31	火	

11/1	水	5F 浴・音楽療法・書道
11/2	木	手芸・陶芸 D2: 外食ドライブ(おくたま路・青梅鉄道公園)
11/3	金	5F 浴
11/4	土	5F 浴
11/5	日	
11/6	月	5F 浴
11/7	火	焼き芋大会
11/8	水	5F 浴・陶芸
11/9	木	D2: のんびりデー
11/10	金	5F 浴・紙芝居作り
11/11	土	
11/12	日	
11/13	月	5F 浴・書道
11/14	火	陶芸
11/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

11/16	木	手芸 D2: ショッピング(あきるの東急)
11/17	金	5F 浴・水彩画
11/18	土	5F 浴
11/19	日	
11/20	月	5F 浴・茶道
11/21	火	喫茶の日
11/22	水	5F 浴・陶芸
11/23	木	D2: 第2サンシャインピラ来園
11/24	金	5F 浴・紙芝居作り
11/25	土	5F 浴
11/26	日	
11/27	月	茶道・書道
11/28	火	陶芸
11/29	水	5F 浴
11/30	木	手芸・陶芸 D2: ドライブ(立川方面)

12/1	金	
12/2	土	5F 浴
12/3	日	
12/4	月	5F 浴・茶道
12/5	火	喫茶の日
12/6	水	5F 浴・音楽療法
12/7	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング(ヤコ-西武立川)
12/8	金	5F 浴・紙芝居作り
12/9	土	5F 浴
12/10	日	
12/11	月	5F 浴・書道
12/12	火	陶芸
12/13	水	5F 浴・書道
12/14	木	手芸 D2: ドライブ(日の出方面)
12/15	金	5F 浴

12/16	土	特養クリスマス会見学
12/17	日	
12/18	月	5F 浴・茶道
12/19	火	喫茶の日
12/20	水	5F 浴・音楽療法・書道
12/21	木	陶芸・クリスマス会 D2: のんびりデー
12/22	金	5F 浴・シニアガ・クリスマス会
12/23	土	5F 浴・クリスマス会
12/24	日	
12/25	月	5F 浴・書道
12/26	火	餅つき大会
12/27	水	5F 浴・陶芸
12/28	木	D2: 第2サンシャインピラ来園
12/29	金	5F 浴
12/30	土	
12/31	日	

1/1	月	子休み
1/2	火	
1/3	水	
1/4	木	初詣(熊川神社)・陶芸 D2: 第2サンシャインピラ来園(おしるこ作り)
1/5	金	5F 浴・初詣(熊川神社)

1/16	火	喫茶の日
1/17	水	5F 浴・音楽療法
1/18	木	手芸・陶芸 D2: のんびりデー
1/19	金	5F 浴・水彩画
1/20	土	ダンス慰問

1/6	土	初詣(熊川神社)
1/7	日	
1/8	月	5F 浴・書道
1/9	火	おやつパ・ケンガ・陶芸
1/10	水	5F 浴・書道・陶芸
1/11	木	D2: ショッピング・ドライブ (ヤコ-青梅・あきる野方面)
1/12	金	5F 浴・紙芝居作り
1/13	土	
1/14	日	
1/15	月	5F 浴・茶道

1/21	日	
1/22	月	書道
1/23	火	
1/24	水	5F 浴・陶芸
1/25	木	D2: ショッピング (日の出イッ)
1/26	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り
1/27	土	
1/28	日	
1/29	月	
1/30	火	陶芸
1/31	水	5F 浴・書道

2/1	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング・ドライブ (ヤコ-西武立川・八王子方面)
2/2	金	
2/3	土	
2/4	日	
2/5	月	茶道
2/6	火	おやつパ・ケンガ
2/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
2/8	木	D2: のんびりデイ
2/9	金	5F 浴・紙芝居作り
2/10	土	5F 浴
2/11	日	
2/12	月	書道
2/13	火	陶芸
2/14	水	5F 浴・陶芸
2/15	木	手芸・陶芸 D2: ドライブ・ショッピング (瑞穂方面・瑞穂モール)

2/16	金	シニアガ・水彩画
2/17	土	5F 浴
2/18	日	
2/19	月	茶道
2/20	火	喫茶の日
2/21	水	5F 浴・音楽療法
2/22	木	D2: 第2 サンシャインピラ来園
2/23	金	5F 浴・紙芝居作り
2/24	土	
2/25	日	
2/26	月	書道
2/27	火	陶芸
2/28	水	5F 浴・書道

3/1	木	手芸・陶芸 D2: ドライブ (耕心館吊し飾り見学・福生河津桜)
3/2	金	5F 浴
3/3	土	
3/4	日	
3/5	月	茶道
3/6	火	おやつパ・ケンガ
3/7	水	音楽療法・書道
3/8	木	D2: ショッピング (あきる野東急・福生河津桜)
3/9	金	5F 浴・紙芝居作り
3/10	土	
3/11	日	
3/12	月	書道
3/13	火	陶芸
3/14	水	陶芸
3/15	木	手芸・陶芸 D2: のんびりデイ

3/16	金	5F 浴・水彩画
3/17	土	
3/18	日	
3/19	月	茶道
3/20	火	喫茶の日
3/21	水	5F 浴・音楽療法
3/22	木	D2: ショッピング・ドライブ (ヤコ-梅郷方面)
3/23	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り
3/24	土	
3/25	日	
3/26	月	書道
3/27	火	陶芸
3/28	水	陶芸・書道
3/29	木	手芸 D2: 第2 サンシャインピラ来園
3/30	金	5F 浴
3/31	土	

## 趣味の会活動報告

生きがいのある快適で豊かな日常生活を送ることが出来るよう、第2サンシャインビラで開催しているクラブ活動を活用して、「趣味の会」を提供し、この会を通じて仲間づくり、老いや障害の受容、心身機能の維持向上、自信の回復、孤立感の解消を図る。書道・手芸・華道・陶芸・水彩画・茶道・アメリカンフラワー・シニアヨガ・紙芝居・音楽リハビリの「趣味の会」の活動をおこなった。

クラブ活動実施時には当日来園されたの多くの利用者が参加し、笑顔の耐えない活気のある時間を過ごして頂けた。特に、シニアヨガ・音楽リハビリについては、普段は体を動かす機会が少ない利用者が活発に参加され、心身のリフレッシュに多いに役立っている。

記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

## 研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修などの参加を推進し、介護職員のスキル向上を目指した。研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

旅費交通費・研修費実績：2,800円

### 【施設設備改善及び備品購入報告について】

- ① 物品購入実績 実績なし
- ② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

平成29年度

高齢者在宅介護支援事業  
事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅介護支援センター加美

## 事業報告書 目次

高齢者在宅介護支援センター加美

事業報告・職員配置 .....	1-3
会議等出席状況 .....	4-5

## 事業報告

### 高齢者在宅介護支援事業（福生市からの委託事業）

事業計画基本方針に則り高齢者支援業務を行った。

近年、精神障害に関する相談、経済的、財産相談、成年後見制度関係、高齢者虐待関係の相談が目立って増えており、非常に困難なケースが増加しているが、地域包括支援センターとの協力により問題解決に取り組んでいる。

地域との関わり（民生委員、消防署、老人会、小地域活動等）だけでなく、保健所、医療機関との連携、他市の支援センターとの協力体制等、これまで以上に広がりを持ったネットワークづくりをしながら、対応に努められた。

高齢者や、その家族、近隣、地域からの多種多様な相談にも、それぞれのケースに応じた適切かつ早期対応に努めている。

また、事業計画重点施策については2-3ページにまとめた。

#### 【職員配置・管理運営】

3.31現在

職名	職員配置人数と氏名（資格）	
管 理 者	1	佐々木 和仁
相 談 員	2	鈴木 敦子 : 介護福祉士 勝田 幸恵 : 介護福祉士

## 福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書 平成29年度年間合計分

### I 安否確認

#### 1- (1) 安否確認件数 (実人数)

	新 規	継 続	月 合 計	年度合計
件 数	124	1011	1135	
				1135

#### 1- (2) 安否確認件数 (延人数)

	訪 問	不 在	合 計
件 数	1978	413	2391

80歳名簿	訪問人数	769	
(訪問人数)	在 家	602	不 在 167
(在家内訳)	元 気	221	相 談 381

### III 相談件数

#### 1- (1) 相談件数 (実人数)

	新 規	継 続	合 計
件 数	630	1259	1889

#### 1- (2) 相談件数及び内訳 (延人数)

	電 話	来 所	訪 問	合 計	
本 人	329	126	1448	1903	
家 族	配 偶 者	48	8	85	141
	実 子	97	11	70	178
	実子の配偶者	18	2	24	44
	そ の 他	33	1	27	61
知 人 ・ 隣 人	3	0	3	6	
民 生 委 員	15	15	21	51	
医 療 機 関	43	0	50	93	
福祉関係機関 (施設)	132	3	51	186	
行 政 機 関	698	15	254	967	
そ の 他	288	3	14	305	
合 計	1704	184	2047	3935	

### II シルバーピア

	新 規	継 続	合 計
件 数	4	49	53

( 内 訳 )	日 中	夜 間
電 話 対 応	60	0
協 力 員 確 認	436	0
訪 問 対 応	131	0
不 在	17	0
合 計	644	0

### 2 相談への対応

情 報 提 供	1889
連 絡 調 整	292
ケ ー ス 検 討	353
状 況 確 認	1889
通 院 ・ 外 出 支 援	60
精 神 的 支 援	1705
合 計	6188

### 3 会議等の実施状況

支援センター連絡会	24
民生委員等情報交換	32
ケースカンファレンス	11
合 計	67

### 4 申請代行内訳

介 護 保 険 申 請	32
各種在宅サービス申請	110
そ の 他	0
合 計	142

( 内 ・ 緊 急 キ ッ ド )

### 5 夜間緊急時の対応

電 話 対 応	0
そ の 他	0
合 計	0

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書 平成29年度年間合計分

5 相談内容等

在宅サービス		施設サービス		その他			
種別	種別	種別	種別	種別	種別		
《介護保険サービス》		介護保険施設相談		151	介護全般に関する相談	1622	
<b>【介護保険関係の相談】</b>	<b>591</b>	その他高齢者施策	養護老人ホーム	147	医療に関する相談	1352	
		・おむつ等の助成	58	その他(有料、ケアハウス等)	150	住宅に関する相談	586
《一般施策サービス》		・緊急通報・火災安全システム	18	計	448	経済的・財産に関する相談	473
高齢者の生活支援事業関係		・福祉バス	117			家族関係相談	575
・寝具類等乾燥消毒サービス	11	・老人杖の支給	42			認知症に関する相談	418
・訪問理美容サービス	18	・救急キット 災害時要援護者	330			消費相談関係	23
		・その他	9			成年後見制度関係	82
介護予防・地域支援支え合い事業		<b>【一般施策サービス合計】</b>	<b>1871</b>			高齢者虐待関係	5
・生きがい活動支援デイサービス	346					シルバーピア関連相談	156
・生活支援ホームヘルプサービス	94	《包括的支援事業》				他担当部署に関する相談	12
・生活支援ショートステイ	101	・介護予防教室	568			その他	5
・徘徊高齢者家族支援サービス	14	<b>【包括的支援事業合計】</b>	<b>568</b>			計	5309
・配食サービス	293						
		《社会福祉協議会サービス》					
高齢者いきいき事業		<b>【社会福祉協議会福祉サービス】</b>	<b>313</b>				
・家具転倒防止装置設置	31						
・自立支援日常生活用具関係	189						
・自立支援住宅改修関係	200						

平成 29 年度 福生市高齢者在宅介護支援センター会議等出席状況

年月日	会議名称等	出席職員
平成 29 年 4 月 21 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 4 月 28 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 5 月 18 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 5 月 23 日	小地域福祉活動福祉地区連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 5 月 25 日	家族介護者教室打ち合わせ	鈴木
平成 29 年 5 月 26 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 6 月 8 日	小地域活動本町 123 会	勝田
平成 29 年 6 月 13 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
平成 29 年 6 月 28 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 6 月 30 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 7 月 21 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 7 月 28 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 8 月 2 日	加美地区個別地域ケア会議	鈴木・勝田
平成 29 年 8 月 8 日	青梅・秋川ブロック会	勝田
平成 29 年 8 月 18 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 8 月 25 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 9 月 22 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 9 月 27 日	家族介護者教室打ち合わせ	鈴木・勝田
平成 29 年 9 月 29 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 10 月 10 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
平成 29 年 10 月 18 日	武蔵野地区個別地域ケア会議	鈴木・勝田
平成 29 年 10 月 19 日	家族介護者教室	鈴木・勝田
平成 29 年 10 月 23 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 10 月 27 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 10 月 27 日	加美地区個別地域ケア会議	勝田
平成 29 年 11 月 9 日	小地域活動本町 123 会	勝田
平成 29 年 11 月 15 日	家族介護者教室	鈴木・勝田
平成 29 年 11 月 17 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 11 月 24 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 29 年 12 月 12 日	青梅・秋川ブロック会	勝田

平成 29 年 12 月 13 日	家族介護者教室	鈴木・勝田
平成 29 年 12 月 15 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 29 年 12 月 22 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 1 月 19 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木
平成 30 年 1 月 26 日	包括・在支連絡会	鈴木
平成 30 年 2 月 2 日	小地域福祉活動福祉地区連絡会	勝田
平成 30 年 2 月 13 日	青梅・秋川ブロック会	勝田
平成 30 年 2 月 20 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 2 月 23 日	包括・在支連絡会	鈴木
平成 30 年 3 月 16 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 3 月 20 日	家族介護者教室反省会	鈴木
平成 30 年 3 月 23 日	包括・在支連絡会	勝田
		以上

平成29年度

指定居宅介護支援事業  
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

## 事業報告書 目次

事業報告・中長期経営計画報告 .....	1
職員配置 .....	1
要介護認定調査件数 .....	2
ケアプラン作成件数 .....	2
研修・会議等出席状況 .....	3

## 事業報告

- 本年度年間延べ1,888件（前年度1,771件）のケアプラン作成業務を行った。月平均にすると、157件（前年度148件）のケアプランを作成した。  
     居宅介護支援収入実績：23,399,561円
- 福生市等からの委託業務である要介護認定調査、介護予防ケアプラン作成受託業務は年間1,278,947円の成果となった。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡方法が確立できた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理することで業務効率を図った。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。

### 【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のと通りの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

### 職員配置（平成30年3月31日現在）

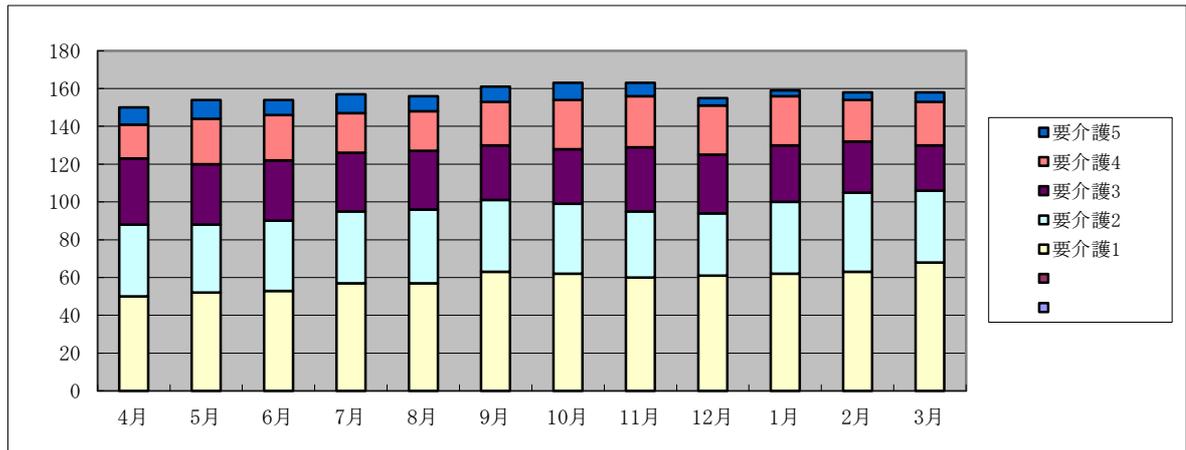
職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）	
センター長	1	佐々木 和仁
管 理 者	1	新橋 和枝
介護支援専門員	7	新橋 和枝（介護支援専門員 管理者兼務） 鈴木 俊哉（介護支援専門員） 得能 千春（介護支援専門員） 中川 祥子（主任介護支援専門員） 大谷 真澄（介護支援専門員） 山下 晶子（非常勤介護支援専門員） 久保 満（非常勤介護支援専門員）

人件費実績：29,533,573円

福利厚生費実績：128,769円

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
													0
ケアプラン作成													1,888
													0
要介護1	50	52	53	57	57	63	62	60	61	62	63	68	708
要介護2	38	36	37	38	39	38	37	35	33	38	42	38	449
要介護3	35	32	32	31	31	29	29	34	31	30	27	24	365
要介護4	18	24	24	21	21	23	26	27	26	26	22	23	281
要介護5	9	10	8	10	8	8	9	7	4	3	4	5	85



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
要支援受託	14	12	12	12	14	15	15	16	15	17	20	23	185

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
認定調査実施件数	15	9	9	6	1	2	0	3	6	9	7	12	79

研修・会議等出席状況

月日	研修名称等	出席職員
4月	福生市介護保険事業者連絡協議会「要介護者への口腔ケアと食事支援について」	新橋・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知 2回	新橋・久保・中川・得能・山下
5月	福生市介護保険事業者連絡協議会「福生市日常生活支援総合事業開始後の状況報告」	新橋・得能・鈴木
	上記、事業所内ミーティングにて周知	新橋・久保・中川・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知 2回	新橋・山下・久保・得能・鈴木
	利用者の近況報告・事業所内周知 支援困難ケースについて	新橋・得能・鈴木・久保・山下
6月	H30以降の介護保険制度 改正セミナー	新橋・鈴木
	福生市地域包括支援センター介護予防講演会「薬局と薬剤師」	新橋
	福生市地域包括支援センター研修会「認知症サポーターステップアップ講座」	新橋・鈴木・得能・山下・中川
	特定事業所集中減算について 集計報告	新橋・久保・山下・鈴木・得能
	利用者の近況報告・事業所内周知 2回	新橋・久保・山下・鈴木・得能
7月	西多摩高次脳機能障害支援センター「失語症理解入門講座」	得能・山下
	公立福生病院「福生病院の多職種連携で退院～在宅生活を始めることが出来た事例発表」	得能・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知 4回	新橋・中川・山下・得能・鈴木・久保
	地域医療連携担当者合同会議研究会の発表内容について	新橋・鈴木・久保・山下
8月	東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター「高齢者虐待対応と権利擁護」「介護サービス事業所での虐待防止について」	新橋
	高齢者権利擁護事業「虐待の芽チェックリスト・セルフチェックリスト」について	新橋・久保・山下・得能・中川・鈴木
	第2 サンシャインビル施設内研修「看取りケアにおける接遇」	山下
	地域ケア会議出席後の事業所内周知・報告	山下・新橋・得能・久保・中川・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知	新橋・久保・中川・山下・得能
9月	東京都介護支援専門員研究協議会「平成29年度ケアマネジメントの質の向上研修会」	新橋
	羽村市福祉健康部「年金制度について」	得能・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知 2回	新橋・得能・中川・久保・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知 支援困難ケースについて	新橋・久保・山下・得能・中川・鈴木
10月	福生市介護保険事業者連絡協議会「看取りについて 死の演習」	新橋
	利用者の近況報告・事業所内周知・支援検討	新橋・中川・久保・山下・得能
	東京都主任介護支援専門員研修 3回	中川
	事業所内、年末年始の対応について	新橋・久保・山下・得能・中川
11月	西多摩保健所主催「神経難病患者の在宅生活を支える」	得能・山下
	利用者の近況報告・事業所内周知	新橋・中川・得能・久保・山下
	高齢者権利擁護事業「虐待の芽チェックリスト・セルフチェックリスト」振り返り	新橋・久保・山下・得能・中川・鈴木
	東京都主任介護支援専門員研修 2回	中川
12月	日の出町包括支援センター「ホスピス学習～ホスピス病棟の取り組み」	新橋
	利用者の近況報告・事業所内周知について	新橋・得能・中川・久保・山下
	福生市介護保険事業者連絡協議会「H30年度介護保険改正説明会」	大谷・得能
	東京都主任介護支援専門員 3回	中川
1月	東京都主任介護支援専門員 3回	中川
2月	福生市地域包括支援センター「若年性認知症の方への支援」	大谷
	利用者の近況報告・事業所内周知 4回	新橋・久保・中川・得能・山下・鈴木・大谷
	東京都主任介護支援専門員	中川
3月	利用者の近況報告・事業所内周知 4回	新橋・久保・中川・山下・鈴木・大谷
	介護報酬改定に伴う事業者説明会 東京都国民健康保険団体連合会	新橋
	羽村市介護認定調査員研修会 羽村市	新橋・山下
	居宅介護支援の改正ポイントと介護支援専門員の実務ポイント	新橋・山下

研修費・旅費実績：118,920円

その他の経費予算額（併設第2サンシャインビルと面積按分等で計上しています）

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第3サンシャインビル  
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事業報告目次

項 目	ページ
事業報告	
1. 事業報告(総括)	1-2
2. 職員構成	2
3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書	3-4
4. 処遇報告	4-6
1) 2F 事業報告・活動報告	
2) 3F 事業報告・活動報告	
3) 4F 事業報告・活動報告	
4) 移動理美容	
5) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告	
5. 厨房事業報告	7-8
6. 医務室利用者健康管理報告	8-10
7. リハビリテーション報告	11
8. 生活相談員・介護支援専門員	12-13
9. クラブ活動実績報告	13-16
10. 年間行事実施報告	17
11. 事務費・固定資産物品報告	17
12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告	18
13. 職員研修報告	19-20
14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告	20
15. 消防訓練実施結果	20-21
16. ショートステイ事業報告	21

## 1. 事業報告（総括）

### 中長期計画について

社会福祉法人福陽会の理念を職員全員が周知し、実践していくことで、入所者様とご家族に信頼される施設として実績を重ねる努力を続けました。

### 中期基本方針について

現在実施していることを委員会や会議等で常に検証し、より優れたサービス体制の構築へ向けてチームケアを進めています。

(1) サービス向上への取り組みの実績としては、全職員がアドボケイトとしての力を持てるよう、利用者様とのコミュニケーションを多く図り、サービスに繋げていけるようになっていきます。各委員会についても積極的に意見交換を行い、業務の見直しと改善・質の高いサービス提供を行う仕組みが定着してきました。

地域交流として「日の出町ハートワークフェア」に参加したことにより事業者間の繋がりができ、日の出幼稚園の園児との交流会を開催することができました。利用者様からも好評価を受け、今後も継続して実施していきます。

ボランティア交流会も昨年度に続き開催することが出来ました。今後も地域交流促進と積極的なボランティア受け入れを行いながら、季節感のある行事を計画・実施していきます。

災害対策については、高齢者施設災害防止講習会、防災対策支援事業研修会への参加や水防災害マニュアルの作成を行いました。今後も訓練計画に沿って訓練を実施し、防災意識を高めていきます。

(2) 組織強化への取り組みでは、新たなユニットリーダーの育成を行いながら適材適所の人員配置、業務の検討、見直しを行いました。

(3) 人材育成・確保への取り組みとして、外部研修や内部研修を充実させ、人材の育成に努めました。また、職員との面談を実施、新人職員とのエルダー・メンター面談も実施しました。新人育成効果表の見直しを行いました。

(4) 経営基盤充実への取り組みについては、三施設利用者情報交換会や日の出町・あきる野市・福生市の事業者連絡会に参加し、様々な情報を把握できるようにすると共に、定期的な訪問や連絡を行いながら、情報収集に努め連携を図ってきました。

### 基本目標について

福陽会の基本理念については、毎日の唱和を継続するとともに統括施設長に来園いただき、職員に対し法人設立当時の思いや理念について語っていただくことで福陽会の職員としての意識の向上を図りました。また、新入職者については、統括施設長の書かれた文章から福陽会理念についての説明を行うことで基本理念の浸透につとめた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行っていく事ができる者が増えています。

### 基本方針について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図ることを目的として事業を行いました。

(1) 利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員1人1人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れるための環境作りに努めました。

(2) 地域社会との交流を深めるため、民生委員やボランティア、地元老人会との交流会を開催し、情報の交換や地域のニーズ及び利用者家族様の動向、希望等を聞き施設運営に反映させました。

(3) 利用者様が施設行事に気軽に参加できるよう、地元ボランティアに協力をお願いし、日常生活に変化と季節感が持てるような施設での雰囲気作り、催し物を工夫し開催しました。

## 29年度の重点目標について

平成 29 年度の介護保険制度形成に対応すべく、より堅固な体制を整えるよう創意工夫を行いました。高齢福祉の厳しい現状においても安定した経営基盤で、利用者のニーズに合った、より良いサービス提供と良質な人材の確保・安定を図り、今後を見据えた施設運営に努めました。統括施設長の思い（法人理念）である「こころある介護」を職員全員が継承し、一丸となって良質なサービスを提供して行けるように努めました。重度化する利用者様の健康的な生活を維持し QOL を高めるため、施設顧問医師の指導の下、他職種協働にて支援を行いました。

稼働率は、特養 98.2%、ショートステイ 64.36%、平均介護度 4.1 となりました。

今後は、職員全員が常に稼働率を意識し、さらに幅広い地域からの利用者獲得が出来るよう、西多摩特養ガイドの活用や居宅支援事業所への営業活動を強化し、ケアマネジャーや相談員との繋がり・連携を密に行っていきます。

また、特養入所を見据えたショートステイの利用者の受け入れを推進していき、安定した稼働率を維持していきます。

3 大行事をはじめ、毎月の外出レクやユニットレク、クラブ活動を通じ、季節感のある行事の提供を行ってきました。新たな試みとして、日の出幼稚園の園児との交流会を開催し、好評をいただきました。

また、地域住民やボランティア、ご家族様に向け「施設の食事を知ろう会」を実施し、利用者様が食べているお食事を召し上がって頂く機会を設けることが出来ました。今後も様々な企画を立案し、実施していきたいと思います。

施設顧問医師を中心に多職種連携を図りながら利用者様、ご家族様のご意向を受け、看取り介護をさせて頂きました。「安心してお任せすることが出来ました。ここで良かった。」等感謝のお言葉を頂き、職員一同励みになりました。

今後も専門職やユニットリーダーを中心に福陽会の理念を具現化できるように経営基盤をしっかりと固めつつ「こころある介護」を実践し、「利用者も職員も笑顔あふれる施設」を目指していきます。

## 2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
施設長		1	
顧問医師			1
産業医			1
副施設長		1	
事務長		1	
事務員		1	2
生活相談員		1(1)	2(2)
介護支援専門員		1(1)	2(2)
介護職員		27	27
医務	医師		3
	看護リーダー	1	
	看護職員	4	2
機能訓練指導員	機能訓練指導員	1	
	P T		1
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	4	5
保守管理・宿直	介助員	1	5

\* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では ( ) 内に記載

人件費実績：323,370,574 円

福利厚生費実績：3,525,293 円

### 3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

#### 委員会

昨年度同様、第1～第4火曜日に委員会を振り分け会議を実施した。職員一人一人も担当の委員会に出席し、責任を持った事で意見も多く挙がってきている。他部署が集まり会議を行う事で、業務改善、ケアの質の向上に繋がっている。

#### 1) 苦情・拘束委員会

毎月、意見箱を確認し、また、直接聞いた苦情に関して話し合い、改善に努めた。

改善に努めた事により、職員の意識向上に繋がった。

身体拘束に関しては今年度も一度も行わず対応した。会議や内部研修を通して、全職員が身体拘束に関する知識を周知した。

#### 2) 行事計画委員会

施設全体でイベントに取り組む姿勢が強まり、成果を上げるよう行事に力を注ぐことが出来た。

次年度も成果を生かし盛り立て、多部署連携を図り施設全体で行事に取り組んでいくようにする。

#### 3) 虐待防止委員会

虐待についての話し合いを他部署も交え行った。対応の仕方を考えながら介助を行っていかねければ虐待になりかねない、と言うことを念頭に置き、支援するよう努めた。

4ヶ月に1度「虐待の芽アンケート」を実施し、職員自身が日々のケアに対する対応を確認出来るようにした。今後も接遇の研修や定期的なアンケートを実施し、虐待防止に努める。

#### 4) 事故防止委員会

各部署の職員が連携を図り、ご利用様が安全に生活を送れるよう配慮を行い、事故・アクシデントが発生しないよう事故防止に努めた。

毎月各フロア担当者が、フロア内で発生した事故・ヒヤリハットの件数時間の集計を行い、事例を一件挙げ、状況・原因・対策の検討をし、再発事故防止に向けて協議を行った。

#### 5) 研修委員会

今年度の目標である体験型の研修を行う事が出来た。

職員に食事形態の違いを理解し食事介助に活かしてもらう様、ペースト食、極刻み食、刻み食を食べ比べしてもらった。食感を体験出来て良かった等の声が職員から多く聞かれた。

研修の様子を写真や映像に収め、講師の職員のスキルアップに繋げる目標は写真を収めるに留まった。検討課題として次年度に持ち越す事になった。

#### 6) 褥瘡予防委員会

毎月1回月初めに褥瘡委員会を開催し各部署からの選任された委員会メンバーにて褥瘡の発生や軽減、高リスクについて対応の統一と状態の検討をおこなった。

体調不良に伴い褥瘡が悪化したり、栄養状態の変化や日々の生活上の問題点での悪化というものもあった。必要時、早期に足浴を行う、清潔を保持できるよう洗浄を増やす等積極的に行う事で悪化を防ぐ等改善もみられていたがフロア職員、他部署全員に褥瘡発生者、高リスク者の連絡が行き届いていなかったことも多く早い対応と持続した対応ができず悪化してしまった例もあった。

今後は連絡ルートをクリアにし対応の統一化を図っていく。

#### 7) 感染症委員会

感染症予防に対し活動計画を立てていたが、本年度は感染症の発症があった。

発症後に検討を行い蔓延防止に努め、拡大には至らなかった。この為、感染症発症時の対応については適切な対応が行なえたと考えるが、発症に至った経緯を含め知識・技術の向上、対応の強化に努めて次年度の活動計画に繋げていきたいと考える。

#### 8) 衛生委員会

職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと労働者の健康管理の維持に努めた。

衛生管理者等による施設内巡回を実施し、職員が仕事しやすい環境整備に努めた。

ストレスチェック制度の施行に伴い、職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。

#### 9) 排泄委員会

排泄委員会にて、それぞれのユニットでの排泄に関する取り組みを発表し、意見交換を行った。それぞれの利用者様の状態に合わせた対応を心掛け、リハビリパンツから布パンツへ移行したり、極力トイレで排泄が行えるよう努めた。また、排泄交換時、オムツや使用した清拭を、利用者様1人ずつ居室にて小分けに袋に処理し、臭気や衛生面の改善を行った。

#### 10) 業務検討委員会

各部署が集まり、業務の改善に向け、話し合いを行ってきた。他部署で関わり、夜間のオンコール対応や、利用者様が外食される際の対応などの見直しを行い、マニュアルの作成を行い、全職員が同じ対応が行えるように努めた。

#### 11) 栄養会議

お食事に関するイベントごとの確認や諸連絡の伝達を実施した。

毎月の体重測定や、採血等の結果についてピックアップし、低栄養のリスクがある利用者様のケアについての話し合いを実施した。希望おやつの日を設定するだけでなく、献立についても新たな取り組みを行い、食事満足度の向上に努めた。

#### 12) リーダー会議

各ユニットの問題点や介護課全体の問題点、取り組みたい事などを議題に出して話し合った。他ユニットの状況を知る事で、お互い刺激し合い、学び合えた。また、新たにユニットリーダーとなった者もあり、ユニットリーダーとしてあるべき姿について再確認を行い、質の向上に努めた。

#### 13) 入浴委員会

入浴介助中の事故を防ぐ為、スロープ・チェアーからの移乗方法を見直した。移動距離を短く、そして、必ず職員2名対応する事を徹底した。それにより、入浴中の事故はなく、安全、快適な入浴をして頂けるように努めた。また、環境面に関しても、排水溝の汚れが目立っていた為、排水溝や、入浴後の掃除も見直し、衛生面に関しても強化した。

#### 14) ボランティア委員会

ボランティアの新規受け入れや連絡調整を行い、利用者様に楽しんで頂ける時間を多く設ける事ができた。29年度は4名の方に新規のボランティア登録をして頂いた。目標としていた、近隣幼稚園との交流を行った。幼稚園児を見て、利用者様達は「可愛い」と涙を流し喜ばれていた。また、普段からお世話になっているボランティアの方々と施設職員の交流会を行った。交流会を行う事で、ボランティア同士、ボランティアと施設職員がより良い関係づくりに繋がった。その他、「施設の食事を知ろう」という会を実施し、地域の方や利用者様のご家族様に施設を知って頂く会を設けた。それにより、施設がより地域に近い存在となったと考える。今後も実施していく。

会議費実績：0円

## 4. 処 遇 報 告

### 1) 2F 事業報告・活動報告

#### (1) あやめユニット

出退勤時の挨拶、コミュニケーションをとることを心掛け、利用者様との信頼関係が構築できるよう努めた。結果、利用者様への信頼関係・理解を深める事が出来たと思う。より良好な関係を築いて行けるよう、これからも継続して行っていききたいと思う。

昼食前にリハビリ体操・口腔体操、テレビのラジオ体操を見ながら一緒に体操を行った。レクリエーションとしてカラオケも行った。次年度はさらに生活が活性化されるよう、一緒に料理ができるようなレクリエーションをしていききたいと思う。

秋に羽村動物園への外出を計画し、実行した。普段は見られないような表情も見ることができ、職員にとってもやりがいのある仕事であった。次年度以降も企画し続けていききたいと思う。

#### (2) さゆりユニット

利用者様やご家族に笑顔で挨拶を行い、丁寧な対応に努めた。

利用者様とコミュニケーションをとり、要望をしっかりと聞きながら個々のケアに努めた。

食事のメニューをホワイトボードに大きく記入し、誰でも分かるようにした。今後も利用者様からの要望に耳を傾け対応していききたい。

利用者様の情報にしっかりと目を通し、対応するよう努めた。今後も職員間で情報を共有化し、スムーズなケアが出来るようにしていきたい。

退所時の忘れ物や紛失がないよう、チェックシートを作成した。洗濯物を干す際はハンガーの色分けを行い、衣類の間違いがないようにした。今後も紛失や忘れ物がないよう工夫していききたい。

### (3) さくらユニット

利用者様に活気ある生活を送ってもらえるようカレンダー作成や、童謡クラブ、音楽クラブに多く参加して頂いた。また体操や生活リハビリ等も多く声掛けし参加を促した。

職員間の情報共有と連携を図る為、ユニット内ミーティングを実施した。また夜勤者から日勤者、日勤者から夜勤者の引き継ぎを決められた時間に行う様徹底した。

### (4) みもぎユニット

ゆったりとした生活を心掛け、利用者の方と少しでも多く接し、声掛けを増やすことで笑顔がよく見られる生活を提供出来た。

利用者の方に寄り添うケアに努めることが出来た。ニーズに沿う対応に関しては、不十分な点もあり課題もあるが、徐々に対応できるようになってきている。

レクリエーションなどの余暇活動があまり行えていなかった。次年度に向けて余暇活動に力を注ぐ。

職員間の連携が取れ、互いに相談を行い情報の共有が行え笑顔にてケアに努めている。次年度はより一層職員が働きやすい環境の整備に努めていく。

## 2) 3F 事業報告・活動報告

### (1) すみれユニット

利用者様が楽しく明るく生活して頂けるよう、天気の良い日はテラスへ出てレクリエーションや体操を行ったり、おやつを食べたりすることができた。また天気の悪い日や気候を考えホールにてカラオケやボーリング・輪投げを行い利用者様からも喜びの声も多く聞かれた。

利用者様の状態を把握するよう、気付いたことや気になること、また問題点などを細かに他職種に報告する事ができた。その事でより早く問題点を解決することができたと思う。また職員同士での状態報告を朝の申し送り時やノートに記載し、全員が把握できるよう努めた。

毎日ホールにて昼食前のリハビリ体操を無理なく行うことができた。また模造紙に歌の歌詞を書き、リハビリ体操後に歌を唄ったり、早口言葉などちょっとしたレクリエーションを取り入れ利用者様に苦痛なく参加して頂けるよう工夫を行った。「今日は体操ありますか」と毎日聞かれる方もおられた。今後も毎日の体操を実施し、楽しんで参加して頂けるようなレクリエーションも取り入れて行けるよう努める。

### (2) つばきユニット

毎日リハビリ体操を行い、利用者様の残存機能維持に努めました。あまり手足を動かさない利用者様も、曲に合わせて動かされるときもあり笑顔も見られ、毎日欠かさず続けて良かったと思う。

活気ある生活をして頂けるようデッキに出て日光浴を行い、気分転換が図れるよう努めました。利用者様と対話する時間も増え、コミュニケーションが多く取れたことで、利用者様の小さな変化にも気付くことができました。職員同士、声掛けや対話を多くし、利用者様1人1人に合った支援が出来るよう、今後も努めていきます。

### (3) つつじユニット

利用者様が毎日お元気で充実した生活を送れるよう、明るく楽しいユニットづくりを目指した。

一人ひとりの個性や身体機能を尊重しながら、出来る事はご自分で行って頂き、過剰介護にならないよう残存機能を生かすケアが出来た。

季節に合わせた貼り絵やレクリエーションを行い、一年を通してユニット内を明るい雰囲気につつじが出来た。

職員の笑顔を絶やさず、ご家族に対しても挨拶をしっかりと行い、利用者様、ご家族共に信頼関係を構築することが出来た。

### (4) あじさいユニット

各行事やフロアレクリエーションに参加され楽しそうにされていた。また花見ドライブでは季節を感じてきれいだったと利用者様も嬉しそうにされていた。

利用者様とのコミュニケーションを多く取り利用者様の訴えを傾聴して信頼関係を深められたと思う。

職員間の連絡が出来ていないことがあったので連絡帳を使用し職員に周知できるように心がけた。次年度も継続して行っていく。

3) 4F 事業報告・活動報告

(1) ひまわりユニット

ご利用者様お一人お一人を大切にし明るいユニットを構築する事が出来た。

手話を練習し、行事で「フラワーガールズ」とグループ名を決め披露した。ご利用者様ご家族様にも喜んで頂き、多くの笑顔を引き出し生活を楽しんで頂きました。

職員間では毎朝の申し送り時にご利用者様のケアについて話し合い、全員で同一の質の高いケアを行った。チームワークを密にしご利用者様中心のケアを行うように努めた。

(2) コスモスユニット

ユニットケアの向上を目指し、利用者様のニーズに耳を傾け、利用者様に合わせた対応を行った。それに伴いプライバシー保護や倫理についても徹底を行った。

利用者様の誤嚥防止、食事摂取量向上の為、食事前に口腔体操を行った。また、手話や手芸等のレクリエーションも多く取り入れ、利用者様に喜んで頂いた。

連絡や報告についても連絡帳の使用強化と口頭での二重の申し送りにより、職員全員が同じ情報を共有できた。

4) 移動理美容

理容が第2・4月曜日の月2回、美容が第1金曜日の月1回来て頂いている。利用者様のご希望によって利用して頂いている。ご家族様、そのご家族様がどの位の頻度で利用されたいか、どの位の長さでカットされたいか等の希望を理容師、美容師に伝え、ご希望に沿うように行えた。

5) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告

勘定科目	内容	金額	勘定科目	内容	金額
介護用品費	オムツ	10,040,547	日用品費	トイレットペーパー、ティッシュペーパー	274,655
	タオル	9,517		ブラシ	184,165
				煎茶	161,956
				その他	693,918
	小計	10,050,064		小計	1,314,694
被服費	寝具設備	3,961,183			
	小計	3,961,183			
			合計	15,325,941	

○給食費実績：26,112,625円      ○介護用品費実績：10,050,064円      ○医薬品費実績：2,770,773円  
 ○日用品費実績：1,314,694円      ○被服費実績：3,961,183円      ○消耗器具備品費実績：390,889円  
 ○保健衛生費実績：1,185,580円      ○車輛費実績：471,535円      ○水道光熱費実績：19,965,355円

## 5. 厨房事業報告

### 《衛生管理・食事提供》

手指の洗浄・消毒や衣服の清潔保持、厨房内の衛生管理を確実に実施した。体調不良時や感染症発生時に備えた連絡経路等のマニュアルや調理過程のチェック体制等の周知も徹底し、安全なお食事を利用者様に提供できる体制づくりに努めた。

衛生マニュアルに従った業務、非加熱食材の取扱方法、加熱温度と時間の徹底を行い、安全なお食事を利用者様に提供することが出来た。

全員で掃除をする時間としてクリーンタイムを導入し、厨房衛生に対する意識の向上を図った。フロアラウンドの強化や嗜好調査を行い、利用者様のニーズに応える献立の作成と調理法の工夫を行った。

利用者様の希望に沿うように希望おやつの日を設定し喫食満足度の向上に努めた。

### 《行事食・麺の日・出前の日・喫茶の日・誕生日・希望おやつ会実施内容》

季節の行事食：月1回(正月は三が日)実施。カード装飾や、盛り付けに工夫を凝らした。行事食は利用者様に特に喜んで頂くことが出来た。今後もバリエーションを増やし、更に利用者様のニーズに応えるようにしていく。また冬の時期には寄せ鍋とおでんを提供し、利用者様から身も心も温まった等の意見を頂き、喜んで頂いた。

麺の日：うどんやそば、ラーメン、冷やし中華やそうめん、スパゲティ、焼きそば等を実施した。

出前の日：鰻⇒形態に合わせて刻んで提供した。寿司⇒原則として米飯の方は握り、粥の方には刺身と粥、極菜・ペーストの方は細かく刻んで提供した。生ものが嫌いな方には、助六での提供も行った。

喫茶の日：毎月第4日曜日に、サックスボランティアの演奏と共にデザートとコーヒーを提供した。

デザートは毎回工夫を凝らし、時には利用者様に手伝っていただきデコレーション等も楽しむことが出来た。

誕生日会：毎月第3水曜日に実施、誕生月の利用者様に事前に招待状をお渡しし、当日は手作りケーキとコーヒー、歌や演奏等を楽しんでいただくことが出来た。

希望おやつ：利用者様から食べたいおやつを伺い提供を行った。ユニットで利用者様に手伝っていただきながら作成した事もあり、大変喜ばれていた。

4月	・ガトーショコラ ・シフォンケーキ(チョコ)	9月	・大学芋 ・ティラミス
5月	・シフォンケーキ(紅茶)	10月	・肉まん ・プリン(栗風味)
6月	・ねりきり ・スイートポテト	11月	・きんつば ・プリン(抹茶)
7月	・ねりきり	2月	・シフォンケーキ ・プリン
8月	・すいか風ゼリー ・ねりきり	3月	・プリン

### 《代替食実施状況》

青魚/魚/鶏/肉/納豆/牛乳/刺激物/カレー/麺/パンその他	他の料理で対応
丼別盛り、あんかけ別盛り、主食おにぎり	盛り付け時に対応

#### 《給食懇談会・厨房会議・嗜好調査アンケート結果》

毎月各ユニットにて給食懇談会を実施し、食事についての意見・要望や、食べやすさ(形状・硬さ等)についてのご意見をいただいた。

厨房会議を毎月必ず行い、その月に発生した取り組み課題をまとめ、部署全体での問題解決に努めた。業務の検討や反省・意見交換を行い、意識の統一を図った。また、給食懇談会の内容も報告し、業務改善の参考とした。

調理ノートの作成を行い、調理法の統一を図り、誰が調理しても同じ出来栄えになるように努めた。

#### 《療養食・栄養ケアマネジメント実施状況》

医師の指示のもと、療養食が必要な利用者様に提供を行った。献立や調理を工夫し、なるべく常食と差異を感じずに、おいしくお食事が提供できるよう努めた。

多職種と連携して利用者様ひとりひとりの状態を把握し、適切にスクリーニング、アセスメント、モニタリングを実施することが出来た。低体重の利用者様数は、引き続き前年度と比べ改善がみられた。

## 6. 医務室利用者健康管理報告

### 【年間目標】

(1) 利用者様の日々の状態観察や関わりを持ち、変化や異常に気づき利用者様が過ごしやすい環境の整備に努める。

#### 実施方法と内容

- ①必要に応じて観察(体温・脈拍・呼吸・血圧・SpO<sub>2</sub>等の測定)を行い異常の早期発見に努める。状態変化時・新入所時・退院時などの状況変化時も定期的に観察を行い異常の早期発見に努める。
- ②医務室内での連絡・報告・相談を密にとり身体的・精神的変化に留意する。
- ③他職種との連携を図り、利用者さまが安定し過ごしやすい生活を維持できるように変化に注意、観察し以上の早期発見に努める。
- ④高齢者の身体的・精神的変化を理解し、起こりやすい障害や室病の悪化を未然に防げるよう観察、早期発見に努める。

年間目標(1)に対し、担当看護師や、担当不在時のフォロー看護師が情報を共有する事で状態変化時の対応が適切に行えたと考える。また、日々利用者様との関わりを持つことで変化に気づき早期発見に繋がったと考える。この為、次年度も利用者様との関わりを大切にし異常の早期発見に努めていきたいと思う。また、他職種との連携を図り情報の共通の認識を行う事で看護師が関わっていない時間帯の情報収集を行なう事ができ適切な対応の検討に繋げることが出来たと考えるが、今年度は検討事項や共通認識の部分で不足している点があった。今後も担当看護師が中心となり他職種との連携を密にとる必要があると考える。

(2) 日々の業務終了後に日々業務内容、処置、物品補充を振り返る事で業務の円滑を図ると共に業務の見落としを予防する。

#### 実施方法と内容

- ①要物品補充を業務終了後に必ず行う事で、次に使用するスタッフが円滑に業務を遂行できるように努める。
- ②業務内容、行った処置などをその日に振り返り、記録やスタッフ間で共有する事で、業務の見落としを予防することに努める。

年間目標(2)に対して、目標に上げ実践を促して行ったがまだ業務終了後の物品の確認に対しては意識が低い状態がみられるので、次年度も継続実施し円滑な業務が行なえるように意識付けを行う。業務内容に対しての伝達事項は適切に行える状態であると考え。申し送りノートの使用や口頭での伝達等、眼や耳など記憶に残る方法を考え今後も統一した看護の提供が行なえるように努めて行く。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4月	9名	2名	0名
5月	7名	0名	0名
6月	6名	5名	1名
7月	6名	3名	1名
8月	3名	1名	0名
9月	8名	2名	0名
10月	7名	3名	2名
11月	9名	1名	1名
12月	5名	3名	1名
1月	9名	3名	1名
2月	11名	2名	0名
3月	9名	2名	2名
	年間通院者数 89名	年間入院者数 27名	年間退院者数 13名

3月31日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	7名
点滴施行者	3名
血糖測定者	0名
在宅酸素使用者数	0名
常時、口腔・鼻腔内からの 喀痰吸引が必要となる利用者	1名
褥瘡処置施行者	7名
褥瘡以外の皮膚処理施行者	28名
ターミナルケア対応者	13名
合計	59名

平成29年度死亡退所者

入院先での死亡者	11名
施設内での死亡者	1名
施設内ターミナルケア対応 死亡者	4名
合計	16名

(3) 終末期をその人らしく安らかに迎えられるような援助に努める。

実施内容と方法

- ①苦痛の緩和に努める。
- ②精神的な安定を図る。
- ③定期的なバイタルサインを実施し、医師との連携を図り家族に情報提供を行う。
- ④他職種との連携を図り、食事・水分・排泄・睡眠等の管理を行う。

年間目標 (3) に対し、看護の視点から安らかな生活が送れるように関わりを持つことが出来てきていると考えるが、その人らしい生活については安全に配慮しながら希望に沿ったケアの提供を行うには、今後も他職種と意見を交わし合い実践につなげていく必要があると考える為、次年度も継続していきたいと思う。又、今後も苦痛の緩和を図り他職種が統一したケアが実践できるように助言を行い安楽に過ごせるように努めていく。また、家族との連携をはかり、家族の思いに留意し対応を行っていく。

(4) 感染症発症予防のため活動・指導を行い、蔓延予防に努める。

実施方法と内容

- ①職員の感染症予防に対する知識向上を図るために、感染症委員と連携し適宜 指導・研修を率先して行う。
- ②一処置・一手洗いを徹底し、二次感染の予防に努める。
- ③他職種と連携を図り、食事・水分摂取状況を把握し個々に合わせた対応を検討し、摂取できる環境を整え免疫力の維持・向上に努める。
- ④換気・湿度調整などの環境整備を行うことで感染症発症の予防に努める。
- ⑤利用者様の日常生活状況を観察し、感染症発症の兆候の早期発見に努める。
- ⑥医師との連携を図り、簡易キットを使用し感染症の有無の判定を速やかに行い適切な対応を開始できるように努める。
- ⑦感染症発症時は、状況を把握し速やかに対応を実施する。又、他職種へ情報提供し連携を図る。

年間目標 (4) に対して、職員への知識・技術の向上については産業医による指導や感染症委員からの研修が実施されている事や、感染症発症時の速やかな対応が行えている事から向上に繋がっていると考え。今後も産業医の指導内容や感染症研修会にて知識・技術の向上出来るように努めて行く。

今年度は感染症発症が 2 件あり蔓延には至らなかったが、感染経路が明らかになっていないことから今後も職員や面会者の状態把握に努め、感染症予防に努める。

次年度も感染症蔓延の為に知識・技術の更なる向上に努め、他職種連携のもと速やかな対応が実践できるよう情報提供や指導的立場で取組みを行っていく。

(5) 褥瘡予防に重点をおき、他職種との連携を図り指導を行っていく。

実施方法と内容

- ① 入所時や 3 ヶ月に一度褥瘡アセスメント表を作成しリスクを把握する。また、褥瘡ハイリスク者に対しては、個別の計画表を作成し他職種との連携を図り褥瘡予防に努める。
- ②職員の褥瘡予防に対する知識向上を図るため、適宜 研修・指導を行う。
- ③加齢による身体的変化への意識向上に努め、バリア機能維持に対する取り組みをする。

年間目標 (5) に対し、研修や指導を実践しているが、褥瘡発生者がいるため今後も褥瘡のメカニズムについて指導を行っていく必要があると考える。

又、アセスメントを実施を活用し、他職種に情報提供を行いリスクを把握したうえでケアに努める事が出来るようにすることが必要と考えるため次年度に繋げていく。

体位変換やポジショニングについては除圧に繋がっていない部分がある為、今後も一人一人に合った体位を検討し対応に活かす事で褥瘡予防に努める。

## 7. リハビリテーション報告

### (1) 総括

平成 29 年度リハビリテーションにおいては、安全で無理のない訓練の実施と妥当性のある個別機能訓練計画の策定に重点を置いた。利用者の既往歴・現病歴の把握、事前のバイタルチェック、他職種との連携などにより、安全性を確保した。また、医師、理学療法士の指導の下、利用者の心身の状態、施設での生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指した。

### (2) 実施事項

- ② 理学療法士による評価・プログラム作成
- ③ 節可動域訓練
- ④ 基本動作訓練
- ⑤ 筋力訓練
- ⑥ 温熱療法
- ⑥ 体位交換等ワーカーへの指導

### (3) 結果

- ・ 関節可動域の維持・拡大
- ・ 基本動作能力の維持・向上
- ・ 疼痛の軽減

リハビリテーションの過程においても大きな成果が得られた。信頼関係の構築と適切なコミュニケーションにより、法人理念に掲げられる利用者様の「個性の尊重」「希望と生き甲斐」に繋げることができた。利用者様の前向きな発言や笑顔、頑張る姿が多く見聞きされるようになった。以下に機能の著明な改善を見た事例について紹介する。

- ・ 外出時車への乗り移りが楽になった例。

立ち上がり訓練やシルバーカーでの歩行訓練を行っているご利用者様について、ご家族との外出の際車への乗り移りが今までより楽にできるようになったと実感されている方がいらっしゃった。能力の向上を実感した事で、居室から食席までの移動もシルバーカーで行いたいと、リハビリへの意欲も更に高まっている。

### (4) 課題

リハビリテーションにおける著明な効果はご本人の「やる気」に担う部分が大きいものである。「やる気」という強い意志を持てる利用者様は決して多く存在はしない。しかし、介入等コミュニケーションの構築により、利用者様が積極的に身体を動かしたくなる環境は作れると思われる。この環境作りをしっかりと行いたい。

また、リハビリテーションとは特別な訓練のみを指すものではなく、生活活動すべてに付随できるものである。さらに、リハビリテーションは身体機能の改善のみを目指すだけではなく、個性を尊重したより良い生活（QOL 向上）を目指すものでもある。このような広い枠組みでリハビリテーションを捉え展開していくこと、生活の全ての場面において、リハビリテーションを行う事が可能であり、そうした取り組みの積み重ねがご利用者様の身心の能力維持・拡大に繋がるものとする。

さらには、ワーカーに対して体位交換やポジショニング、シーティング等の指導を行い利用者様に安楽な姿勢が保持出来るようにする。安楽な姿勢により体圧の除圧をし褥瘡の予防を図りたい。

## 8. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

### 1、利用者様支援、多職種連携の調整役

福陽会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置して、日頃から利用者様へのご様子や状態確認の声掛けや観察を行い、介護現場職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署、また、ご家族からも利用者様の情報を集めて各部署へ発信し、お一人おひとり利用者様の環境を整えていくよう努めた。生活相談員がユニット内を回り、利用者様へ声掛けや職員から情報ももらい利用者様のご様子を確認して、ご本人のニーズを把握する。その情報を多職種でアプローチできるように調整を行い、解決できるよう支援を行った。また、利用者懇談会を適宜実施して、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けた。徐々に各部署の情報の共有の流れや形が整ってきたため、次年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有をうまく行い、利用者様へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は医務より行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底をして、より良い多職種連携のシステムを作っていく。

### 2、ご家族、施設間調整

施設と利用者様ご家族との橋渡し役として利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族との関係調整役として動いたことで、それぞれのご家族より安心して利用者様を任せていただいた。また、信頼関係も築けており施設行事に参加して下さるご家族や、ご本人の状態変化時等には面会に来て下さり、病院等への付き添いにも行って下さるご家族が大多数おり、ご家族と協力してご本人の生活を支援できた。今後もご家族への連絡等をしっかり行い、安心していただけるよう努めていく。医療面でのご家族への連絡は医務より行う体制をとっているため、今後も細かく連携を行っていく。

### 3、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方が相談にいらした時に、その方にとって当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、まずその人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、利用者様入所時にはご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有してケアができるようにした。

利用者様が施設へ入所する前の事前面接を近隣の場合は徐々に行うことができ、今後も可能な限り、相談員と多職種にて事前面接を実施していき、入所前の情報共有を進めていく。

### 4、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に各フロアの相談員が職員のスーパーバイザーとなり、フロアをラウンドする際等に利用者様に対するケアや対人への態度等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役としても担えた。

### 5、営業について

営業活動を通して、近隣の事業所との関係性も強まっているように感じる。また『西多摩特養ガイド』の設立もあり、都区内からの問い合わせや見学、申し込みも増えてきて、対応させていただいている。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に一言付け加えたり、施設見学などは随時承り、施設をアピールすることに努めた。その結果、「色々なところを問い合わせたけれど、ここまでやってくれた施設はなかった。」等の声をご家族よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

#### ① 入所時面接について

入所時に面接を行い、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。24時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていた。入所時に把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

#### ② ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族・ご本人に説明・同意をしていただいた。そして1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活を送る

ことが出来るよう、新規プランを作成した。またADLの変化が著明に表れた時には、緊急カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成すると共に支援できるように努めた。また、目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規プランに関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケアに入った方に関しては、状況把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成することになった。

### ③ モニタリングについて

1か月ごとに支援経過としてモニタリングを行い、ご利用者様の状態を把握していた。介護職員は『ちょうじゅ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ちょうじゅ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

### ④ ケース会議について

毎月第2水曜日・第3火曜日・第4火曜日の午後に開催予定とし、ケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をして、ケース会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握。プラン作成に繋げた。またケース会議のコーディネート・進行して、各職種の専門性を尊重するようにまとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

### ⑤ 介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に話をし、利用者のニーズに沿えるように注意を払っていった。

今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めていきたい。

## 9. クラブ活動実績報告

### ① クラブ活動について

出来るだけ多くの方に参加していただけるよう声掛けに努め、楽しいひと時を過ごしていただけたと思う。特養入所の利用者だけではなく、ショートステイの利用者の方にも、楽しい時間を過ごしていただけるよう努めた。

趣味・嗜好を継続して行えるよう様々な状況を考慮し、利用者の希望に出来るだけ添うよう努めた。又、ご自身の得意とする力を発揮していただき、自信を持って積極的に参加していただけるよう支援した。参加してみたいと興味を持った活動には参加していただき、新たな楽しみを感じていただけるよう努めた。クラブ活動に参加することで、季節や環境の変化を感じ、他者との交流を図りながら楽しい時間を過ごしていただけるよう努めた。

継続してクラブ活動に参加されている方は、活動日が楽しみと言われ、ほぼ満足していただけたように思う。

### ② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華道	根守 和子先生
茶道	片岡 明美先生・お弟子様2名
書道	石井 亮子先生
手芸	福田先生 他2名
陶芸	岡部 貴久子先生 他2名
音楽	澤田 康次先生
童謡	谷津 恵理子先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	21回	参加延人数	412名	平均参加人数	21名	担当：井上
【活動報告】						
1. 第2・第4金曜日に活動						
2. 季節ごとに咲く花を楽しみながら季節感を感じていただけた。						
3. 活動を通して利用者間での助け合いや、他の方の生けた作品を見ながら交流をもつことが出来た。 又、先生にご指導いただきながら先生とのコミュニケーションを図る事が出来た。						
4. 施設の文化祭や地域の文化祭に出店していただく事で喜びと励みを感じていただけたと思う。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	季節の花を生ける		10月	季節の花・施設の文化祭用の作品		
5月	季節の生け花・フラワーアレンジメント		11月	地域の文化祭に出品・季節の花を生ける		
6月	季節の花を生ける		12月	フラワーアレンジメント・お正月用生け花		
7月	〃		1月	季節の花を生ける		
8月	活動無し		2月	〃		
9月	季節の花を生ける		3月	〃		
職員担当フロア：3F西						

茶道クラブ活動報告						
活動回数	21回	参加延人数	253名	平均参加人数	12名	担当：柴田
【活動報告】						
1. 第2・第4水曜日に活動						
2. 先生のご指導のもと、参加者がお手前をし、お抹茶の味と、香りを楽しんでいただけた。 お手前で次の段階に進める方は工程を増やして行った。						
3. お茶と季節感のある和菓子をいただきながら、和やかで穏やかな時間を過ごしていただく事が出来た。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	先生のご指導のもとお手前をする		10月	先生のご指導のもとお手前をする		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：3F東						

書道クラブ活動報告						
活動回数	24回	参加延人数	299名	平均参加人数	12名	担当：清水
【活動報告】						
1. 第1・第3土曜日に活動						
2. 清書をした作品を参加者に見ていただき、前回の清書した作品との講評を行いました。徐々に上達される喜びと、励ましの言葉を掛け合いながら交流を図ることが出来た。						
3. 施設と地域の文化祭に出品し外部の方に見ていただく事で、今後の喜びと励みになった。						

【月別活動報告】			
月	内容	月	内容
4月	お手本をもとに前回の課題練習	10月	施設・地域の文化祭の作品練習・仕上げ
5月	お手本をもとに前回の課題練習・清書	11月	うちわと写真撮影・新しい課題の練習
6月	課題の清書・合評会	12月	新しいお手本をもとに練習・清書
7月	新しいお手本をもとに練習・清書	1月	新しいお手本をもとに練習・清書
8月	うちわに書くための練習	2月	仕上げの清書・合評会
9月	うちわに書くための練習	3月	好きな事態を選んでの練習

職員担当フロア：2F東

手芸クラブ活動報告						
活動回数	1回	参加延人数	20名	平均参加人数	20名	担当：井上
【活動報告】						
1. 年3回の活動予定でしたが、先生の都合により活動休止となりました。						
2. 手芸材料を使用して、個性豊かな作品作りを楽しんでいただけた。						
3. 参加者と交流を図りながら、手作り作品の完成に満足感を感じる事が出来た。						
【月別活動報告】						
月	内容			月	内容	
4月	活動なし			10月	ひまわりの貼り絵	
5月	〃			11月	活動なし	
6月	〃			12月	〃	
7月	〃			1月	〃	
8月	〃			2月	〃	
9月	〃			3月	〃	

職員担当フロア：4階

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	5回	参加延人数	102名	平均参加人数	20名	担当：中嶋
【活動報告】						
1・不定期 1回/月の予定でしたが施設の感染対応と、先生の体調不良により活動休止となりました。						
2・粘土に触れ土の感触を感じながら、個性豊かな作品を作成することが出来た。						
3・先生・参加者と交流を取りながら、手作り作品の完成に満足感を感じる事が出来た。						
【月別活動報告】						
月	内容			月	内容	
4月	活動なし			10月	小鉢（薬味入れ）の作成	
5月	〃			11月	活動なし	
6月	フリーカップの作成			12月	〃	
7月	葉っぱを押し当てて作るお皿の作成			1月	〃	
8月	小さな花器と剣山の作成			2月	〃	
9月	文化祭バザー用のお皿その他の作成			3月	〃	

職員担当フロア：4F

音楽クラブ活動報告						
活動回数	20回	参加延人数	641名	平均参加人数	32名	担当：清水・井上
【活動報告】						
1. 土曜日午後 1～2回/月						
2. 発声練習で、大きな声を出す事により、腹筋や口腔体操にもなり、自然に声を出すことが出来た。						
3. 馴染みの有る曲や、初めて唄う曲・懐かしい曲等、様々な思い出の有る歌を皆さんと楽しく歌う事が出来た。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	発声練習・新曲の練習・前曲の復習		10月	発声練習・今までの課題曲の復習		
5月	発声練習・新曲の練習・今までの課題曲のリクエスト曲		11月	発声練習・今までの課題曲の復習		
6月	発声練習・今までの課題曲の復習		12月	発声練習・今までの課題曲の復習		
7月	発声練習・今までの課題曲の復習		1月	発声練習・今までの課題曲の復習		
8月	発声練習・新曲の練習・前曲の復習		2月	発声練習・今までの課題曲の復習		
9月	発声練習・今までの課題曲の復習		3月	発声練習・今までの課題曲の復習		
職員担当フロア：2F西						

童謡クラブ活動報告						
活動回数	20回	参加延人数	354名	平均参加人数	17名	担当：萩原
【活動報告】						
1. 第1・第3金曜日に活動						
2. ピアノ講師によるピアノ演奏で、童謡を中心とした歌を唄った。						
3. 良く唄った童謡や季節を感じていただく童謡等、ピアノの演奏で楽しい時間を過ごしていただけた。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	季節感を出して、春の歌を唄う		10月	季節の曲の歌を唄う		
5月	子供の日の歌		11月	秋の歌を中心に唄う		
6月	初夏にちなんだ季節の歌を唄う		12月	クリスマス・お正月を中心とした曲の歌		
7月	季節の歌を唄う		1月	懐かしの童謡を唄う		
8月	活動なし		2月	懐かしの童謡を唄う		
9月	懐かしの童謡を唄う		3月	ひな祭り・春を中心とした曲を唄う		
職員担当フロア：2F東						

#### フラサークル

・活動日は不定期で行った。自由参加で1回の活動で15名～20名程の参加でした。

上肢のリハビリを兼ねて、ハワイアン曲に合わせハンドモーションの意味を説明しながら楽しく踊り、参加者にはレイを掛けてハワイに居る雰囲気を感じていただいた。

#### セラピー犬とのふれあい

・活動日は不定期で行った。セラピー犬との触れ合いを希望される方には、実際にセラピー犬に触れて、癒しを感じていただけた。会うのを楽しみに待っていて下さっている方もおり、セラピー犬との触れ合いで自然な笑顔を見ることが出来た。

クラブ活動費実績：1,317,081円

## 10. 年間行事実施報告

### 第3サンシャインビル

#### 平成29年度「年間行事計画実施表」

日時	曜日	行事名	内容
4月22日	土	観桜会	4階テラスにて演奏、太鼓、カラオケを楽しむ。
5月18日	木	運動会	地域交流室にて利用者様対象でユニットごとにチームに分け競技を行う。
7月22日	土	納涼祭	地域交流室、屋外スペースにてベリーダンス、よさこい盆踊りを楽しむ。
8月16日	水	夕涼み会	屋外スペースにて利用者、職員のふれいあいの場とし花火をして楽しむ。
9月16日	土	敬老会	地域交流室にて式典。大正琴演奏を楽しむ。各ユニットで祝膳。
9月24日	日	八幡神社 例大祭	地域イベントに参加し地域交流が行うことが出来た。
10月14日	土	敬老会	日の出町の敬老会に参加。
10月28日	土	文化祭	クラブ作品展示、歌手による歌披露、落語、演奏、茶道を楽しむ。
11月11、12日	土	文化祭	日の出町の文化祭に参加。
12月		クリスマス会	各ユニットで計画しクリスマス会を行い楽しむ。
1月2日	月	元旦式典	地域交流室にて式典。各ユニットで祝膳。
1月1・2・3日		初詣	八幡神社、熊川神社に初詣に行く。
1月10日	水	餅つき	地域交流室にて餅つきを行い楽しむ。
2月3日	土	豆まき	各ユニットに鬼が周り豆まきを行い楽しむ。各ユニットで祝膳。
3月3日	土	ひな祭り	各ユニットで祝膳。

行事費実績：1,190,729円

## 11. 事務費・固定資産物品報告

### 事務費報告

○事務消耗品費：4,171,310円  
 ○通信運搬費：724,026円  
 ○手数料：5,191,132円  
 ○土地・建物賃借料：50,000円  
 ○渉外費：123,160円

○印刷製本費：389,659円  
 ○広報費：1,808,856円  
 ○保険料：506,502円  
 ○租税公課：208,980円  
 ○諸会費：225,600円

○修繕費：592,142円  
 ○業務委託費：7,233,321円  
 ○賃借料：3,543,048円  
 ○保守料：3,068,328円  
 ○雑費：1,723,145円

## 12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

### 自治体への事故報告

	転倒	転落	その他	計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	1	1
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	1	0	0	1
12月	0	0	1	1
1月	1	0	0	1
2月	2	0	1	3
3月	2	0	0	2
合計	6	0	3	9

### アクシデント報告

	転倒・転落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4月	8	0	0	0	8
5月	1	0	0	2	3
6月	2	0	1	3	6
7月	4	0	1	2	7
8月	6	1	0	2	9
9月	3	0	0	1	4
10月	4	0	0	1	5
11月	6	0	2	2	10
12月	7	0	1	1	9
11月	4	0	0	9	13
2月	5	0	0	1	6
3月	1	0	2	3	6
合計	51	1	7	27	86

### ヒヤリハット報告

4月	20
5月	18
6月	11
7月	15
8月	10
9月	15
10月	8
11月	14
12月	16
11月	20
2月	32
3月	15
合計	194

### 13. 職員研修報告

#### 【外部研修】

研修日	研修内容	参加者
4月27日	要介護者に対する口腔ケア・摂食支援について	鈴木あけみ
5月11日	第3回特定給食施設栄養管理講習会	木村公紀
5月12日	平成29年度第3回特定給食施設栄養管理講習会	木村公紀
5月17日	増田屋 創業50周年記念 春の食品フェア	木村公紀
7月24日	西多摩保健所秋川地区特定給食研究会	木村公紀
8月18日	施設職員向け福祉用具講習会	成田勝美 栗野恵美 伊沢利恵
8月28日	西多摩保健所秋川地区特定給食研究会	木村公紀
9月7日	平成29年度 指定更新事業者研修会	齋藤澄子
10月4日	施設ケアマネのためのステップアップ研修 「ケプランとは…？」を今一度考える	中嶋弘美 石川総恵
10月16日	栄養管理講習会	木村公紀
10月30日	西多摩保健所秋川地区特定給食研究会	木村公紀
11月10日	西多摩保健所秋川地区特定給食研究会	木村公紀
11月15日	ショートステイ情報交換会	中嶋弘美
9/18～11/16	平成29年度第1期 東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	柴田則子
12月18日	西多摩保健所秋川地区特定給食研究会	木村公紀
2月1日	認知症の方への食のサポート	木村公紀
2月8日	高齢者のフレイル対策への栄養面からのアプローチ 事業研修会	木村公紀
2月15日	平成29年度 接触嚥下機能支援事例検討会	木村公紀
3月9日	西多摩保健所特定給食協議会合同研修会	木村公紀
3月9日	決算初心者編（会計ソフト操作説明）	小澤俊太郎
3月16日	平成29年度 生活相談員研修委員会 全体会	中嶋弘美
3月19日	決算法人説明会	小澤俊太郎
3月22日	介護報酬請求事務に関する研修会	上沖早紀

#### 【内部研修】

開催月	研修内容	講師
随時	新人職員研修	
4月	褥瘡予防	機能訓練指導員（小倉）
5月	ターミナルケア	齋藤施設長
6月	事故防止安全対策・緊急時の対応	成田（介護職員）
7月	感染症について	桶田（看護職員）
8月	ケアプラン・記録	中嶋（相談員）
9月	身体拘束・人権擁護	伊沢（介護職員）
10月	虐待防止	栗野（介護職員）
11月	認知症理解	篠崎（介護主任）
12月	感染症について	竹田（看護職員）
1月	事故防止安全対策	菅野（介護職員）
2月	個人情報・プライバシー保護	小澤（事務長）
3月	メンタルヘルス	高崎（看護職員）

※毎月 福陽会理念に対する研修を行う

開催月	ユニット単位対象 研修内容	担当者
5月	食事介助	木村（管理栄養士）
7月	入浴介助	入浴委員会
9月	体位交換	小倉（機能訓練指導員）
11月	口腔ケア	外部（アイ・デンタル・オフィス）
1月	排泄介助	排泄委員会
3月	接遇マナー	篠崎（介護主任）

旅費・研修費実績：115,398円

#### 14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告

平成29年度もボランティアや慰問の方々を社会資源として、積極的にボランティアの受け入れを行い、新たにボランティア登録して頂いた方や定期的に来て下さる方など、活動者も増えてきている。

日の出幼稚園との交流では、子供達の催し物に、涙を流しながら喜ばれている利用者様も多くおり、とても良い機会となった。今後も、ボランティア・慰問の積極的な受け入れを行い、社会福祉協議会とも連携をとり、地域に根差した施設を目指していく。

地域交流室の開放についても日の出町ニュースを語る会や卓球連盟、インディアカなどのサークル活動の場として提供した。

##### ●新規のボランティア活動登録者

豊島道子様（草むしり・傾聴）

井上和子様（傾聴）

船木明志様（傾聴）

よろずシアター様（紙芝居・絵本・歌・寸劇など）

#### 15. 消防訓練実施結果

平成29年度は、震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。また寝たきりの利用者についても積極的に取り組む意識が出てきている。職員全体に意識付けが出来た。また、消防訓練参加者チェック表を作成し、一人でも多く参加してもらうようにした。

##### 【29年度訓練内容】

実施日	訓練種別	内容
4月	消火通報訓練	消火器及びスプリンクラー設備の取扱い訓練・119番通報要領訓練 秋川消防署職員による指導を受け訓練を行った
5月	自衛消防訓練	秋川消防署主催の自衛消防審査会に参加するための訓練 非常に熱心に訓練に取り組んだ
6月	自衛消防訓練	同上 消防審査会にて第3位をとる事が出来た
7月	防災ビデオ上映	災害についての意識付けを行う 休憩室にて上映を行い、多くの職員への意識付けが出来た
8月	総合訓練 (夜勤帯想定)	地震・火災を想定した一連の訓練 限られた人数しかいない事を想定し訓練を行った
9月	総合訓練 (日勤帯想定)	地震・火災を想定した一連の訓練 日勤帯の訓練、指導を行った

10月	消火通報訓練	消火器及びスプリンクラー設備の取り扱い訓練・119番通報要領訓練 参加者全員で消火器を使用した訓練を行った
11月	避難訓練 (日勤帯想定)	寝たきりの利用者を想定し、毛布・タオルケット等を使用した訓練及び応援体制の訓練 秋川消防署職員による指導を受け訓練を行った
12月	総合訓練 (夜勤帯想定)	地震・火災を想定した一連の訓練 総合訓練を重ね、実践に備えた
1月	避難訓練 (夜勤帯想定)	寝たきりの利用者を想定し、毛布・タオルケット等を使用した訓練及び応援体制の訓練 多くの職員が参加し、訓練に取り組んだ
2月	防災ビデオ上映	災害についての意識付けを行う 休憩室にて上映を行い、多くの職員への意識付けが出来た
3月	総合訓練 (夜勤帯想定)	地震・火災を想定した一連の訓練 限られた人数しかいない事を想定し訓練を行った

## 16. ショートステイ事業報告

ショートステイの受け入れに関して、今年度も前年度同様、施設独自の売りを作って営業活動に励んだ。土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族様の負担軽減を図るように努めた。その結果、ご利用者様・ご家族様・担当ケアマネジャーより利用しやすいなどの声を多くいただいた。営業活動等で色々な事業所との顔つなぎも出来て、今まで関わった事のない事業所からの問い合わせや、新規利用も増えてきたように感じている。しかし稼働が中々伸びていないのが現状である。繰り返し利用して下さる利用者様の獲得は出来ているが、近隣の特養や老健等多くあるため、ショートステイ専門10床を埋めていく事は難しい状況である。そのため今後も施設の『使いやすさ=売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めて行きたい。

ショートステイ利用後、ご利用者様やそのご家族様が施設内の生活を気に入られ、特養入所枠へ申し込みをされ、数日単位より週単位で利用される方も多くいるため、特養入所を見据えたご利用者様のショートステイの受け入れも推進していき、稼働率のアップを図って行きたい。

### 平成29年度稼働率

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80.0%	74.2%	72.0%	68.7%	84.2%	70.0%

10月	11月	12月	1月	2月	3月
66.8%	43.7%	35.5%	49.7%	47.9%	78.4%

介護報酬収入等年間実績 32,342,258円

平成 29 年度

指定訪問介護事業  
指定介護予防訪問介護事業  
指定居宅介護(障害者自立支援法)  
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)  
事業報告書

社会福祉法人福陽会  
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーション サンシャインビラ 事業報告書目次

事業報告・中長期経営計画達成率.....1

研修報告.....2

職員配置.....2

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行った。

サービス提供時間数は本年度延べ 25,930 時間（前年度 25,770 時間）、派遣回数延べ 29,461 回（前年度 28,172 回）、月平均にすると 2,161 時間（前年度 2,147 時間）、2,455 回（前年度 2,347 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 987 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 89 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 79 時間、派遣回数延べ 80 回、月平均にすると 7 時間、7 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 83 時間、派遣回数は延べ 167 回、月平均では 10 時間、訪問回数は 14 回、利用者数は現在 1 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けた。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていった。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めた。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していく。

#### (1) 中期経営計画(H25 年度～H29 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

### 研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月24日	新人研修 訪問先への実施研修 介護における自立支援 介護保険制度 責任者同行実施研修	15
5月29日	現任訪問介護員(3年目) 訪問先への責任者同行実施研修 併設の特養、デイサービス現場研修 防犯について	17
6月26日	薬について 事例検討	15
7月24日	食中毒について 事例検討	10
8月28日	認知症について 事例検討	16
9月25日	高齢者の人権(権利擁護・虐待) 事例検討	20
10月23日	プライバシー保護・職員倫理・法令順守 事例検討	21
11月27日	介護現場での状況観察と緊急時の対応	15
12月25日	訪問介護員の接遇 介護事故を予防しよう ヒヤリハット 事例検討	18
1月29日	介護職員のコミュニケーションスキル	17
2月26日	食事援助 事例検討	13
3/25	29年度を振り返って自己評価 来年度に向けての目標	15

### 職 員 配 置

(平成30年3月31日現在)

職 種	人 数	常 勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員 を兼務
サービス提供責任者	5	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	62	(常勤5名) 非常勤62名	

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院  
〈介護職員初任者研修事業〉

## 事業報告書 目次

事業報告(総括) .....	1
受講者地域・男女別一覧表 .....	2
教育課程の実施報告 .....	3～4

## 事業報告

平成 29 年度の「介護職員初任者研修講座」は、事業計画通り年 6 回実施した。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成したり、グループワークの際も積極的に発言する様子が見え、活気に満ちた研修内容であった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題としていたが、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

平成 29 年度の研修において、当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

## 平成 29 年度 受講者地域・男女別一覧表

〈人〉

通算	57 期	58 期	59 期	60 期	61 期	62 期	合計
福生市	3	2	2	1(1)		1(1)	9(2)
羽村市	4(1)			1	4(1)		9(2)
青梅市	4(1)		1(1)	3(1)	1(1)	1	10(4)
あきる野市	3(1)	1		3	1	1(1)	9(2)
昭島市	3		2		2		7
立川市	2	2(2)				2	6(2)
瑞穂町	3		1(1)		1		5(1)
武蔵村山市						1	1
東大和市							
東村山市							
八王子市		2					2
日の出町	1(1)		1(1)				2(2)
府中市							
奥多摩町			1				1
その他	1						1
合 計	24 (4)	7 (2)	8 (3)	8 (2)	9(2)	6(2)	62 (15)

※( )内の数字は男性の受講者数

## 教育課程の実施報告

### (募集手続き)

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。  
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または受講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

### (科目の免除)

科目の免除についてはこれを認めない。

### (修了の認定)

修了の認定は、第9条に定めるカリキュラムを全て履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順に A、B、C、D の4区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を評価基準を満たしたもものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

（公表する情報の項目）

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<http://www.fukuyokai.com>）において開示する内容は、以下の通りとする。

（1）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数（専任・兼任別））

（2）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）

修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）

実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護福祉士実務者研修事業〉

## 事業報告書 目次

事業報告(総括) .....	1
受講者地域・男女別一覧表 .....	2
教育課程の実施報告 .....	3～6

## 事業報告

平成 29 年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、事業計画通り第 1 回～第 4 回（3 ヶ月コース）、第 5 回～第 6 回（6 ヶ月コース）の研修を実施した。

新規事業として 2 期目の研修であったが、研修修了が介護福祉士国家試験合格を目指すための必須要件であるため、受講生のモチベーションも高く、定められた期限内で知識と技術を習得しようとする意気込みが感じられた。

各科目の講師は、50 時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに 7 時間の医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当したが、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

今後とも各科目の担当講師と定期的な会議や勉強会を設け、最新の情報を交換することで、研修全体の活性化・レベルアップに結び付ける努力をすることが必要である。

サンシャインビラ介護学院における実務者研修開始の情報は、学院の卒業生を含め徐々に浸透しつつある。今後もより多くの受講生を獲得するため、募集方法を研究し、近隣の介護施設へ出向くなど周知広報活動を徹底したい。

## 平成 29 年度 受講者地域・男女別一覧表

〈人〉

通算	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	合計
福生市	2	3	3(2)	2	4(1)	2(1)	16(4)
羽村市	1	3(1)	2(1)		2(1)		8(3)
青梅市	4(1)	3(2)	6(4)	2	4(2)	3	22(9)
あきる野市	1(1)	5(1)	4(1)		6(2)	1(1)	17(6)
昭島市	1	2(1)	2(1)	1	4(2)	4(1)	14(5)
立川市	3(2)		1	1	1	1	7(2)
瑞穂町	1(1)		3(2)			1	5(3)
武蔵村山市		1					1
東大和市							
東村山市					2		2
八王子市	2(1)	1(1)	3	1(1)	2(2)		9(5)
日の出町	1	4(1)			1(1)	1	7(2)
府中市							
奥多摩町					1		1
その他	3(2)	3	4	2(1)	1		13(3)
合 計	19 (8)	25 (7)	28 (11)	9 (2)	28(11)	13(3)	122 (42)

※( )内の数字は男性の受講者数

## 教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			1級	2級	3級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだの しくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだの しくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	○
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	412

※○印は受講必須科目

## ○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 学院長 1名
- (2) 教員 24名（専任1名、非常勤5名を含む）
- (3) 事務員 1名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

### (入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

### (入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
  - ・運転免許証の提示 ・健康保険証の提示 ・パスポートの提示
  - ・年金手帳の提示 ・住民基本台帳カードの提示 ・在留カード等の提示
  - ・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出 等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から5分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で6ヶ月とする。

(受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね1割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

(修了の認定)

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしないこととする。

認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート(課題)を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

(2) 介護過程Ⅲについては、講義及び演習にて小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。

(3) 医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・基本研修（講義）：講義終了後、筆記試験を実施する。認定基準Aを合格として、認定基準に満たない者については追試を行う。
- ・基本研修（演習）：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

(使用教材)

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『実務者研修テキスト』 株式会社日本医療企画

全8巻セット（平成26年6月20日 第2版第1刷）

(修了者管理の方法)

修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

(その他事項)

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報のみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。
- (3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報のみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

平成29年度

サービス付き高齢者向け住宅  
高齢者マンションサンシャインビラ  
事業報告書

社会福祉法人福陽会

## 事業報告書 目次

高齢者マンションサンシャインビラ

事業報告・職員配置・稼働状況 .....	1-2
----------------------	-----

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（平成30年3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	6	非常勤
夜間待機職員	5	非常勤
介護スタッフ		非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者	1		1	1		2		2		1		1	9
退去者			1	1	1				2				5

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
7	8	15	3	7

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	1
第2サンシャインビラ入所	0
第3サンシャインビラ入所	1
転居・入院	2
死亡	2

【入居者の状況】 (3.31現在)

介護度

(人数)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
		1	9	12	8	9	1	40

男・女 年齢分布

(人数)

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男	1		4	6	3
女				13	13
合計	1		4	19	16

【年間行事実績】

催し	日程
観桜会 (第二)	4/2
お花見会 (第一)	4/10
観桜会 (第三)	4/22
お花見会 (マンションのエントランスで)	4/10
上福ビルの食事会	4/12 5/24 6/28 7/12 8/16 9/27 10/25 11/22 12/20 1/31 2/21 3/28
上福ビルのお茶会	4/19 5/17 6/21 7/19 8/23 9/20 10/18 11/15 12/13 1/24 2/14 3/14
第一納涼祭	7/9
第三納涼祭	7/22
福生祭り (夏祭り)	7/29、30
敬老を祝う会	9/10
文化祭	10/15 第2サンシャインビラ、10/28 第3サンシャインビラ、11/3 第1サンシャインビラ
カラオケ会、演芸会 (マンションのB1で)	6/21 7/8 7/9 8/9 9/17 10/15 1/2
ふかし芋会 (マンションのB1で)	12/9
クリスマス会 (マンションのB1で)	12/23
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/14 10/20
編み物 (ボランティア)	4/5 5/2 5/17 7/5 7/26 8/2 8/16 9/6 9/20 10/18 10/25 11/1 11/15 12/20 12/27 1/17 1/31 2/7 2/21 3/7 3/21

【クラブ活動】

毎週木曜日	体操
第2、第4火曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸
第1、第3火曜日	折紙